



取扱説明書

デジタルビデオムービー

型名

GR-DVM1

DVM1

Mini DV Digital
Video
Cassette

YU30071-143-3

はじめに

安全上のご注意	6
使用上のご注意	20

基本

バッテリーを充電する	30
バッテリーを取り付ける	32
室内でムービーを使う	33
テープを入れる	34
使いやすくする	36

応用

ピントを手動で合わせる	62
明るさを調節する	64
アイリスを固定する	66
撮影メニューの使いかた	68
ワイド効果をつける	72
ズーム倍率を設定する	73
画面の揺れをおさえる(手振れ補正)	74
暗いところで撮影する	75
場面のつながぎに変化をつける(場面切替)	76
場面切替を入れ替える	86
映像に変化をつける(演出効果)	90
演出効果を入れ替える	94
システムメニューの使いかた	96

こんなときは

故障かな?と思ったら	160
------------------	-----

その他

技術解説	174
用語解説	176

アクセサリについて	26	リチウムイオンバッテリーについて	28
-----------	----	------------------	----

フルオートとマニュアル撮影	38	5秒撮りをする	52
撮影をする	40	セルフタイマー撮影をする	54
テープの途中から撮る	46	再生する	56
記念写真のように撮る	48	テレビで見る	59
ズームを使う	50		

記念写真の設定をする	100	再生画面のズーム／画面の移動	124
シーン撮影の設定をする	101	再生画面の演出効果	126
アニメ撮影をする	102	ダビングする	128
アラーム音やタリーランプの設定をする	104	アフレコ編集	130
風の音をカットする	104	インサート編集	132
音声の設定をする	105	メーカー設定をする	134
白バランスを合わせる	106	場面を決めて編集する（自動編集）	136
ステーションに取り付ける	110	より精度の高い編集をする	148
テレビ画面で再生する	112	ボタン電池を入れかえる	152
再生メニューの使いかた	116	日時を合わせる	154
再生音声を切りかえる	120	撮影時に日時を表示したくないときは	156
再生画面に日時を表示する（日時表示）	122	画面の表示を消す／表示する	158
タイムコードを表示する	123		

海外で使う	168	保証とアフターサービス	170
-------	-----	-------------	-----

主な仕様	178	索引	190
各部のなまえ	180		

ご使用の前に

お買い上げいただき、ありがとうございます。

- この「取扱説明書」は、保証書と一緒に保管し、必要なときにお読みください。
- 製造番号は品質管理上重要なものです。お買い上げの際は製造番号が記載されているか、またその製造番号と保証書に記載されている製造番号が一致しているかを、お確かめください。
- 本機はDV方式のデジタルビデオムービーです。Mini DV マークの付いたデジタルビデオカセットをご使用ください。
- 本機は、従来式のビデオ、およびDV方式以外のデジタルビデオとは互換性がないので、ご注意ください。
- 説明書にでてくるマークは次のとおりです。



知っていると便利な操作や説明です。

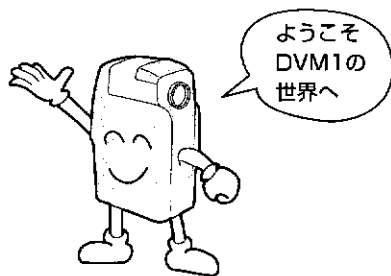


正しくお使いいただくためのご注意です。

大切な録画の前に

- 大切な録画の場合は、必ず事前に試し撮りをし、正常に録画・録音されていることを確かめてください。
- 万一、ビデオムービーおよびテープ等の不具合により、正常に録画・録音や再生できなかった場合の、内容の補償についてはご容赦ください。
- あなたがビデオムービーで録画・録音したものは、私人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。（なお、鑑賞や興行、展示物などのうちには、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場所がありますのでご注意ください。）

はじめに



安全上のご注意

絵表示について

この取扱説明書と製品には、いろいろな絵表示が記載されています。

これらは、製品を安全に正しくお使いいただき、人への危害や財産への損害を未然に防止するための表示です。絵表示の意味をよく理解して本文をお読みください。

⚠ 危険

この表示のある内容を見逃して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。

⚠ 警告

この表示のある内容を見逃して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠ 注意

この表示のある内容を見逃して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の説明

- 注意（危険、警告を含む）が必要なことを示す記号



一般的注意



手がはさまれる

- してはいけない行為（禁止行為）を示す記号



禁止



水場での使用禁止



接触禁止



分解禁止

- 必ずしてほしい行為（強制、指示行為）を示す行為



一般的指示



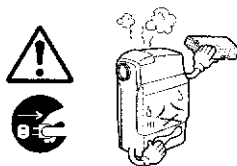
プラグをコンセントから抜く

- ムービー本体やアクセサリなどのイラストは、実際の商品と形状が異なる場合があります。

警告

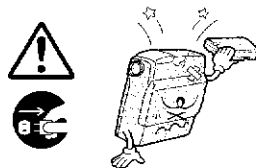
煙が出たり、へんなにおいがするときなどは、バッテリーをはずす、または電源プラグを抜く

- 販売店に修理を依頼してください。
- そのまま使用すると、火災や感電の原因となります。
- お客様ご自身による修理は危険です。絶対におやめください。



落したり、壊れたときなどは、バッテリーをはずす、または電源プラグを抜く

- 販売店に修理を依頼してください。
- そのまま使用すると、火災や感電の原因となります。
- お客様ご自身による修理は危険です。絶対におやめください。

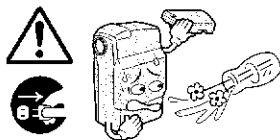


安全上のご注意

警告

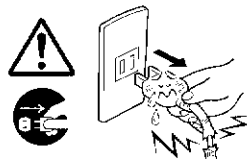
内部に水や異物が入ったときは、バッテリーをはずす、または電源プラグを抜く

- 販売店に修理を依頼してください。
- そのまま使用すると、火災や感電の原因となります。
- お客様で自身による修理は危険です。絶対におやめください。



電源コードが痛んだときは、電源プラグを抜く

- 販売店に修理を依頼してください。
- 芯線が露出していたり、断線したままで使用すると、火災や感電の原因となります。



持ち運ぶときには、付属のハンドストラップあるいは指定のグリップ、ソフトカメラケースを使う

- 誤って落とさないようにハンドストラップをお使いください。
- 液晶画面を持って運ぶと、故障したり落として、けがの原因となります。





不安定な場所に置かない

- ぐらついた台の上や傾いた所には置かないでください。
- 落ちたり、倒れたりして、ムービーの故障やけがの原因となります。



指定の電源電圧以外で使用しない

- 火災や感電の原因となります。



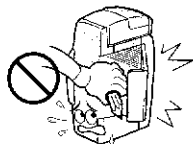
電源コードを傷つけない

- 火災や感電の原因となります。
- 次のようなことをすると、傷つく原因となります。ご注意ください。
 - ・加工する、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重いものをのせる、熱器具に近づける



内部に物を入れない

- カセット出し入れ口などから、金属類や燃えやすいものなどを入れないでください。
- 火災や感電の原因となります。
- 特にお子様にご注意ください。

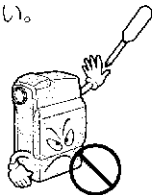


安全上の注意



分解や改造はしない

- 火災や感電の原因となります。
- お客様で自身による点検・整備・修理は危険です。絶対おやめください。
- 内部の点検・整備・修理は販売店に依頼してください。



安定した状態で使用する



- 特に高所の場合、転落すると死亡や大けがにつながります。
- 撮影をするときは、安定した場所と十分な体勢を確保してください。
- 歩きながら使用するときも、事故を防ぐため、周囲の交通や路面状況に十分にご注意ください。

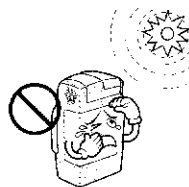
自動車などの運転中に使用しない

- 運転をしながら、撮影、再生をすることは絶対におやめください。
- 交通事故の原因になります。



レンズを太陽や強い光源に向けない

- レンズを太陽に向けたまま放置しておくと、集光により内部部品が破損して発熱し、火災や故障の原因となります。



警告

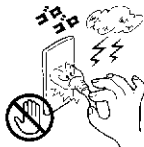
ぬらさない

- 火災や感電の原因となります。
- 風呂場では使用しないでください。
- 雨天、降雪中、海岸、水辺で使用するときは、ご注意ください。
- 水などの入った容器（花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬品など）は、こぼれたりしますので、機器の近くに置かないでください。



雷が鳴りだしたら、電源プラグにはふれない

- 感電の原因となります。



電源プラグが不完全な接続状態で使用しない

- 接触不良で発熱し、火災や感電の原因となります。
- 最後までしっかりと接続してください。



電源プラグにほこりや金属物を付着させない

- ほこりや金属物を伝わって電気が流れ、ショートや絶縁不良で発熱し、火災や感電の原因となります。
- ほこりや金属物が付着しているときは電源プラグを抜き、取り除いてください。



上に乗らない

- 倒れたり、こわれたりして、けがの原因になります。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。



安全上のご注意

⚠注意

電源コードは、コードの部分を持って抜かない

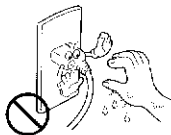
■コードの部分を持って抜くと、コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。

■プラグの部分を持って抜いてください。



ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

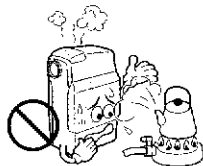
■感電の原因となることがあります。



次のような所には置かない

- ・湿気やほこりの多い所
- ・調理台や加湿器のそばなど、油煙や湯気の当たる所
- ・熱器具の近くなど
- ・真夏の車内など高温になる所
- ・直射日光の強いところ

■火災や感電の原因となることがあります。



上に重い物を置かない

■バランスがくずれて倒れたり落下して、けがの原因となることがあります。

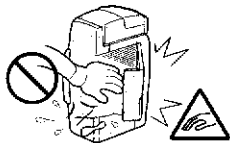


⚠ 注意

カセットの出し入れ口に手を入れない

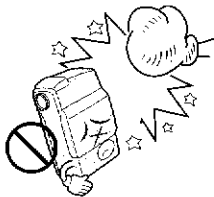
■手をはさまれて、けがをする原因となることがあります。

■特にお子様にご注意ください。



本機に衝撃を与えない

■けがをするおそれがあります。また、本機が故障する原因となります。



指定以外のアクセサリを使わない

■性能や形状が異なると、火災や故障、感電の原因となることがあります。

■本機に指定されたものが確かめ、アクセサリの説明書もよくお読みください。



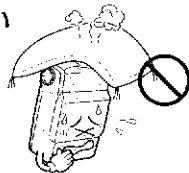
照明用ライトなどを使うときはライト部に顔、素手、髪の毛などを近づけない

■高温のため、やけどや髪の毛が燃える原因となります。



本機やアクセサリを布団などでおおった状態で使用しない

■熱がこもって変形したり、火災の原因となることがあります。



安全上のご注意



コード類は正しく配置する

- ACアダプターの電源コードや映像／音声コードなどは、足に引っかけると製品の落下や転倒などによりけがの原因となることがあります。
- 十分注意して接続、配置してください。

長期間使用しないときはバッテリーをはずす、または電源プラグを抜く

- 電源が「切」でも機器に電気が流れていますので、安全のためにお守りください。

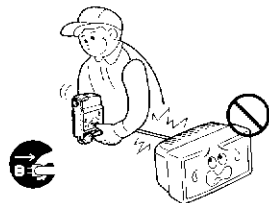
別売の三脚を不安定な状態で使用しない

- 足などの上に倒れると、けがをする原因となります。また、本機が故障する原因となります。
- 足などを引っかけないようにご注意ください。強風にもご注意ください。



移動するときは、電源プラグや接続コード類をはずす

- 接続したまま移動すると、コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。
- カセットテープも取り出しておいてください。



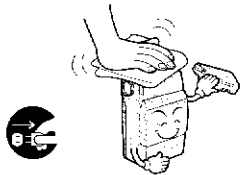
バッテリーやハンドストラップ、グリップは正しく取り付ける

- 正しくとりつけられていないと、落下によりけがの原因となることがあります。

⚠ 注意

お手入れするときはバッテリーをは
ずす、または電源プラグを抜く

■電源が「切」でも機器に電源が流れてい
ますので感電の原因となることがありま
す。



5年に一度は内部の点検を
販売店に依頼する ⚠

■内部にほこりがたまつたまま、長い間
掃除をしないで使用し続けると、火災
や感電の原因となることがあります。

■湿気の多くなる梅雨期の前に点検をす
ると、より効果的です。

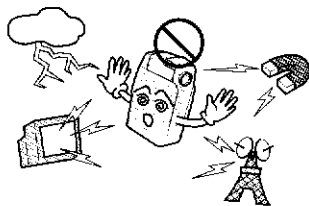
■費用については、販売店にご相談くだ
さい。

強い電波や磁気の発生する所、また
雷が近いときは使用しない

■故障の原因となることがあります。

■テレビの上や近くでは使用しないでく
ださい。

■RFユニットやACアダプターを使用し
ているときは、なるべくムービーから
遠ざけてご使用ください。



飛行機内で使うときは、航空会社の
指示に従う ⚠

■本機が出す電磁波などにより、飛行機
の計器に影響を与える原因となります。

⚠ 危険

安全上のご注意

ACアダプターを指定の電源電圧以外で使用しない

■火災や感電の原因となります。



ACアダプターは指定以外のムービーやバッテリーには使わない

■性能や形状が異なると、火災や故障、感電の原因となることがあります。

■指定されたものか確かめ、ムービーやアクセサリーの説明書もよくお読みください。



ACアダプターを分解や改造はしない

■火災や感電の原因となります。

■お客様ご自身による点検・整備・修理は危険です。絶対おやめください。

■内部の点検・整備・修理は販売店に依頼してください。



ACアダプター、バッテリーやボタン電池について



バッテリーを充電するときは、指定の充電器を使う

- 性能や形状が異なると、液漏れ、発熱、破裂、発火の原因となります。



バッテリーは絶対に分解、加工（はんだ付けなど）、加熱、火中投入などをしない

- 液漏れ、発熱、破裂、発火し、火災やけがの原因となります。



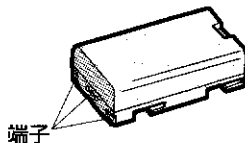
高温の場所（60℃以上）に置かない

- 発熱、破裂、発火の原因となります。



バッテリーの端子部（ $\oplus$ と $\ominus$ および $\textcircled{+}$ と $\textcircled{-}$ ）に金属物（ネックレスやヘアピンなど）を接触させない

- ショートして発熱し、火災やけがの原因となります。
- 持ち運ぶときにはビニール袋などに入れ、金属物と端子が接触しないようにしてください。



安全上のご注意

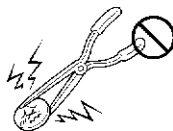
ACアダプター、バッテリーやボタン電池について

⚠ 危険

ボタン電池の端子部（⊕ と ⊖）に金属物（ネックレスやヘアピンなど）を接触させない

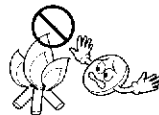
■液漏れ、発熱の原因となります。

■持ち運びの際にはビニール袋に入れ、金属物と端子が接触しないようにしてください。



ボタン電池は絶対に分解、加工（はんだ付けなど）、充電、加熱、火中投入などをしない

■液漏れ、破裂などの原因となります。



⚠ 警告

指定以外のボタン電池は使わない、また液漏れを起こしたバッテリーやボタン電池を使わない

■種類が異なると、液漏れ、発熱の原因となります。

■液漏れを起こしたボタン電池はショートによる発熱で、さわるとやけどをする原因となります。

■電池を入れる前に品番をよく確かめてください。

■電池の液が漏れたときは、電池取り付け部の液をよく拭き取ってから新しい電池を入れてください。

■電池の液が身体や衣服についたときには、水でよく洗い流してください。万一、目などに液が入った場合はきれいな水で洗った後、ただちに医師に相談してください。

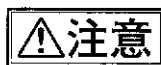


ACアダプター、バッテリーやボタン電池について



ボタン電池は幼児の手の届かない
ところに置く

■万一、誤って飲み込んだときは、ただ
ちに医師と相談してください。



ボタン電池を入れるときは、極性表示
(プラス ⊕ とマイナス ⊖ の向き)

に注意する

■機器の表示通りに正しく入れてください。
■間違えると、電池の破壊、液漏れによ
り、火災やけが、周囲を汚す原因とな
ることがあります。

通電中のACアダプターや充電中の
バッテリーに長時間ふれない

■温度が上がリ、長時間皮膚がふれたま
まになっていると、低温やけどの原因
となる可能性があります。



使用上のご注意

つゆつきについて

よく冷えたビールをコップにつぐと、コップのまわりに徐々に水滴が付きます。

この状態を‘つゆつき’といいます。

ムービーの心臓部であるヘッドドラムの周りに徐々に水滴が付き、テープが貼り付ついてしまいます。



◆つゆつきが発生すると

液晶画面につゆつきマーク  が出たらムービーは停止します。テープを出したり、入れたりすることはできません。

●つゆつきマークが出る前でも、レンズやレンズ保護ガラスに水滴がついているときは、ヘッドドラムにも水滴が付いている場合があります。カセットカバーを開けないでください。



◆つゆつき後再び使い始めるには

電源を切って約1時間待ちます。その後電源を入れて数分待ち、つゆつき表示が消えてからご使用ください。消えない場合は点検が必要です。お買い上げ販売店にご相談ください。

◆つゆつきはこんなときにおこります

- ムービーを寒いところから急に暖かいところに移動したとき。
- 湿気の多いところでの使用時。
- 暖房した直後の部屋や、エアコンなどの冷風が直接あたるとき。

◆つゆつきのトラブルを防ぐには

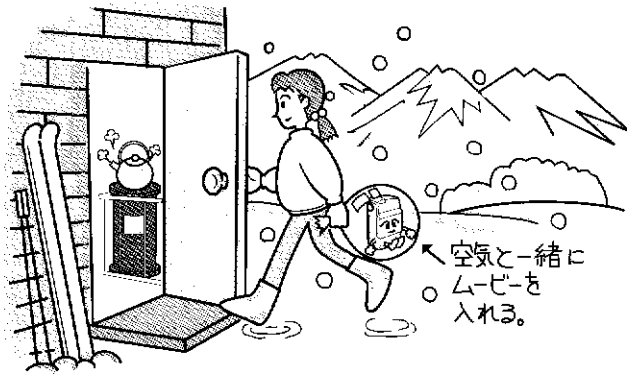
つゆつきのおこるような環境

- ・寒い所から暖かい所
- ・冷房のきいた所から温度・湿度の高い所

でご使用になるときは、移動したあとムービーとテープをしばらくおいて、その環境になじませてからお使いください。

●例えば、スキー場で撮影後、暖房のきいた部屋に入るときはビニール袋等にムービーを入れて（一緒に空気も入れる）移動し、しばらくその状態で環境になじませるとつゆつき防止に効果的です。

- ・つゆつきはレンズにもおこります。きれいに撮影できませんのでつゆつきがなくなってから撮影してください。
- ・通常、つゆつきは徐々に進行し、10～15分間は現象が現われないことがあります。
- ・寒冷地域では露が凍結し、霜になることがあり、さらに時間がかかります。



← 空気と一緒に
ムービーを
入れる。

使用上のご注意

ヘッドの汚れについて

ヘッドが汚れると、以下のような症状が出ます。

- ・再生しても音や映像が出ない
- ・再生すると、モザイク(ブロック状のノイズ)が出る
- ・撮影しても、ファインダー内にヘッド目づまり表示  が出る



このような時は、デジタルビデオヘッドクリーナーM-DV2CL(別売)を再生して、ヘッドを清掃してください。(長時間くりかえし再生すると、ヘッド摩耗の原因になりますのでご注意ください。20秒間再生すると、自動的にムービーは停止します。)

くわしくはデジタルビデオヘッドクリーナーM-DV2CLの取扱説明書をご覧ください。



◆ヘッドの汚れる原因は

高温・多湿

- しばらくその環境になじませた後で使用する。

テープの傷

- 傷のあるテープを使うと磁性粉がはがれ、ヘッド汚れの原因となります。

空気中のほこり・ちり・長時間の使用



ヘッドは摩耗します

デジタルビデオヘッドクリーナーで清掃しても鮮明な映像が映らない場合はチェックまたは交換が必要です。お買い上げ販売店またはビクターサービス窓口にご相談ください。

お手入れについて

◆ボディーの汚れは

お手入れのときは、電源をはずしてください。

- 乾いた柔らかい布などで拭きとってください。
- ひどい汚れは、水でうすめた中性洗剤に布を浸し、固く絞ってから汚れを拭き、乾いた布で仕上げてください。
- 化学ぞうきんや洗剤をご使用の際は、その注意書に従ってください。

◆レンズや液晶画面はいつもきれいに

レンズブロー（市販）でほこりを落とし、添付のクリーニングクロスあるいは市販のレンズクリーニングペーパーなどで清掃してください。汚れたままでは、カビなどが発生する場合があります。



- レンズ保護ガラス（37ページ）内部のレンズに汚れやゴミが付いていると、画質に影響する場合があります。添付のクリーニングクロスで清掃してください。



定期点検のおすすめ

ヘッドやテープを動かす機械部品はお使いになる間に汚れたり、摩耗したりしています。性能を維持し、いつも美しい画面をご覧いただくために、およそ1000時間をめどに点検されることをおすすめします。

使用上のご注意

ムービーについて

電源（バッテリーやACアダプターなど）をはずすときは、必ずムービーの電源ダイヤルが“切”になっていることを確かめてください。

- ムービーの動作中に電源をはずすと、テープを傷めたり、誤動作の原因となります。



長時間電源を入れたままにすると、ムービーの表面が温かくなります。故障ではありません。長時間使用しないときは、電源ダイヤルを“切”にしてください。

バッテリーについて

- 火や暖房器具の近く、窓をしめきった自動車内など異常に温度が高くなる（60℃以上）場所での使用、放置は避けてください。電池が漏液したり、故障の原因になります。
- 水に濡らさないでください。故障の原因になります。また、濡れてしまったバッテリーを決して充電しないでください。
- バッテリーを落としたり、強い衝撃を与えないでください。故障の原因になります。
- 充電は、専用のACアダプター以外を使用しないでください。万一、専用のACアダプター以外で充電した場合は、十分に充電されなかったり、故障、発火する恐れがあります。
- リチウムイオンバッテリーは小型で高容量のバッテリーです。しかし、冬場の屋外などの低温（10℃以下）で、バッテリーが冷えている場合、バッテリーの使用時間は短くなる特性があり、動作しないこともあります。（28ページ）
- 充電直後でも、バッテリーの使用時間が大幅に短くなったら、バッテリーの寿命です。新しいものをお買い求めください。

テープについて

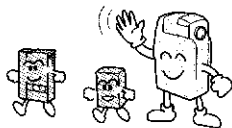
- 撮影済みテープに新しく撮影すると、前の映像と音は自動的に消えます。
- テープは裏返しでは使えません。
- テープを走行させないでテープの出し入れを繰り返さないでください。

正しい保存のしかた

ムービーは

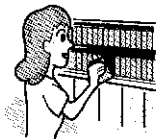
ふだん使用しないときは、テープを出し、電源を切りバッテリーをはずしておく

- 機能に支障をきたす場合がありますのでときどき電源を入れ、チェックしてください。



テープは

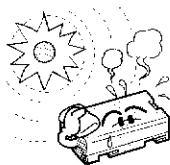
ケースに入れ、湿気が少なく風通しの良い、カビの発生しにくいところに立てておく



バッテリーは

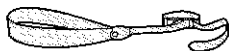
温度が上がらない乾燥したところに保存する

- 高温の場所に置くと寿命が短くなり、自己放電も多くなります。



アクセサリについて

付属品



ハンドストラップ



ボタン電池
CR2025

・ムービー時計用
(取り付け済み)



クリーニングクロス

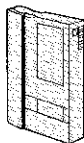
このムービーをご使用になるには、別売アクセサリキットをお買い求めください。

別売アクセサリキットには、**VU-V85KIT**、**VU-V80KIT**、**CU-V18KIT**の3種類があります。

- 別売アクセサリキットの取扱説明書も合わせてご覧ください。
- 取扱説明書内では、() 内の名称で説明しています。

別売アクセサリキット(VU-V85KIT)

- VU-V80KITとCU-V18KITの、2つを合わせた内容に加えてテープが入っています。



テープ
M-DV30ME
(DVM30タイプ)



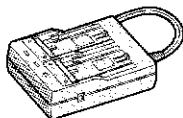
サンフード

別売アクセサリキット (VU-V80KIT)

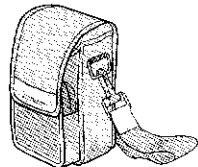
- 主に「基本(30~59ページ)」で必要なアクセサリが入っています。



バッテリーバック
BN-V812
(バッテリー)



ACアダプター/チャージャー
AA-V80
(ACアダプター)



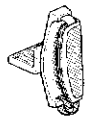
ソフトカメラケース



ムービースタンド



DCコード
長さ：約1.5m



グリップ



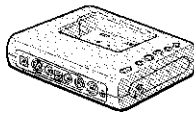
映像コード[φ3.5]
ムービー接続用
ミニプラグ▶ピンプラグ
長さ：約1.5m



音声コード[φ3.5]
ムービー接続用
ミニプラグ▶ピンプラグx2
長さ：約1.5m

別売アクセサリキット (CU-V18KIT)

- 主に「応用(62~158ページ)」で必要なアクセサリが入っています。



ドッキングステーション
(ステーション)



映像/音声コード
ステーション接続用
ミニプラグx3▶
ピンプラグx3
長さ：約1.5m



リモートコントロール
ユニット
RM-V708 (リモコン)



S映像コード
長さ：約1.5m



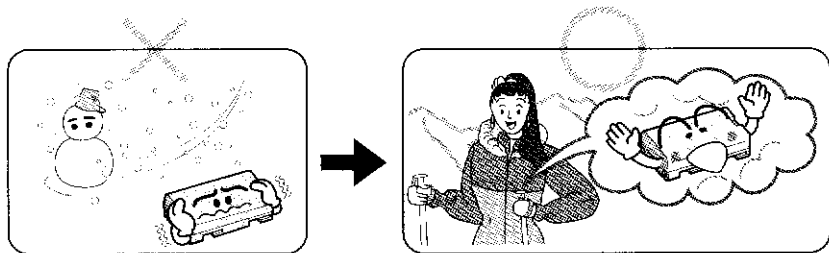
ボタン電池
CR2025
・リモコン用



編集コード
長さ：約1.5m

リチウムイオンバッテリーは低温が苦手です

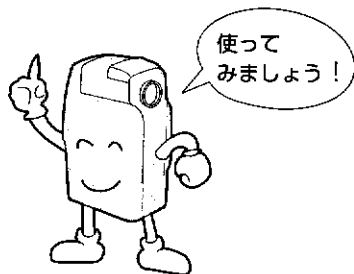
リチウムイオンバッテリー(BN-V812)は小型で高容量のバッテリーです。しかし、冬場の屋外などの低温(10℃以下)で、バッテリーが冷えている場合、バッテリーの使用時間は短くなる特性があり、動作しないこともあります。このような時は、バッテリーをポケットに入れるなどして温かくし、撮影直前にムービーに取り付けてください。バッテリー自体が冷えていなければ、ムービーの動作上問題ありません。(カイロなどをご使用になっている場合は、直接カイロがバッテリーに触れないようにご注意ください。)



- リチウムイオンバッテリーは低温が苦手です。
- 10℃以下ではバッテリーの使用時間が短くなったり、動作しないことがあります。

- ポケットに入れて温めて使ってください。

基本

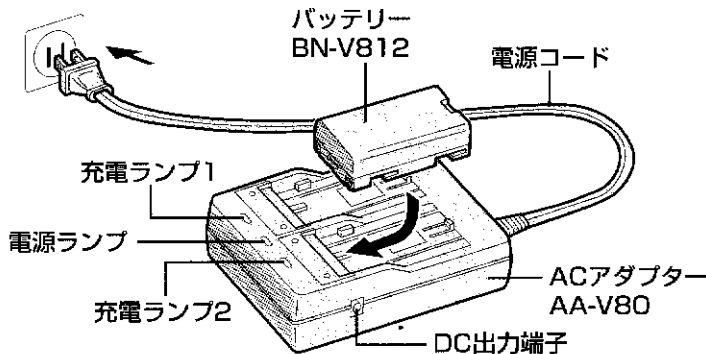


バッテリーを 充電する

- 1 ACアダプターの電源コード
をコンセントにつなぐ
- 電源ランプが点灯します。

- 2 バッテリーを差し込み、カチッと音が
するまでスライドさせる

- バッテリーの⊕⊖マークを下側にし、
ACアダプターの⊕⊖マークと合わせ
て入れてください。
- バッテリーを取り付けると充電ランプ
(1 または 2) が点滅し、充電が始ま
ります。



バッテリーは、使いきれず容量が残つ
ていても追加の充電ができます。2個
のバッテリーを取り付け、連続して充
電することもできます。

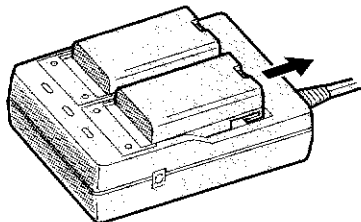
3 充電ランプが点滅から点灯に変わったら、充電完了

- 取り付け順に充電完了します。

バッテリー	1個充電時間	2個充電時間
BN-V812	約100分	約200分

4 バッテリーを矢印方向にスライドさせ、はずす

- 使い終わったら、電源コードを抜いてください。



使用上の注意

- DCコード(33ページ)を接続しているときは、バッテリーは充電されません。
- ムービーにバッテリーを取り付けたまま、長時間放置した場合は、バッテリーを充電しなおしてください。



充電時の温度について

10～30℃での充電をおすすめします。低温(10℃以下)では、十分に充電されないことや、充電に時間がかかることがありますので、ご注意ください。左上の充電時間は20～25℃の場合における目安です。

連続撮影時間

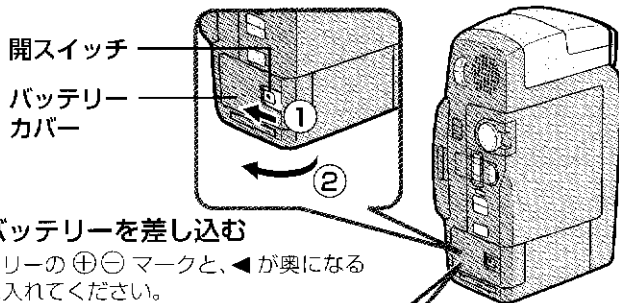
バッテリーBN-V812の連続撮影時間は約60分です。これは約20℃の場所で連続撮影をおこなった場合です。低温(10℃以下)の場所で撮影したり、ズーム、撮影一時停止などを繰り返すと、撮影時間は短くなります。バッテリーは撮影したい時間の約3倍分用意されることをおすすめします。

室内でムービーを使う バッテリーを取り付ける

バッテリーは出荷時には充電されていません。ACアダプターで充電してからお使いください。

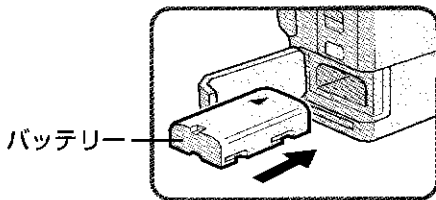
バッテリーを取り付ける

- ① 開スイッチをスライドさせながら
- ② バッテリーカバーを矢印方向に開ける



2 バッテリーを差し込む

- バッテリーの ⊕ ⊖ マークと、◀ が奥になるように入れてください。



3 バッテリーカバーを閉める

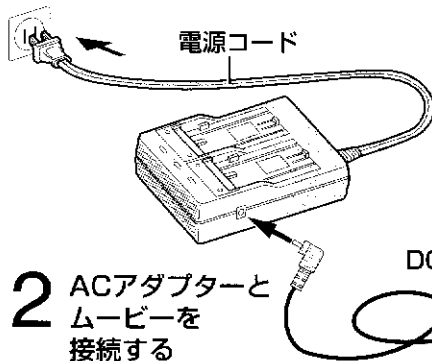
- バッテリーをはずすときは、電源ダイヤルを「切」にしてバッテリーカバーを開け、取り出してください。
- バッテリーを落とさないように十分注意してください。

室内でムービーを使う

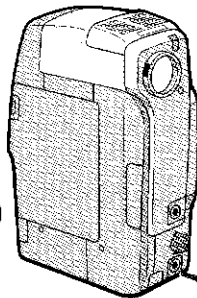
バッテリーを使わなくても、ご家庭のコンセントから直接電源を利用して、ムービーを動かすことができます。ACアダプターは変換プラグ（空港売店等で販売）を使えば、海外でも使用できます。

1 ACアダプターの電源コードをコンセントにつなぐ

- 電源ランプが点灯します。

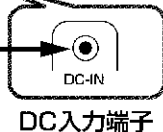


2 ACアダプターとムービーを接続する



ACアダプターを使用の際、バッテリーアラーム表示(187ページ) が出るがありますが、使用上の支障はありません。

- 端子はカバーの中にあります。

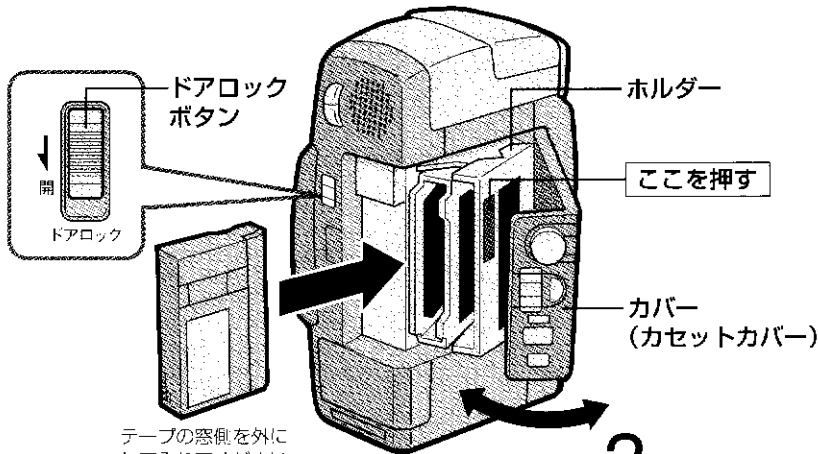


テープを 入れる

充電済みバッテリーを取り付けてい
れば電源を入れなくてもホルダーを
開けることができます。

1 電源を取り付け、ドアロックボタンを矢印 方向にスライドさせてからカバーを開く

- カバーは止まるまで、確実に開けてください。
数秒後に自動的に、ホルダーが開きます。
- 内部の部品を直接手でさわらないでください。



3 カバーを閉める

2 テープを入れ、**ここを押す**の部分を押して、ホルダーを閉める

- テープは奥まで確実に入れてください。
- ホルダーは、閉めると自動的に収納されます。収納が終わってからカバーを閉めてください。
- バッテリーの容量が少なくなっていると、ホルダーが開く途中で電源が切れて収納できず、カバーを閉めることができなくなります。むりに閉めるようなことは、絶対にしないで、充電済みバッテリーと交換してください。

使用テープ	使用時間
DVM30	約30分間撮ることができます。
DVM60	約60分間撮ることができます。

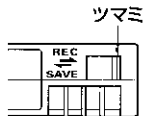


カバーを開くとき

- 映像コードや音声コード(別売キット)、ヘッドホン(別売)は取りはずしてください。
- ホルダーが開くまでには、数秒かかります。そのときに、むりに開くようなことはせず、自動的に開くまで待ってください。
- 数秒待ってもホルダーが開かないときは、カバーを閉めてもう一度開いてください。
- ホルダーに指をはさまないように、ご注意ください。万一是さまったときは、数秒後に自動的にホルダーが開きます。
- ムービーを寒いところから急に暖かいところに移動したときは、しばらくおいてその環境になじませてから、カバーを開けてください。



大切な録画を誤って消さないために



保存しておきたい録画済みテープは、テープ背面にあるツマミをSAVEの矢印方向に引いてください。再び録画したいときはツマミをRECの矢印方向に引き、もとの位置に戻してください。

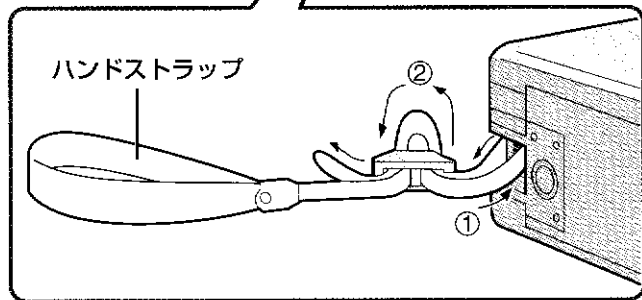
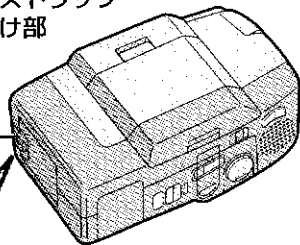
使
い
や
す
く
す
る

ハンドストラップを取り付ける

落下防止のため、必ずハンドストラップ
をお使いください。

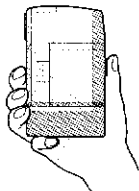
- 1 ハンドストラップを取り付け
部に通し、取り付ける
- 2 ハンドストラップを引っばる
●確実に取り付けられたか確認してく
ださい。

ハンドストラップ
取り付け部



ムービーの持ち方

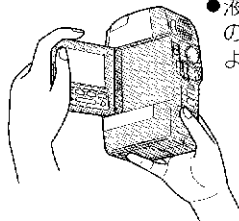
1 小指をムービーの底面にそえて 支え、しっかりと握る



- 付属のハンドストラップを必ず使用してください。
- グリップ（別売キット）を使うことをおすすめします。

2 液晶画面に手をそえる

- 安定した撮影のために、手をそえることをおすすめします。



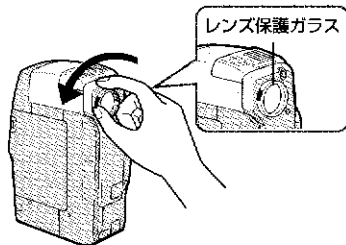
- 液晶画面の表面や、必要のないボタンを押さないように注意してください。

レンズ保護ガラスを取りはずす

別売のコンバージョンレンズや市販のフィルターをお使いになるとき、レンズ保護ガラスは取りはずしてください。

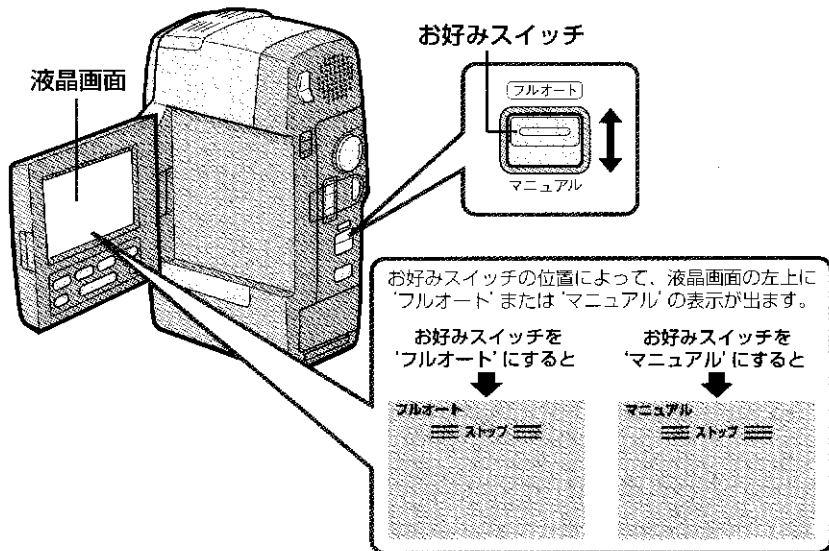
1 レンズ保護ガラスを、矢印の方向にまわし、取りはずす

- 取り付けるときは、矢印と逆の方向（時計まわり）にまわしてください。
- 無理に取り付けると、ネジやまの部分がつぶれて使えなくなります。注意してください。
- 内部レンズに汚れやゴミがつかないようにご注意ください。（23ページ）



お好みスイッチの位置をえらぶ

撮影時は、お好みスイッチの位置によって、いろいろな機能が楽しめます。



機 能	お好みスイッチの位置	
	フルオート	マニュアル
記念写真 (48、100ページ)	○（「フクア」のみ、効果音を消すことはできません。）	○
デジタルズーム (50ページ)	入（20倍のみ）	入／切
セルフタイマー (54ページ)	○	○
ピント (62ページ)	自動	自動／手動
明るさ調節 (64ページ)	自動	自動／手動
手振れ補正 (74ページ)	入	入／切
場面切替 (76ページ)	×	○
演出効果 (90ページ)	×	○
シーン撮影 (101ページ)	○（設定変更はできません）※	○
白バランス (106ページ)	自動	自動／手動
日時表示 (156ページ)	入	入／切

○＝使えます。 ×＝つかえません。

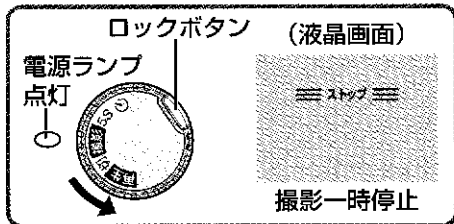
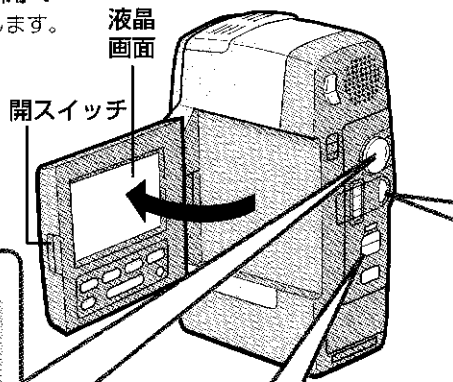
※ 設定変更したいときは→98ページの手順で変更してください。

変更した内容を、お好みスイッチを「フルオート」にしても使うことができます。

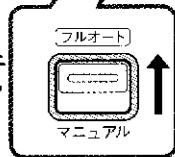
撮影をする

1 開スイッチを押して液晶画面を開く
●液晶画面は上に180° 下に90° 回転します。

2 ロックボタンを正面から押しなが
ら、電源ダイヤルを '撮影' にする
●電源ランプが点灯し、撮影一時停止
になります。
●液晶画面を開いていないと、電源が
入りませんので、ご注意ください。



3 お好みスイッチ
を 'フルオート' にする



準備(30) 35ページ)をしてから撮
影します。お好みスイッチ、フルオー
トは初級者向けです。まずは、フル
オートで撮ってみましょう。

4 スタート/ストップボタンを押す

- 撮影一時停止表示 ≡ストップ≡ が出来后、スタート/ストップボタンを押してください。ピッ！と鳴り撮影を始めます。
- 撮影を中断するときは、スタート/ストップボタンを押してください。ピピッ！と鳴り、撮影一時停止になります。

スタート/
ストップ
ボタン

スタート/ストップ

(液晶画面)

録画
▶▶▶

撮影中

撮影をやめるときは…

液晶画面を閉じる

- 電源ランプが消灯します。持ち運びのときなどは、この状態でおこなってください。再び電源を入れるには、液晶画面を開いてください。

または電源スイッチを‘切’にする

- ロックボタンを押さなくても、電源ダイヤルは回ります。

無記録部分ができないようにする

撮影と撮影の間に、テープに何も記録していない部分（無記録部分）ができると、タイムコードの記録がとぎれ（60ページ）、後で編集するときなどに誤動作の原因になります。「テープの途中から撮る（46ページ）」やシコエンドサーチ機能（43ページ）を使って、きちんとつなぎ撮りしてください。

屋外で撮影するときは

液晶画面が見にくい場合は、サンフード（別売キット）をつけて撮影することをおすすめします。



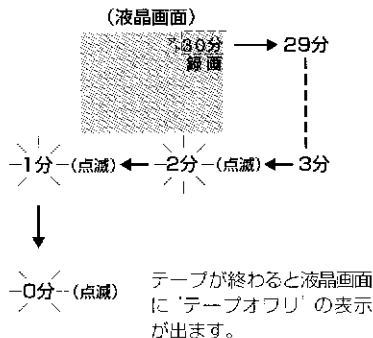
電源が切れます

撮影一時停止を5分以上続けると節電のため電源が切れます。再び撮影するときは電源ダイヤルを一度‘切’にしてから再び‘撮影’にします。テープの出し入れや再生をしないかぎり、スタート/ストップボタンできれいつなぎ撮りできます。



テープ残量表示

撮影中は、自動的に液晶画面にテープの残り時間の目安を表示します。



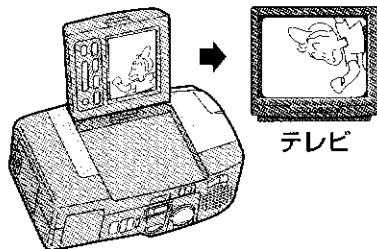
- 液晶画面の表示を消しているとき(44ページ)は、テープ残量が2分になると、表示します。

日時表示について(154ページ)

日時は必ず確認しておきましょう。液晶画面に表示していなくても、再生するときに撮影したときの日時を表示することができます。

ムービーを横にして撮影すると

ムービーを図のように横にして撮影すると、再生される映像も横になります。

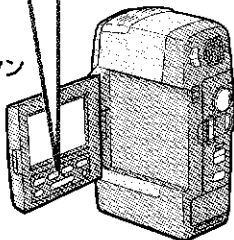


撮影中の音声について

スピーカー(181ページ)から音声はできません。音声を聞きたいときは、ヘッドホン端子(180ページ)にヘッドホン(別売)をつないでお使いください。



レコバック/
キャンセル/
レコエンドボタン



液晶画面の表示は、

- 撮影後の撮影一時停止では「レコバック」
- レコバックをおこなったあとは、「キャンセル」
- 撮影後に無記録部分で、電源ダイヤルを「撮影」にしたときは「レコエンド」になります。
- 液晶画面に「レコバック」や「レコエンド」表示が出ていない場合は、機能は動きません。表示/液晶画面直ボタン(44ページ)を押して表示させてください。
- テープが入っていないと表示されません。

すぐに撮り直したいときは(レコバック機能)
撮影中失敗したなと思ったとき、1つ前の撮り終わりまで戻ることができます。

1 撮影をやめた後の、撮影一時停止の状態では(レコバック)ボタンを押します。

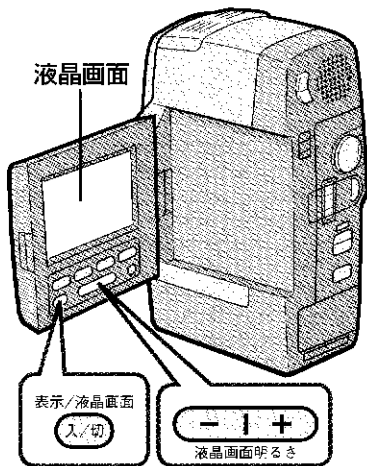
- 1つ前の撮り終わりまで戻り、撮影一時停止になります。
- 元に戻したいときは、もう一度(キャンセル)ボタンを押してください。

前回撮影した部分の終わりを探したいときは(レコエンドサーチ機能)

撮影後の再生およびテープの出し入れなどで無記録部分までテープを送ってしまい、前回撮影した部分の終わりがわからなくなったとき、ボタンひとつで探すことができます。

1 撮影一時停止状態にしたあと、数秒後に「レコエンド」表示が出ます。この「レコエンド」表示が出たあとに(レコエンド)ボタンを押します。

- 液晶画面がブルーバック(青い画面)になり、前回撮影した部分の終わりまで戻って、撮影一時停止になります。
- テープを止めたいときは、巻き戻し中にもう一度(レコエンド)ボタンを押してください。
- レコエンドサーチ機能を使ったあと撮影すると、前回撮影した映像の最後が2〜3秒、次の撮影と重なって消えます。
- テープに映像が記録してある部分では、この機能は動きません。



液晶画面の明るさを調節する

お好みの明るさに、調節することができます。
液晶画面明るさボタンを押してください。+側を押すと明るく、-側を押すと暗くなります。

- 液晶画面に液晶画面明るさ表示が出ます。



液晶画面から表示を消すには(158ページ)

映像が見づらいとき、液晶画面から表示を消すことができます。表示/液晶画面ボタンをポンと押してください。もう一度押せば表示が出ます。

- テープ走行表示、警告表示は消すことはできません。(約2秒間以上押し続けると液晶画面が切れます。画面を出したいときはもう一度約2秒間以上押しってください。)

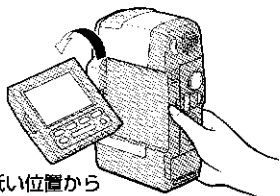
液晶画面の取り扱い

傷つきやすいものですので、表面を強く押ししたり強い衝撃を与えないでください。傷がついたり、割れたりすることがあります。

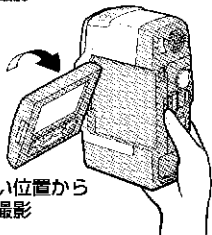
液晶画面の角度を変える

液晶画面は上に180° 下に90° 回転します。
見やすいように動かしてください。

- 液晶画面を動かすときは、ボタンなどを
押さないように注意してください。



低い位置から
の撮影



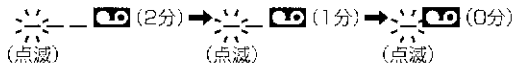
高い位置から
の撮影

対面撮影をする

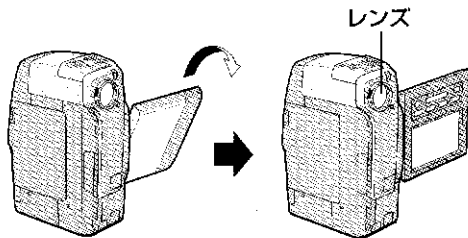
液晶画面に自分を写し、映り具合を見ながら撮影することができます。

液晶画面を開いて180° 回転させ、レンズを自分に向けて撮影（40ページ）してください。

- 液晶画面の表示はテープ走行表示と警告表示（184～187ページ）のみとなり、鏡を見るような感覚で映像が映ります。
- テープ残量表示が2分になると、液晶画面に

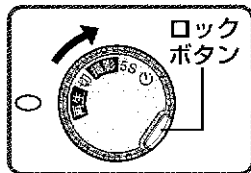


のように表示が出て、テープの残量を知らせます。



テープの途中から撮る

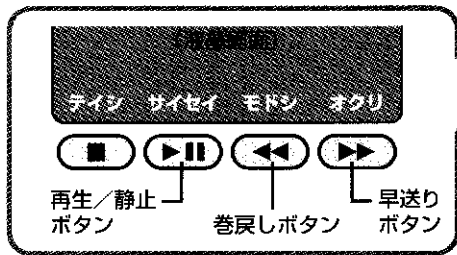
- 1 液晶画面を開き、ロックボタンを正面から押しながら、電源ダイヤルを‘再生’にする



- 2 再生／静止ボタンを押し、巻戻しボタンか早送りボタンを押す

- 液晶画面でテープの映像を見ることができます。つなぎ撮りしたいところをさがしてください。

液晶画面



- 3 再生／静止ボタンを押してテープを再生する

- 液晶画面の再生／静止ボタン上の表示が‘セイシ’（静止）に変わります。

撮影途中のテープを取り出したり、再生したテープを使って撮影するときには、右の手順でつなぎ撮りします。

4 つなぎ撮りしたいところで再生／静止ボタンを押す

- 再生画が一時停止になります。

電源ダイヤル

スタート／
ストップ
ボタン



スタート/ストップ

5 電源ダイヤルを '撮影' にし、スタート/ストップボタンを押す

- 前回撮影した映像の最後の部分に重ねて、新たに撮影を始めます。

タイムコードとは

撮影時テープに「00:00:00」(分:秒:フレーム)から1コマ1コマ数字を記録していきます。そのため、再生時や編集時に、テープのどの位置に記録されているのかを、正確に把握することができます。タイムコードをリセットすることは、できません。くわしいことは60ページをご覧ください。

テープの途中から撮るとき

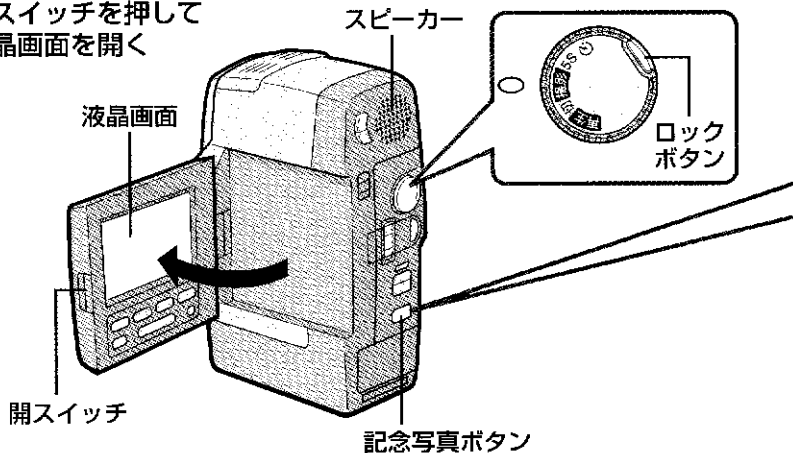
テープ途中の無記録部分から撮影を始めると、テープの始めと同じようにタイムコードは00:00:00から始まります。すると1本のテープに複数の同じタイムコードができてしまい、後で編集するときなどに誤動作の原因となります。(60ページ)タイムコードをきちんとつなげるために、以下のような場合はテープに無記録部分ができないよう、レコエンドサーチ機能(43ページ)を使うか、左の手順(46~47ページ)で前の映像とつないで次の撮影をおこなってください。

- 撮影後に、確認のため再生したテープで、引き続き撮影するとき
- 撮影中に突然電源が切れたとき
- テープを使い切らずに、撮影途中で出し入れたとき
- 途中まで録画してあるテープを使って撮影するとき
- テープの途中にある無記録部分に録画したいとき
- 撮影後にカセットカバーを閉じたあと、再び撮影するとき

記念写真の ように撮る

記念写真のような効果を入れて撮影できます。
旅先などでお使いになると、風景や名所をスナップ感覚で残せます。

1 開スイッチを押して 液晶画面を開く



2 ロックボタンを正面から押しながら、 電源ダイヤルを '撮影' または '5S' や '🕒' にする

- シーンの設定 (101ページ) を 'アニメ' にしていると、電源ダイヤルを '5S' にしても記念写真は動きません。

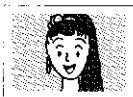
3 撮影中、または撮影一時停止中に記念写真ボタンを押す

- 液晶画面に‘PHOTO’が表示され、白ワク付きの静止画像を約6秒間記録します。
- 撮影一時停止から使うと、静止画像を6秒間記録し、撮影一時停止になります。撮影中に使うと、静止画像を6秒間記録したあと、その静止画像から次の映像が、だんだん浮かび上がっていくようにオーバーラップ撮影し、通常の撮影になります。
- 音は通常の音声に‘カシャッ’という効果音をあわせて記録します。

撮影中に記念写真ボタンを押したとき

(液晶画面)

記念写真



撮影一時停止で記念写真ボタンを押したとき

記念写真の位置を探す (記念写真サーチ)

このムービーには、テープに記録されている記念写真部分を検出する機能がついています。(58ページ)

記念写真ボタンを押し続けると (連写)

スナップ写真を連写したように、白ワク付きの静止画像を約0.7秒ごとに連写します。

記念写真の設定を変える

- 白ワクの付かない静止画像を記録することができます。(100ページ)
- ‘カシャッ’という効果音をスピーカーから出さないようにすることができます。(104ページ) 効果音はテープには記録されます。

ズームを使う

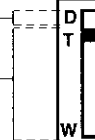
ズームスイッチで被写体のズームアップ/ズームバックができます。

1 撮影中に、ズームスイッチのT側またはW側を押す

- お好みスイッチが‘フルオート’のときは、20倍ズームまで使えます。‘マニュアル’のときは、10倍、20倍、100倍の中から選ぶことができます。(73ページ)

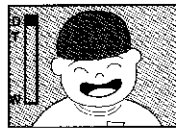
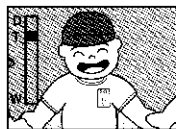
デジタルズームゾーン

10倍ズームゾーン

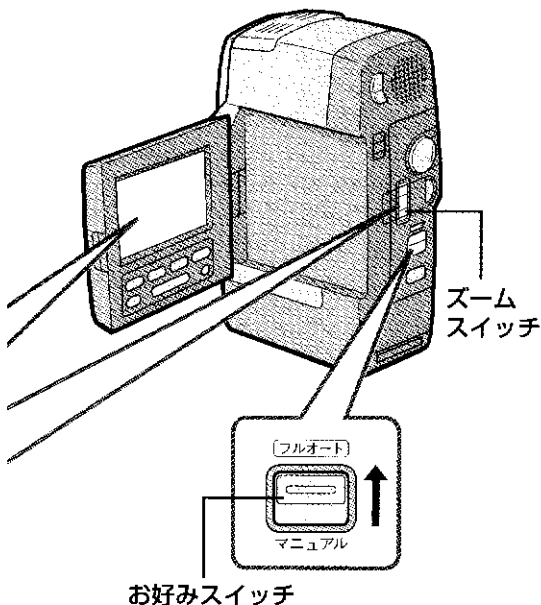


ズーム表示

ズームアップ
(T : 望遠)



ズームバック
(W : 広角)



20倍以外のズームを使う

ズーム倍率の設定は、10倍・20倍・100倍の3種類あります。20倍以外のズームを使いたいときは、撮影メニュー表示のズームバイリツで10倍か100倍を選んでください。(73ページ) 10倍以上のズームは、デジタルズーム(電氣的に映像を処理したズーム)となり、10倍ズームより映像が劣化します。

ズーミングのスピードを変えるには

ズームスイッチを軽く押すとゆっくり、強く押すと早くなります。

近づいて大きく撮る(マクロ撮影)

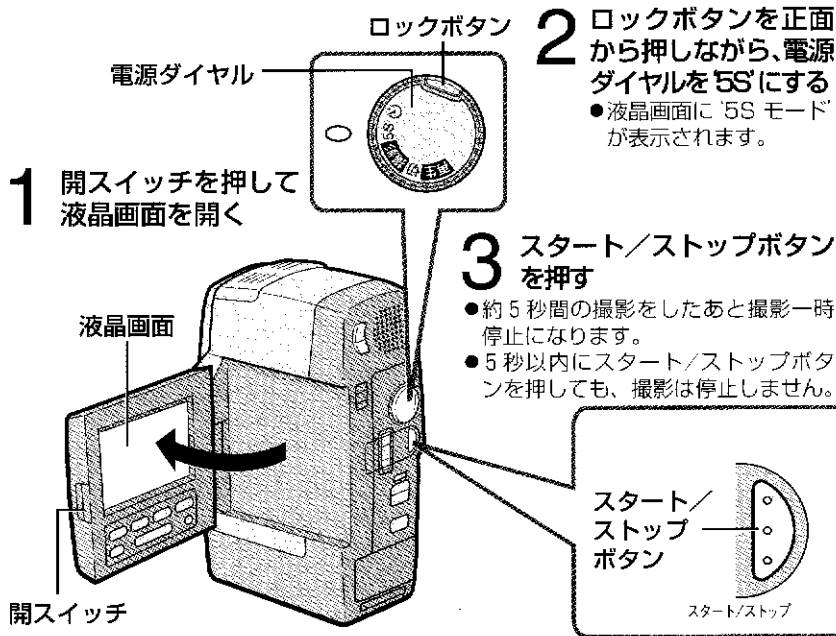
ズームを最広角側(W側)でレンズ前面から約10cmまで接写できます。被写体に近づき撮影したいものを画面の中央に入れてください。

デジタルズームが使えない

演出効果のゴースト(90ページ)を使っている時は、デジタルズームは使えません。
また、映像ワイプ/オーバーラップ(82ページ)やSSD(53ページ)で、映像を記憶している時は、デジタルズームは使えません。

5秒撮りをする

旅先などで風景や名所の記録を、5秒間ずつ映像と音声で残せます。テレビドラマのようにテンポがよく、飽きのこない映像で撮影することができます。



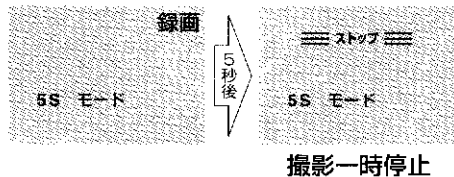
記念写真をあわせて使う

手順3でスタート/ストップボタンの代わりに、記念写真ボタンを押すと、通常の音声に「カシャッ」という効果音をあわせて静止画像を約6秒間記録します。(49ページ)

5秒撮りをするとき

フルオート撮影になります。場面切替(76ページ)、演出効果(90ページ)やその他のマニュアル操作はできません。

(液晶画面)



5秒撮りをやめるときは…

撮影一時停止で電源ダイヤルを「撮影」か「切」にしてください。

●ロックボタンを押さなくても、電源ダイヤルは回ります。

基本

5秒撮りでオーバーラップをする(5SD)

システムメニュー表示の「シーン」で「5SD」を選んでいると(101ページ)、手順3で液晶画面に「5SD モード」を表示します。一度撮影をしてください。撮影ストップしたときの映像を記憶します。5分以内に次の撮影を始めると、記憶した映像から次の



撮影の映像がだんだん浮かび上がっていくように、約2秒間のオーバーラップ撮影をした後、5秒間の撮影をします。電源が切れると、記憶した映像が消えてしまいますので、注意してください。

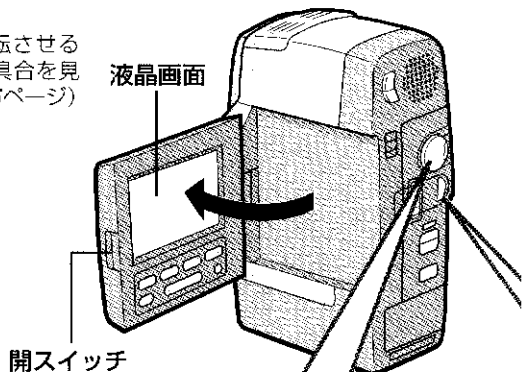


セルフタイマー 撮影をする

ムービーを固定して、撮影者と一緒に画面に入ることができます。これで、みんなで集合した映像を残せます。

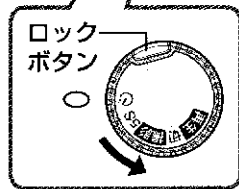
1 開スイッチを押して液晶画面を開く

- 液晶画面を180°回転させると、自分を写して映り具合を見ることができます。(45ページ)



2 ロックボタンを正面から押しながら、電源ダイヤルを '🔒' にする

- 液晶画面に '🔒' が表示されます。



セルフタイマー撮影をやめるときは…

撮影一時停止で電源ダイヤルを‘撮影’
が‘切’にする

●ロックボタンを押さなくても、電源ダイヤルは回ります。

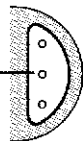
3 スタート/ストップボタンを押す

- スタート/ストップボタンを押すと、タリーランプ（180ページ）が点滅を始めます。15秒後にタリーランプが点灯に変わり撮影を始めます。
- 撮影を一時中止したいときは、もう一度、スタート/ストップボタンを押してください。撮影一時停止になります。



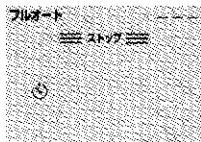
セルフタイマーと記念写真をあわせて使う
手順3でスタート/ストップボタンの代わりに、記念写真ボタンを押してください。15秒後に、通常の音声に‘カシャッ’という効果音をあわせた静止画像を約6秒間撮影し撮影一時停止になります。（49ページ）

スタート/
ストップ
ボタン



スタート/ストップ

（液晶画面）



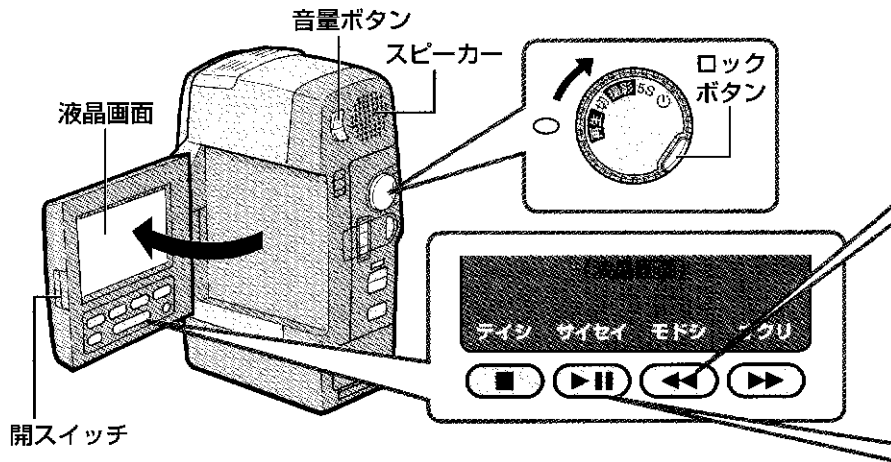
撮影中

再生する

撮影した映像を液晶画面で見ることが出来ます。

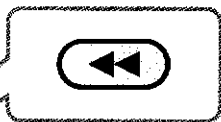
1 開スイッチを押して
液晶画面を開く

2 ロックボタンを正面から押しなが
ら、電源ダイヤルを'再生'にする



3 巻戻しボタンを押す

- テープの始めまで巻き戻すと、自動的に停止します。



4 再生/静止ボタンを押す

- 液晶画面に映像が映ります。
- スピーカーから音声を聞くことができます。音量調節をしたいときは音量ボタンを押してください。液晶画面に「オンリョウ ————— ♪ ————— +」の表示が出ます。+側を押すと音が大きく、-側を押すと音が小さくなります。



再生をやめるときは…

停止ボタンを押し、電源ダイヤルを「切」にする

- ロックボタンを押さなくても、電源ダイヤルは回ります。



テープの早送り/巻戻し

- 停止ボタンを押してから、早送りボタンまたは巻戻しボタンを押します。テープの始めや終わりで早送りや巻戻しをすると、自動的に停止します。
- 早送りボタンまたは巻戻しボタンを押したあと、ムービーがテープの位置を確認するため、タイムコード（60ページ）が数秒間、前後することがあります。

見たいところを早く探す（早送り/巻戻し再生）

- 再生中に早送りボタンまたは巻戻しボタンを押すと、高速で再生します。（約9倍速）見たい場面で再生ボタンを押してください。通常の再生になります。指を離さずに、早送りボタンまたは巻戻しボタンを押し続けても、高速で再生します。見たい場面で指を離せば、通常の再生になります。
- 早送り/巻戻し再生中に出る画像は、多少モザイクのかかったような映像になります。
- 音声は出ません。

再生する(ついでに)

テレビで見える



再生画を一時止めるには(静止画再生)

- 再生中に再生/静止ボタンを押します。再生に戻したいときはもう一度再生/静止ボタンを押します。
- 静止画再生を約3分以上続けると、自動的に再生が停止します。

記念写真ボタンを押すと(記念写真サーチ)

57ページの手順3の次に記念写真ボタンを押すと、テープに写した記念写真と、演出効果のストロボで撮影した位置を探することができます。ただし、テープの始めの位置で記念写真やストロボ撮影をしている場合や、記念写真と記念写真の間隔がせまいとき、連写をしているときは、撮影した正確な位置を探することができないことがあります。

- 記念写真サーチを途中でやめるときは、もう一度記念写真ボタンを押してください。

市販のソフトテープを再生したとき

本機で市販のコピーガード付きソフトテープは再生できません。映像と音声は出ず、画面はブルーバック(青い画面)になります。

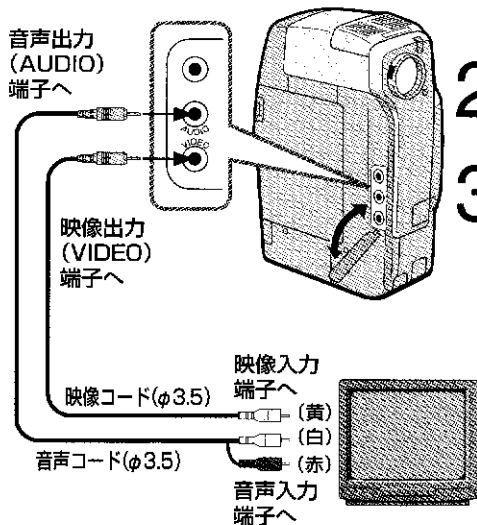
別売のビデオプリンターを使う

- ムービーで撮った映像から、スナップ写真が出来上がります。ムービーをステーションに取り付け、下図のように、ビデオプリンターと接続してください。(ムービーの液晶画面がテレビ画面の役割をします。)



- 日付を入れてプリントアウトしたいときは、ビデオプリンターの映像出力端子とテレビをつなぎ、テレビの画面を使ってビデオプリンターを操作してください。ステーションのプリンター端子(189ページ)に映像コードが接続されていると、日付やタイムコードは液晶画面に表示されません。

テレビで見る



ムービーとご家庭のテレビをつないで再生することができます。

1 ムービーとテレビをつなぎ、電源を入れる

2 テレビの入力をムービーからつないだ端子に切りかえる

(例：ビデオ1、ビデオ2、ムービーなど)

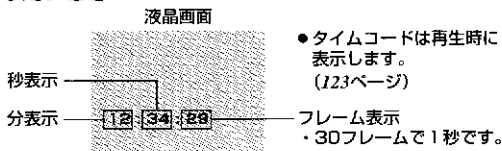
3 テープを再生する (56ページ)

- ムービーの電源は、バッテリーよりもACアダプターを使うことをおすすめします。
- ムービースタンドに、ムービーを置いて再生することを、おすすめします。
- カセットカバーを開くときは、映像コードや音声コード(別売キット)、ヘッドホン(別売)などを、ムービーから取りはずしてください。
- カセットカバーが開いていると、テープを動かすためのボタンは働きません。必ず閉めてください。
- 再生時の表示をテレビ画面から消すとき(出すとき)は、日時設定メニューの「オンスクリーン」を切(入)にしてください。(157ページ)

基本

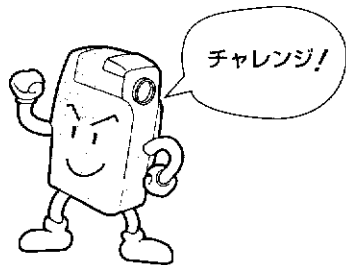
タイムコードとは

- ◆撮影中、テープの1コマ1コマに、タイムコードと呼ばれる数字を記録していきます。再生時に映像がテープのどの位置に記録されているか、確かめるための目安になります。撮影を始めた位置が無記録部分ならば「00:00:00」（分:秒:フレーム）から、前に撮影した映像につないで撮影する場合は、最後の数字の続きからタイムコードを記録していきます。
- ◆記念写真サーチ（58ページ）や自動編集（136ページ）は、タイムコードを使っておこないます。撮影時にテープの途中で無記録の部分ができると、タイムコードの記録は途切れ、再び撮影を始めた位置でまた「00:00:00」から記録し始めます。すると一本のテープの中に、複数の同じタイムコードができてしまい、記念写真サーチや自動編集をするときにムービーがどのタイムコードをえらぶかわからず、誤動作をおこす原因になります。以下のような場合はテープに無記録部分ができないよう、レコエンドサーチ（43ページ）を使うか、つなぎ撮り（46ページ）をしましょう。
 - 撮影後に、確認のため再生してみたテープで、引き続き撮影するとき
 - 撮影中に突然電源が切れたとき
 - テープを使い切らずに、撮影途中で出し入れしたとき
 - 途中まで録画してあるテープを使って撮影するとき
 - テープの途中にある無記録部分に録画したいとき
 - 撮影後にカセットカバーを開閉したあと、再び撮影するとき
- ◆早送り、巻戻し時は、タイムコードがスムーズに動かないことがあります。



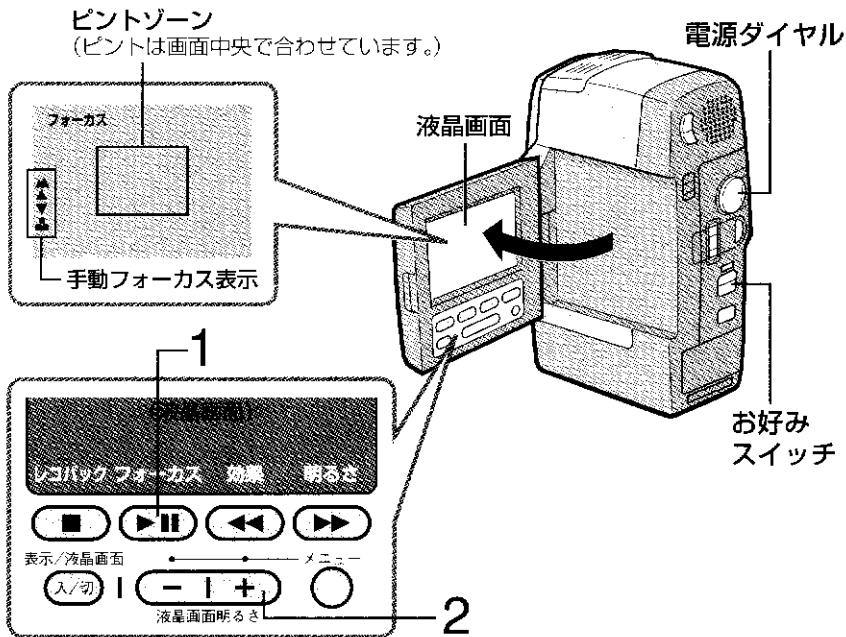
応 用

応
用



ピントを手動で 合わせる

ほとんどの場合、手動で約10cmから無限遠までピントが合いますが、合いにくい場合や被写体が画面中央にないときなどは手動でピントを合わせてください。



準備

- ①液晶画面を開く
- ②電源ダイヤルを「撮影」にする
- ③好みスイッチを「マニュアル」にする
- ④液晶画面に「フォーカス」の表示が出ていないときは、表示／液晶画面ボタンを押して表示させる

ピントを自動(オートフォーカス)にするには…

 (フォーカス)ボタンをポンと押す

- 手動フォーカス表示 ▲ 人が消えます。
- または、好みスイッチを「フルオート」にする

1 (フォーカス)ボタンを押す

- 液晶画面に「フォーカス」が表示され手動フォーカス表示 ▲ 人が出ます。
- ピントはこの状態で固定されます。

2 ボタンを押す

- 一側を押すと▲が点滅し、遠い方にピントを合わせていきます。
- 一側を押すと▼が点滅し、近い方にピントを合わせていきます。
- ピントが最遠点、最至近点になると液晶画面の ▲ 人がそれぞれ点滅します。目安としてお使いください。

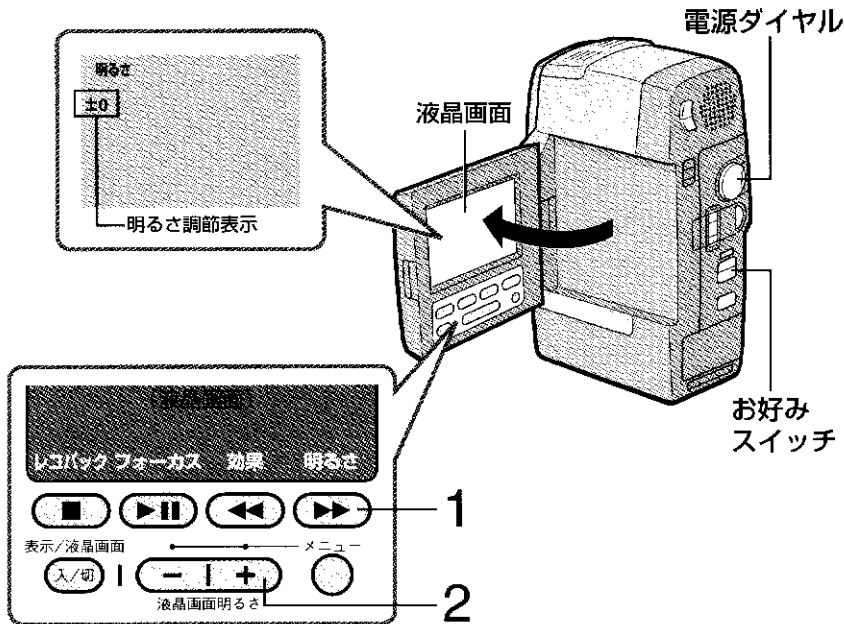


手動でピントを合わせたほうがよい場合

- 平らな壁や青空など、コントラスト（明暗差）のほとんどない被写体を撮るとき
- 金網などの障害物が被写体との間にある場合
- 暗い場所
- 細かい模様や、同じ模様が規則正しく並んでいる被写体
- 蛍光灯などのちらつきのある光源の下での撮影のとき

明るさを調節する

通常は、自動で合わせていますが、背景が明るすぎて被写体が暗くなる
ときや、背景に比べて被写体が明る
すぎるときなどは、手動で明るさを
合わせることをおすすめします。



準備

- ①液晶画面を開く
- ②電源ダイヤルを‘撮影’にする
- ③好みスイッチを‘マニュアル’にする
- ④液晶画面に‘明るさ’の表示が出ていないときは、表示／液晶画面ボタンを押して表示させる

1 (明るさ)ボタンを押す

- 液晶画面に‘明るさ’が表示され、明るさ調節表示が出ます。

2 ボタンを押す

- 6～+6まで設定できます。+側を押すと明るく、-側を押すと暗くなります。調節の目安にしてください。

明るさを自動に戻すには…

 (明るさ) ボタンをポンと押す

- 明るさ調節表示が消えます。

または、好みスイッチを‘フルオート’にする

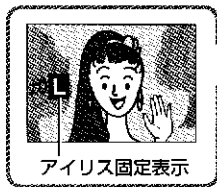
 手動で明るさ合わせをしたほうがよい場合

- 逆光のときや、スキー場や海辺で光の反射が強いときなど、背景が明るすぎて被写体が暗くなるとき
- スポットライトの中にいる人物を撮るときなど、背景に比べて被写体が明るすぎるときなど

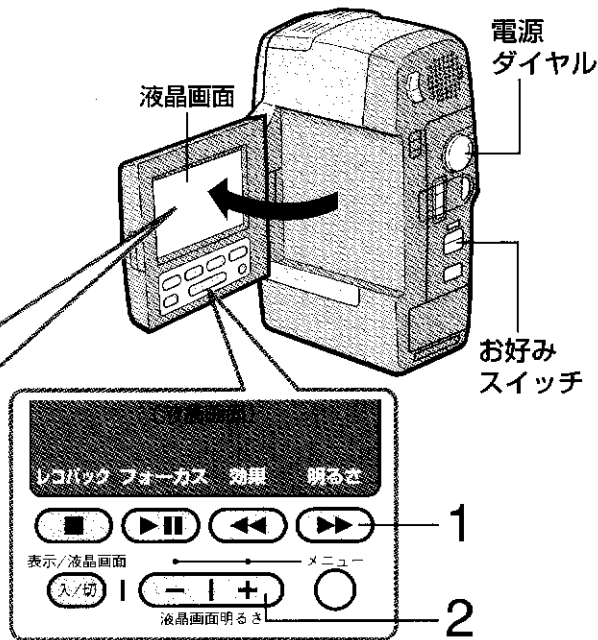
‘映像’の明るさ調節と‘液晶画面’の明るさ調節

左の手順(64～65ページ)でおこなうのは、映像の明るさ調節です。液晶画面の明るさだけを調節したい場合は、液晶画面明るさボタン(44ページ)を押してください。映像の明るさは変わりません。

アイリスを 固定する



動きのある被写体や、ズーム操作などで、画面上に映る被写体の大きさが変わっても、被写体の明るさを一定にしたいときお使いください。



被写体が近くにいるときにアイリスを固定しておけば、被写体が遠くに行っても黒くつぶれてしまわないようにすることができます。

準備

- ①液晶画面を開く
- ②電源ダイヤルを「撮影」にする
- ③好みスイッチを「マニュアル」にする
- ④液晶画面に「明るさ」の表示が出ていないときは、表示／液晶画面ボタンを押して表示させる

1  (明るさ) ボタンを押す
●液晶画面に「明るさ」が表示されます。

2 アイリスを固定したい被写体を画面いっぱいにし、 (明るさ) ボタンを約2秒押す
●液晶画面に明るさ調節表示と、**L**が表示され、アイリスは固定されます。

アイリスを自動に戻すには…

 (明るさ) ボタンを押す
●明るさ調節表示と**L**表示が消えます。

または、好みスイッチを「フルオート」にする

応用



アイリスを固定した方がよい場合

スキー場や海辺で光の反射が強いときや、スポットライトの中に入る人物を撮るときに、被写体が遠ざかっていくときや、ズームを使うとき。

好みの明るさでアイリスを固定する

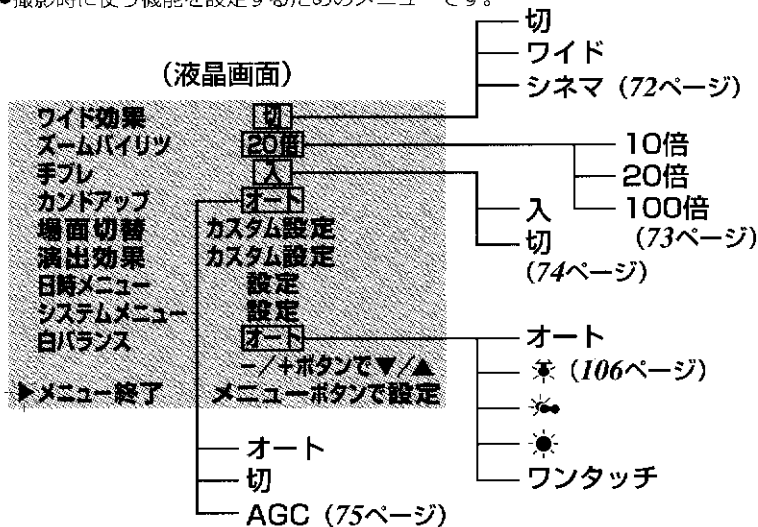
手順1のあと  ボタンで明るさを調節し、手順2でアイリスを固定してください。自動にするときは  (明るさ) ボタンをポンと押してください。約2秒間押すと、アイリスの固定が解除されます。

撮影メニュー の使いかた

撮影メニューを使っていろいろな機能の設定をすることができます。

撮影メニュー表示

●撮影時に使う機能を設定するためのメニューです。



撮影メニューを使って以下の機能を設定することができます。
設定したいときは下表の「参照ページ」覧のページをご覧ください。

機能名	こんなことができます	参照ページ
ワイド効果	ワイドテレビ対応の撮影をしたり、映像の上下に黒い帯を入れ、映画のように撮影することができます。	72
ズームバイリツ	10倍、20倍、100倍の中からズーム倍率を設定することができます。	73
手ブレ	手振れ補正の入/切を設定することができます。	74
カンドアップ	暗い場所で明るく撮影することができます。	75
場面切替	18種類の場面切替の中からよく使うお好みの5つをえらんで、場面切替メニューに表示させることができます。	86
演出効果	12種類の演出効果の中からよく使うお好みの5つをえらんで、演出効果メニューに表示させることができます。	94
日時メニュー	日時合わせや、オンスクリーンや日時表示の入/切ができます。	154, 156
システムメニュー	キネンシャシン、シーン、プザー／タリー、ボイスポジション、音声、IDナンバーなどの設定をおこなうためのメニューです。	96
白バランス	光の種類によって違った色合いになる映像を、自然な感じで映るように設定します。	106

撮影メニューの使いかた (つづき)

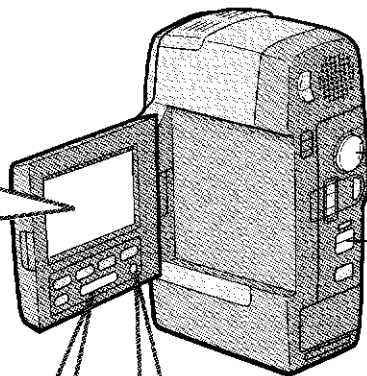
(液晶画面)

ワイヤリモコン	切
ズームハイリズ	2D倍
手ブレ	ス
カントアップ	オート
撮影切替	カスタム設定
演出効果	カスタム設定
日時メニュー	設定
システムメニュー	設定
白バランス	オート
メニュー終了	メニューボタンで設定

↓

ワイヤリモコン	切
ズームハイリズ	2D倍
手ブレ	ス
カントアップ	オート
撮影切替	カスタム設定
演出効果	カスタム設定
日時メニュー	設定
システムメニュー	設定
白バランス	オート
メニュー終了	メニューボタンで設定

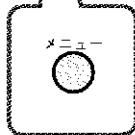
撮影メニュー表示



電源ダイヤル
'撮影'

お好み
スイッチ

2,4



1,3,5,6

撮影メニュー表示で設定する機能のうち、ワイド効果・ズームバイリツ・手ブレ・カンドアップは、以下の手順でおこないます。

準備

- ①液晶画面を開く
- ②電源ダイヤルを「撮影」にする
- ③お好みスイッチを「マニュアル」にする

1 メニューボタンを押す
●液晶画面に撮影メニュー表示が出ます。

2  ボタンを押す
●▶を「ワイド効果・ズームバイリツ・手ブレ・カンドアップ」のうちの、お好みの項目に合わせてください。＋側を押すと上に、－側を押すと下に▶が移ります。

3 メニューボタンを押す
●▶が点滅から点灯に変わり、変更したい項目が決定します。

4  ボタンを押す
●選んだ項目の右側の表示が切りかわります。お好みの設定を選んでください。

5 メニューボタンを押す
●▶が「メニュー終了」に移ります。
●他に変えたい項目が有るときは、手順2～5を繰り返します。

6 もう一度、メニューボタンを押す
●設定が終了し、撮影メニュー表示が消えます。

応用

ワイド効果をつける

映画のようにワイドな画面（画面比率16：9）で、映像を再生する撮影モードです。ワイドテレビをお使いになるときは、ワイドテレビの取扱説明書もお読みください。

ワイド	画面を上下方向に伸ばして撮影します。ワイドテレビで再生すると、被写体が横広がりにならずに画面比率16：9の映像になります。 ●画面比率が4：3のテレビや液晶画面では、再生時、撮影時ともに縦長の映像になります。
シネマ	映像の上下に黒い帯を入れて撮影します。ワイドテレビで再生すると、上下の黒い帯がカットされ画面比率16：9の映像になります。 画面比率が4：3のテレビや液晶画面では、再生時、撮影時、ともに上下に黒い帯が入り16：9の映画のような映像になります。
切	お好みスイッチが「フルオート」のときや、工場出荷時の設定はこの位置です。ワイドやシネマが必要ないときに選んでください。

ワイドやシネマの効果を出して撮影したい場合は、『撮影メニューの使いかた71ページ』の手順2で「ワイド効果」をえらんでください。



ワイドテレビで見るときは

ワイドやシネマを使って撮影すると、自動的に識別信号が記録されます。識別信号を自動判別する機能のついたワイドテレビのS2端子とステーションのS2端子をS映像コードで接続してください。テレビ側が識別信号を判別し、横広がりにならない映像を再生します。テレビ側にS2端子がない場合は、S1端子またはS端子に接続してください。(一部、識別信号を判別しないワイドテレビもあります。その場合は、テレビ側で手動で切り替えてください。)

- 識別信号を判別する機能のないビデオデッキで、ダビングしたテープを再生するとき、テレビ側で手動で切り替えてください。
- ワイドとシネマを混在させて撮ったテープは、早送り／巻戻し再生中、ワイドとシネマを判別するとはできません。

ズーム倍率を設定する

ズーム倍率の設定は、10倍・20倍・100倍の3種類あります。

10倍	10倍までのズームができます。電氣的に映像を処理しない光学ズームで、きれいに撮影します。
20倍	お好みスイッチが「フルオート」のときや、工場出荷時の設定はこの位置です。20倍までのズームができます。映像を電氣的に処理（デジタルズーム）し、より大きく撮影できます。10倍ズームより映像は劣化します。
100倍	100倍までのズーム（デジタルズーム）ができます。10倍ズームより映像は劣化します。

応用

ズーム倍率の設定を変えたい場合は、『撮影メニューの使いかた(71ページ)』の手順2で「ズームパイリツ」をえらんで設定してください。

画面の揺れをおさえる(手振れ補正)

ムービーを手で持って撮影していると、微妙な手のふるえのため、撮影した映像がブレて見づらい映像になることがあります。それを補正するための機能です。

入	アップで撮影するときなどに起こる比較的小さな画面の揺れを、自動的に補正します。お好みスイッチが「フルオート」のときや、工場出荷時の設定はこの位置です。 ●液晶画面に「手ブレ」が表示されます。
切	三脚を使ったり、ムービーを固定して撮影するときには手振れ補正を切ってください。手振れ補正が「入」のまま撮影すると、動く被写体に合わせて必要のない手振れ補正をし、不自然な映像になってしまうことがあります。

設定を変えたい場合は、『撮影メニューの使いかた(71ページ)』の手順2で「手ブレ」をえらんで設定してください。



手振れを補正できないとき

- 手振れが大きい場合や、コントラスト(明暗差)のほとんどない被写体の場合は、補正できないことがあります。
- 演出効果や場面切替の機能によっては、手振れ補正が働かないものもあります。そのときは、液晶画面の「手ブレ」表示が点滅します。手振れ補正できない機能は、演出効果の映画効果、ストロボ、コウカンド4倍、コウカンド10倍(90, 91ページ)と、場面切替の映像ワイプ/オーバーラップ(82, 83ページ)で前の映像を記憶しているときです。

暗いところで撮影する(カンドアップ)

ムービーは比較的暗いところでも、実際よりも明るく撮影することができます。用途に応じて、オート・切・AGCの3種類からいずれかを選んでお使いください。

オート	お好みスイッチが「フルオート」のときや、工場出荷時の設定はこの位置です。シャッター自動可変（1/30～1/200秒）で撮影します。暗いところでの撮影では1/30秒シャッターとなりAGCよりも明るく撮れますが、被写体の動きは多少不自然になります。
切	暗いシーンをそのままの暗さで撮影します。
AGC	電氣的に画面を明るくしているため、映像が多少ザラザラした感じになりますが、「オート」のように動きが不自然になりません。動きのある被写体を撮るときにお使いください。

設定を変えたい場合は、「撮影メニューの使いかた(71ページ)」の手順2で「カンドアップ」をえらんで設定してください。

場面のつなぎに変化をつける(場面切替)

撮影中に、場面と場面のつなぎに変化をつけたいときにお使いください。

場面切替一覧表 (18種類あります。)

	マーク	こんなことができます	参照 ページ
A 黒や白の画面で場面切替をする	 白フェーダー	白い画面で、フェードイン/アウトします。	78 ~ 81
	 黒フェーダー	黒い画面で、フェードイン/アウトします。	
	 白黒フェーダー	白黒画面からカラー画面にフェードイン、カラー画面から白黒画面にフェードアウトします。	
	 モザイクフェーダー	全体にモザイクがかかった画面でフェードイン/アウトします。	
	 コーナーワイプ	黒い画面の右上から左下へ、映像が徐々にワイプイン、左下から右上へワイプアウトします。	
	 ウィンドウワイプ	黒い画面の中心から、映像が徐々にワイプイン、画面の中心へワイプアウトします。	
	 スライドワイプ	黒い画面の右から左へ、映像が徐々にワイプイン、左から右へワイプアウトします。	
	 ドアワイプ	黒い画面から、映像が左右にドアを開けていくようにワイプイン、閉めていくようにワイプアウトします。	
	 スクロールワイプ	黒い画面から、映像が下から上へ徐々にワイプイン、上から下へワイプアウトします。	
	 シャッターワイプ	黒い画面の中央から上下に、映像が徐々にワイプイン、上下から中央にワイプアウトします。	

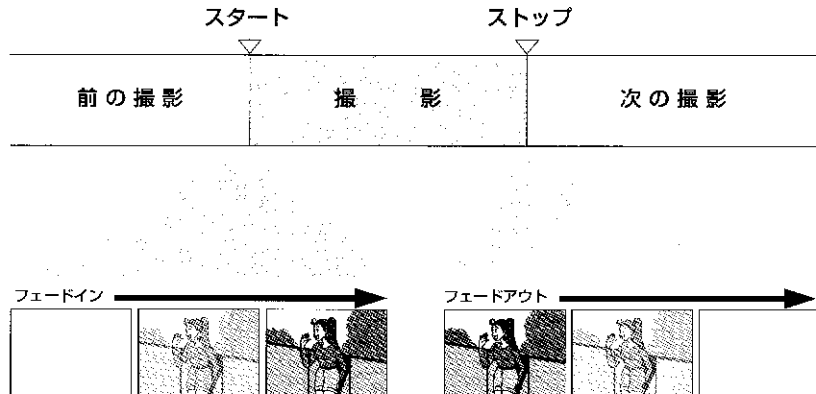
	マーク	こんなことができます	参照 ページ
B	 R ランダム	「 A 黒や白の画面で場面切替をする」の中からフェーダーやワイプを自動的にえらび、場面を切り替えていきます。	79 ~ 81
C 映像を使って場面切替をする	 P オーバーラップ	最後の場面から次の撮影の映像がだんだん浮かび上がっていくようにオーバーラップします。	82 ~ 85
	 P コーナーワイプ	最後の場面の右上から左下へ徐々にワイプインします。	
	 P ウィンドウワイプ	最後の場面に、次に撮影した場面が、画面中心から徐々にワイプインします。	
	 P スライドワイプ	最後の場面に、次に撮影した場面が、右から左へ徐々にワイプインします。	
	 P ドアワイプ	最後の場面から、左右にドアを開けていくようにワイプインします。	
	 P スクロールワイプ	最後の場面に、次に撮影した場面が、下から上にワイプインします。	
	 P シャッターワイプ	最後の場面に、次に撮影した場面が、中央から上下にワイプインします。	

- 設定のしかたは「参照ページ」欄のページをご覧ください。
- で印の付いている場面切替は、出荷時に設定されています。
それ以外のものを使いたいときは、「場面切替を入れかえる(86ページ)」で設定してから、お使いください。

次ページへつづく

A 黒や白の画面で場面切替をする

(例) **白** 白フェーダー

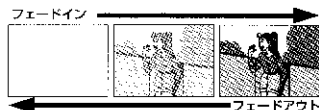


黒や白の画面を使って、場面と場面のつなぎに変化をつけることができます。場面切替メニューの中から、お好みの場面切替(76ページ)を一つえらんでお使いになれます。設定のしかたは80ページをご覧ください。

●他に映像を使って場面を切り替えることもできます。(82ページ)

フェーダー

映画やテレビのように、場面が徐々に薄れて消えていくことをフェードアウト、徐々に浮かび上がってくることをフェードインといいます。



(例)  白フェーダー

ワイブ

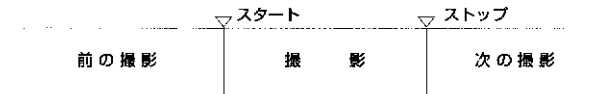
映像を拭きとる（拭く＝ワイブ）ように、場面が消えていくことをワイブアウト、真っ黒な場面を拭きとるようにして次の映像が現れてくることをワイブインといいます。



(例)  シャッターワイブ

応用

?R ランダムを使って場面切替をする



(例)  白フェーダー



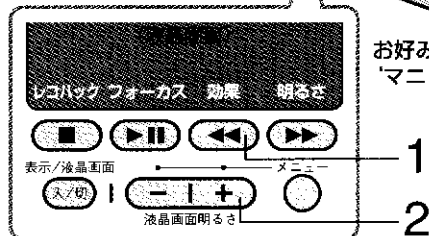
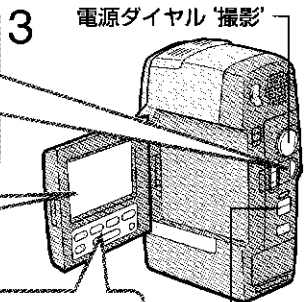
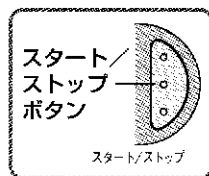
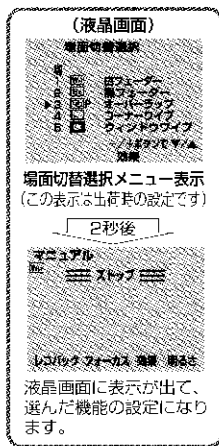
(例)  スクロールワイブ

-  黒や白の画面で画面切替をする'の中からフェーダーやワイブを自動的にえらび、場面を切り替えていきます。
- 設定のしかたは  と同様です。80ページをご覧ください。

場面のつながぎに変化をつける(つづき)

A 黒や白の画面で場面切替をする(つづき)

黒や白の画面で場面切替をするために、場面切替選択メニューの中から、お好みの効果の一つえらんでお使いになれます。



準備

- ①液晶画面を開く
- ②電源ダイヤルを「撮影」にする
- ③お好みスイッチを「マニュアル」にする
- ④液晶画面に「効果」の表示が出ていないときは、表示／液晶画面ボタンを押して表示させる

1 ◀▶ (効果) ボタンを押す

- 液晶画面に場面切替選択メニューが出ます。

2 - 1 + ボタンを押して▶をお好みの効果に合わせる

- +側を押すと上に、-側を押すと下に▶が移ります。
- お好みの効果に▶を合わせると2秒後に場面切替メニューが消え、選んだ効果が設定されます。液晶画面に選んだ効果の表示が出ます。

3 スタート/ストップボタンを押す

- スタート/ストップボタンを押すごとに、フェード/ワイプインで撮影を始め、フェード/ワイプアウトで、撮影一時停止になります。

場面切替をやめるには…

場面切替選択メニューで▶を「切」に合わせる



フェード状態の長さを変えるには

スタート/ストップボタンを押している間はフェード/ワイプ状態がつづきます。

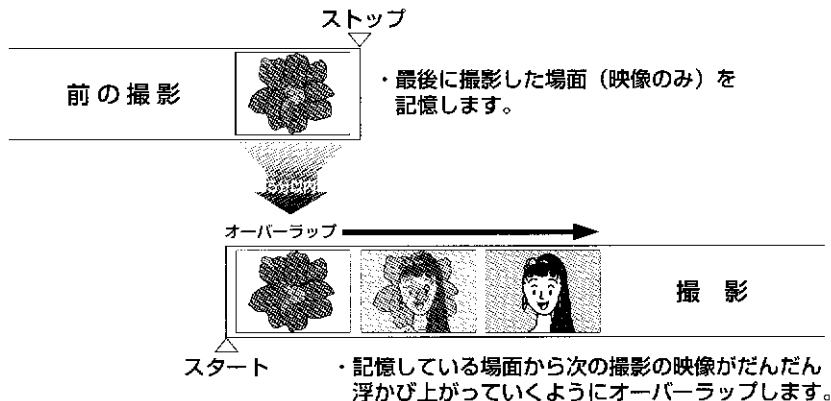
演出効果と一緒に使う

撮影時に演出効果を設定してあれば、いろいろと効果的な映像を、お楽しみいただけます。
(一緒に使えない機能は、表示が点滅します。)

応用

映像を使って場面切替をする(Pのつく場面切替)

(例) P オーバーラップ



映像を使って、場面と場面のつなぎに変化をつけることができます。場面切替メニューの中から、お好みの場面切替（77ページ）を一つえらんでお使いになれます。

設定のしかたは84ページをご覧ください。

●他に黒や白の画面で場면을切り替えることもできます。（78ページ）



(例)  P コーナーワイプ



(例)  P ドアワイプ



(例)  P ウインドウワイプ



(例)  P スクロールワイプ



(例)  P スライドワイプ



(例)  P シャッターワイプ

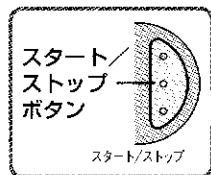
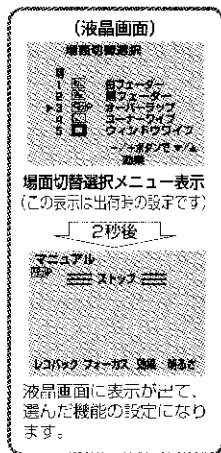
応用

場面のつなぎに変化をつける(つづき)



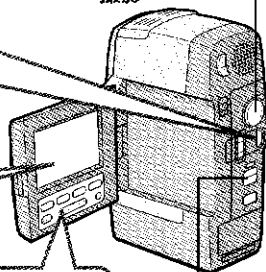
映像を使って場面切替をする(つづき)

映像を使って場面切替をするために、場面切替選択メニューの中から、お好みの効果の一つえらんでお使いになれます。

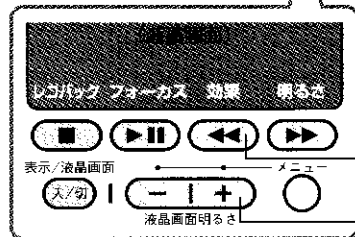


3,4,5

電源ダイヤル
'撮影'

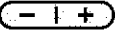


お好みスイッチ
'マニュアル'



準備

- ①液晶画面を開く
- ②電源ダイヤルを「撮影」にする
- ③お好みスイッチを「マニュアル」にする
- ④液晶画面に「効果」の表示が出ていないときは、表示／液晶画面ボタンを押して表示させる

- 1  (効果) ボタンを押す
●液晶画面に場面切替選択メニューが出ます。
- 2  ボタンを押して▶をお好みの効果に合わせる
●+側を押すと上に、-側を押すと下に▶が移ります。
●お好みの効果に▶を合わせると2秒後に場面切替メニューが消え、選んだ効果が設定されます。液晶画面に選んだ効果の表示が出ます。
- 3 スタート/ストップボタンを押して撮影をする



表示が点滅する

- 最後の場面の記憶が消去された場合、映像ワイプ／オーバーラップの表示が点滅します。1度撮影をおこなってください。最後に撮影した場面を記憶し、次の撮影から場面切替を始めます。

- 4 スタート/ストップボタンを押し、撮影一時停止にする
●最後に撮影した場面(映像のみ)を記憶します。

記憶した場面
5分以内

- 5 スタート/ストップボタンを押して撮影をする
●手順4で記憶している場面からワイプインし、次の場面が始まります。

応用

場面切替をやめるには…

場面切替メニューで▶を「切」に合わせる



電源が切れると、最後に記憶した場面が消去されてしまいます。注意してください。

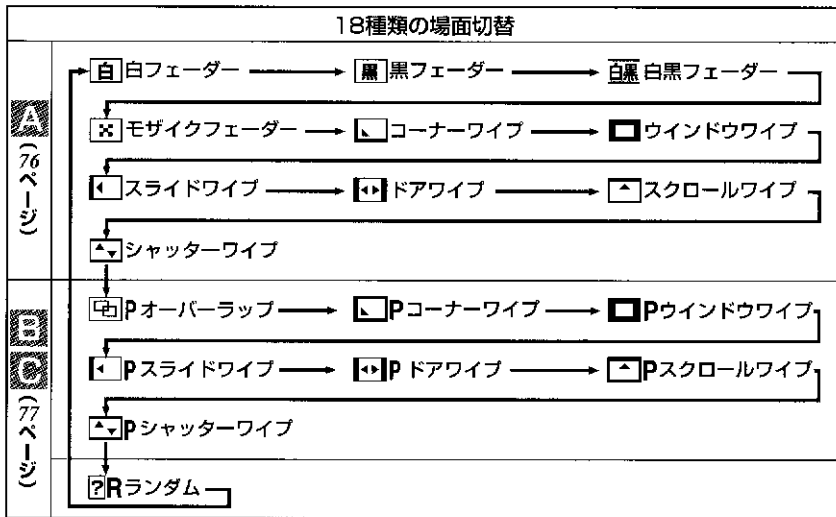
- 撮影時に演出効果を設定してあれば、いろいろな効果的な映像をお楽しみいただけますが、一緒に使えない機能は表示が点滅します。

場面切替を 入れかえる

場面切替メニューには18種類中、5種類の場面切替が表示されます。表示されていないものを使いたいときは、場面切替を入れかえてください。

18種類の場面切替の中から、よく使うお好みの5つをえらんで、場面切替メニューに表示させることができます。場面切替は以下の順に表示されます。

●ここでおこなうのは入れかえのみです。入れかえた場面切替を使いたいときは、80, 84ページをご覧になって設定してください。



(液晶画面)

場面切替カスタム設定

1		白フェーダー
2		黒フェーダー
3		オーバーラップ
4		コーナーワイプ
5		ウィンドウワイプ

▶ 設定終了 -/+ボタンで▼/▲
 メニューボタンで設定

(場面切替カスタム設定画面)

1つ選びます

18種類の場面切替

1つ選びます

18種類の場面切替

1つ選びます

18種類の場面切替

1つ選びます

18種類の場面切替

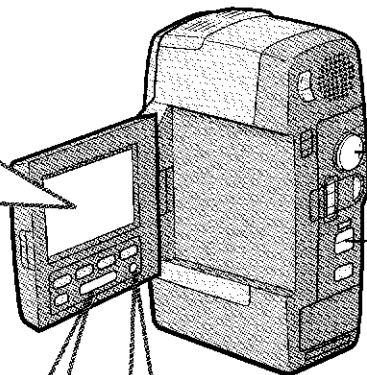
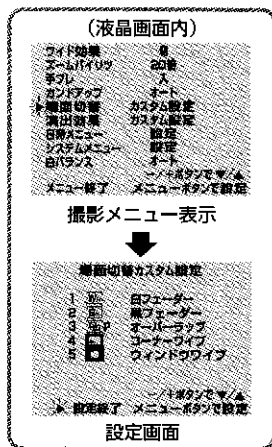
1つ選びます

18種類の場面切替

場面切替を入れかえる

(つづき)

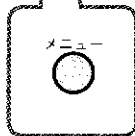
場面切替にある機能をお好きなものに5種類まで入れかえることができます。



電源ダイヤル
'撮影'

お好み
スイッチ

2,4,5

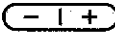


1,3,6

準備

- ①液晶画面を開く
- ②電源ダイヤルを‘撮影’にする
- ③お好みスイッチを‘マニュアル’にする

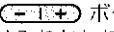
1 メニューボタンを押す
●液晶画面に撮影メニュー表示が出ます。

2  ボタンで▶を‘場面切替’に合わせる
●+側を押すと上に、-側を押すと下に▶が移ります。

3 メニューボタンを押す
●液晶画面に設定画面が表示されます。

4  ボタンで▶を入れかえたい番号に合わせ、メニューボタンを押す
●▶が点滅から点灯に変わります。

5  ボタンでお好みの場面切替 (76, 77ページ)に入れかえ、メニューボタンを押す

-  ボタンを押すごとに場面切替は入れかわります。
- メニューボタンを押すと、▶が‘設定終了’に移ります。

6 メニューボタンを2回押す
●お好みの場面切替に入れかわりました。

入れかえた場面切替を使いたいときは以下のページをご覧ください。

- A** 黒や白の画面で場面切替をする
- B** ランダムを使って場面切替をする
→80ページ
- C** 映像を使って場面切替をする
→84ページ

応用

映像に変化をつける (演出効果)

映像に変化をつけて撮影したいときにお使いください。

映像に変化をつけることができます。設定のしかたは92ページをご覧ください。

で印の付いている効果は、出荷時に設定されています。それ以外の効果を使いたいときは、「演出効果を入れかえる (94ページ)」で設定してから、お使いください。

マーク	効果名	こんなことができます
B/W	ブラック/ホワイト	白黒映画のように、映像が白黒に写ります。ワイド効果のシネマと合わせて使うと古い白黒映画の雰囲気をお楽しみいただけます。
	セピア	思い出の写真のように、映像が古い写真のようなセピア色で写します。ワイド効果のシネマと合わせて使うと古い映画の雰囲気をお楽しみいただけます。
	映画効果	速いコマ落とし効果を出して写します。
	夜景	夕日が沈むときなど、夜景を撮るときザラザラしない自然な感じで撮影することができます。 ●白バランスは★になりますが、おこのみで変えることもできます。(106ページ) ●手動フォーカス表示が出ます。被写体にピントが合わないときは手動で合わせてください。(62ページ)
	ゴースト	被写体は何重にも重なって写ります。幻想的なイメージです。
	ストロボ	コマ落としの効果で、連続写真のように写します。

マーク	効果名	こんなことができます	
※ 1	コウカンド 4倍	暗くて写らなかったものも、明るく浮かび上がらせて撮影することができます。通常よりも約4倍明るくなります。(1/15秒シャッター)	
※ 2	コウカンド10倍	コウカンド 4倍と同様、通常よりも約10倍明るくなります。(1/6秒シャッター)	
1/60	シャッター1/60	シャッタースピードを1/60に固定します。 NTSC方式の地域(日本、アメリカ他)の場合は、テレビ画面などを撮影するとテレビ画面に黒い帯が写ることがあります。1/60秒シャッターにすると、黒い帯は細くなります。	
1/100	シャッター1/100	シャッタースピードを1/100に固定します。 電源が50Hz(ヘルツ)地域の場合は、蛍光灯や水銀灯の光で撮影すると、画面がチラつくことがあります。1/100秒シャッターにすると、チラつきは少なくなります。	
1/250	シャッター1/250	シャッタースピードを1/250に固定します。	動きの速いものを1コマ1コマ鮮明に撮るので、後でスロー再生したときに、画面がブレたりせずきれいに再生できます。 シャッタースピードは速くなるほど画面が暗くなります。できるだけ明るいところで撮影してください。
1/500	シャッター1/500	シャッタースピードを1/500に固定します。	

**コウカンド(高感度)
をお使いのときは**

- コマ落としのような映像になります。
- 暗いところのみでお使いください。
- 手動フォーカス表示が出て、点滅することがあります。
- ピントが合わないときは手動で合わせ、三脚などで固定して撮影してください。

次ページへつづく

映像に変化をつける (演出効果つづき)

(液晶画面)

演出効果選択

- 1 1/250 シャッター1/250
- 2 効果
- 3 白飛び
- 4 B/W ブラック/ホワイト
- 5 効果

演出効果選択メニュー表示
(この表示は出荷時の設定です)

(液晶画面)

演出効果選択

- 1 1/250 シャッター1/250
- 2 効果
- 3 白飛び
- 4 B/W ブラック/ホワイト
- 5 効果

2秒後

マニュアル

■ ■ ■ ストップ ■ ■ ■

液晶画面に表示が出て、選んだ機能の設定になります。

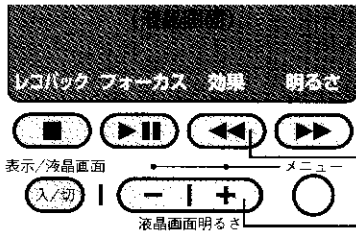
3

スタート/
ストップ
ボタン

スタート/ストップ

電源ダイヤル '撮影'

お好みスイッチ
'マニュアル'



1

2

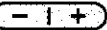
演出効果選択メニューの中から、お好みの効果を1つえらんでお使いになれます。

準備

- ①液晶画面を開く
- ②電源ダイヤルを「撮影」にする
- ③お好みスイッチを「マニュアル」にする
- ④液晶画面に「効果」の表示が出ていないときは、表示／液晶画面ボタンを押して表示させる

1  (効果) ボタンを2回押す

- 液晶画面に演出効果選択メニューが出ます。

2  ボタンを押して▶をお好みの効果に合わせる

- +側を押すと上に、-側を押すと下に▶が移ります。
- お好みの効果に▶を合わせると2秒後に演出効果メニューが消え、選んだ効果が設定されます。
- 液晶画面にえらんだ効果の表示が出ます。

3 スタート/ストップボタンを押して撮影をする

- えらんだ効果の入った、変化のある映像を撮ることができます。

演出効果をやめるには…

演出効果選択メニューで▶を「切」に合わせる

応用

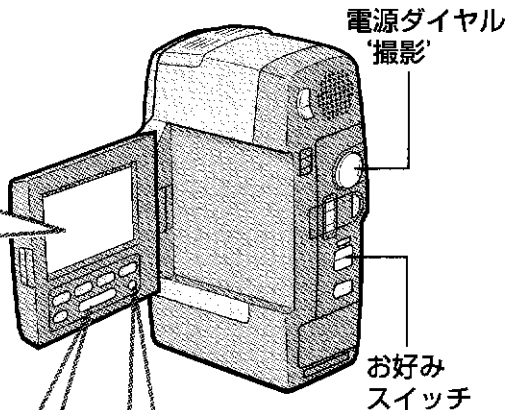
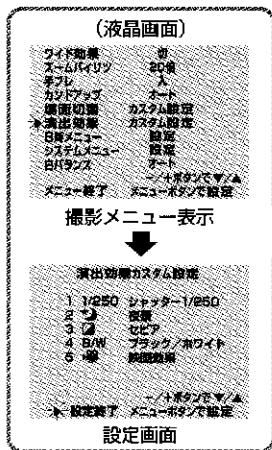


場面切替と一緒に使う

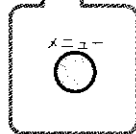
撮影時に場面切替を設定してあれば、いろいろと効果的な映像を、お楽しみいただけます。(一緒に使えない機能は表示が点滅します。)

演出効果を 入れかえる

演出効果メニューには12種類中、5種類の演出効果が表示されます。表示されていないものを使いたいときは、演出効果を入れかえてください。



2,4,5

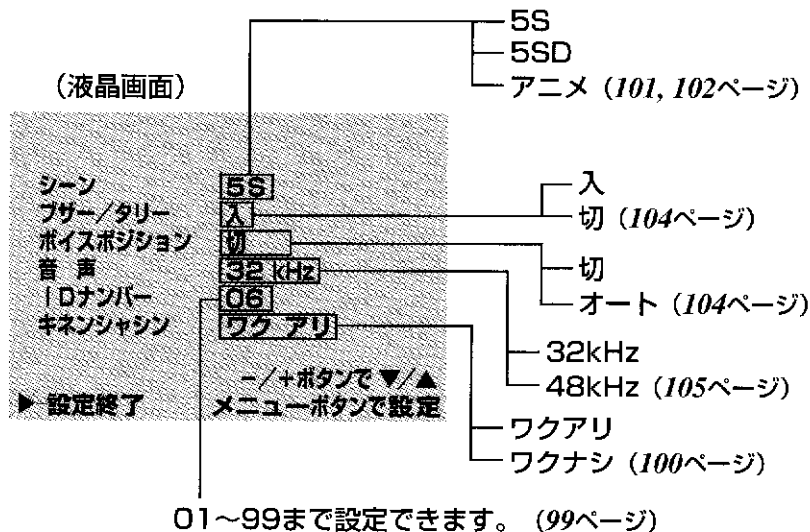


1,3,5,6

システムメニュー の使いかた

撮影メニューの中のシステムメニューを使って、いろいろな機能の設定をすることが出来ます。

システムメニュー表示



システムメニューを使って以下の機能を設定することができます。
設定したいときは下表の「参照ページ」欄のページをご覧ください。

機能名	こんなことができます	参照ページ
シーン	5S、5SD、アニメの中から好みの機能を設定することができます。	101
ブザー／タリー	ムービーの動作を知らせるアラーム音や記念写真効果音、タリーランプの点灯の、有り、無しの設定ができます。	104
ボイスポジション	風の音や雑音などを入りにくくすることができます。	104
音声	32kHzと48kHzのどちらかに設定できます。	105
IDナンバー	別売のJLIPプレイヤーパックHS-V1KITなどを使用して、パソコン操作でムービーを動かすために必要な番号です。01～99まで設定できます。工場出荷時は06に設定されています。	99
キネンシャシン	記念写真の白ワクの、有り、無しの設定ができます。	100

システムメニューの 使いかた(つづき)

(液晶画面)

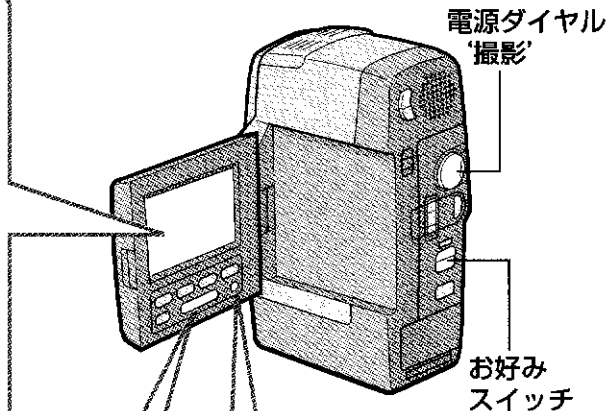
ワイド撮影	切
ズームリセット	20番
多重露光	入
カントアップ	オート
撮影切替	カスタム撮影
撮影切替	カスタム撮影
日時メニュー	設定
システムメニュー	設定
セルフタイマー	オート
メニュー終了	メニューボタンで終了
メニュー終了	メニューボタンで設定

撮影メニュー表示

↓

シーン	BS
ブザー/タリ	入
ボイスレコーディング	切
音 量	32bit
10ナンバー	010
カメラシャッター	クセアリ
メニュー終了	メニューボタンで終了
メニュー終了	メニューボタンで設定

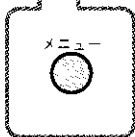
システムメニュー表示



2,4,6



メニュー



1,3,5,7,8

システムメニューの設定は、以下の手順でおこないます。

準備

- ①液晶画面を開く
- ②電源ダイヤルを「撮影」にする
- ③お好みスイッチを「マニュアル」にする

1 メニューボタンを押す

- 液晶画面に撮影メニュー表示が出ます。

2 ボタンを押す

- ▶を「システムメニュー」に合わせてください。＋側を押すと上に、－側を押すと下に▶が移ります。

3 メニューボタンを押す

- 液晶画面にシステムメニュー表示が出ます。

4 ボタンを押す

- ▶を「シーン・ブザー/タリー・ボイスポジション・音声・IDナンバー・キネンシャシ」のうちのお好みの項目に合わせてください。

5 メニューボタンを押す

- ▶が点滅から点灯に変わり、変更したい項目が決定します。

6 ボタンを押す

- えらんだ項目の右側の表示が切りかわります。お好みの項目を選んでください。
- 手順4で「IDナンバー」をえらんだときは、数字を入力します。＋側を押すと数が大きく、－側を押すと数が小さくなります。

7 メニューボタンを押す

- ▶が「設定終了」に移ります。
- 他に变えたい項目が有るときは、手順4～7を繰り返します。

8 メニューボタンを2回押す

- 設定が終了し、システムメニュー表示が消えます。

応用

記念写真の設定をする(キネンシャシン)

お好みに合わせて、記念写真(48ページ)の白ワクの、有り、無しをえらぶことができます。

ワクアリ	お好みスイッチが 'フルオート' のときや、工場出荷時の設定はこの位置です。記念写真撮影をしたときに、シャッター音と共にシャッター幕があり、白ワク付きの静止画像を記録することができます。
ワクナシ	記念写真撮影をしたときに、白ワクの付かない静止画像を記録することができます。

設定を変えたい場合は、「システムメニューの使いかた(99ページ)」の手順4で 'キネンシャシン' をえらんでください。

シーン撮影の設定をする(シーン)

5S (5秒撮り) ・ 5SD ・ アニメの3種類があります。用途に応じていずれかをお使いください。

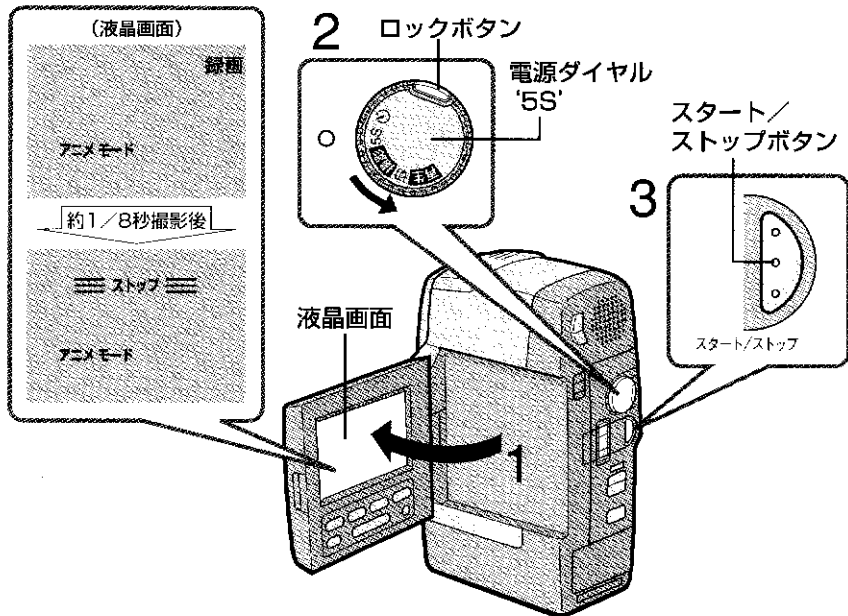
5S	スタート/ストップボタンを押すごとに、5秒間ずつ撮影します。テレビドラマのようにテンポがよく、飽きのこない映像を残せます。(52ページ) 工場出荷時の設定はこの位置です。
5SD	5秒間の撮影のあと、5分以内に次の撮影をおこなうと、約2秒間のオーバーラップ撮影をして、次の5秒間の撮影につなげます。(53ページ)
アニメ	スタート/ストップボタンを押すごとに、約1/8秒間ずつ撮影します。人形など、通常動かないものを繰り返し撮影すると、ひとりでに動いているように見えます。(102ページ)

設定を変えたい場合は、『システムメニューの使いかた(99ページ)』の手順4で‘シーン’をえらんでください。

●シーン撮影中は、ピント(62ページ) や明るさ(64ページ) は自動調節になります。

アニメ撮影をする

アニメ撮影をする



人形など、通常動かないものをアニメ撮影すると、ひとりでに動いているような映像を楽しめます。出荷時は設定されていません。アニメ撮影をしたいときは、『システムメニューの使いかた(99ページ)』の手順4～8で‘シーン’を選んで‘アニメ’を設定し、以下の手順でおこないます。

1 液晶画面を開く

2 ロックボタンを正面から押しながら、電源ダイヤルを‘5 S’にする

- 液晶画面に‘アニメモード’が表示され、撮影一時停止になります。

3 スタート/ストップボタンを押す

- 約1/8秒間の撮影後、アニメ撮影一時停止になります。
- スタート/ストップボタンを繰り返し押して、撮影します。

アニメ撮影をやめるときは…

撮影一時停止のときに、電源ダイヤルを‘撮影’か‘切’にする

- ロックボタンを押さなくても、電源ダイヤルは回ります。



アニメ撮影をするとき

フルオート撮影になります。場面切替(76ページ)、演出効果(90ページ)や、その他のマニュアル操作はできません。

アニメ撮影を始めるとき

テープの無記録部分でアニメ撮影を始めると、約1秒間の撮影をし、次の撮影から1/8秒間の撮影をおこないません。

音声の設定をする 風の音をカットする アラーム音の設定をする

アラーム音やタリーランプの 設定をする(ブザー／タリー)

ムービーの動作をお知らせするアラーム音や記念写真の効果音、タリーランプの点灯の入／切をします。

入	工場出荷時の設定はこの位置です。 ・電源の入／切や撮影のスタート／ストップをアラーム音で知らせます。 ・記念写真の効果音が出ます。 ・撮影中はタリーランプ(180ページ)が点灯します。
切	アラーム音を出したくないときや、記念写真の効果音を出したくないとき(テープには記録されます。)、タリーランプを点灯させたくないときに。

アラーム音を切りたいときは、『システムメニューの使いかた(99ページ)』の手順4で‘ブザー／タリー’をえらんで設定してください。

風の音をカットする (ボイスポジション)

用途に応じて、オート・切の2種類からいずれかをえらんでお使いください。

オート	風のある所での撮影時に、風による雑音を自動的に軽減します。 ・液晶画面に  を表示します。 ・音質が変わりますが、故障ではありません。
切	お好みスイッチが‘フルオート’のときや、工場出荷時の設定はこの位置です。自然のままの音を収録します。

設定を変えたい場合は、『システムメニューの使いかた(99ページ)』の手順4で‘ボイスポジション’をえらんでください。

音声の設定をする

撮影時の音声には、サンプリング周波数が32kHzと48kHzの2種類があります。用途に応じて、いずれかを設定してください。

キロヘルツ 32kHz	工場出荷時の設定はこの位置です。 4つのチャンネルにステレオ音声で、録音することができます。 ・後でアフレコ編集をするときは、この設定にしてください。
キロヘルツ 48kHz	2つのチャンネルにステレオ音声で、録音することができます。 ・48kHzで記録したテープでは、後でアフレコ編集することはできません。

設定を変えたい場合は、『システムメニューの使いかた (99ページ)』の手順4で「音声」をえらんで設定してください。



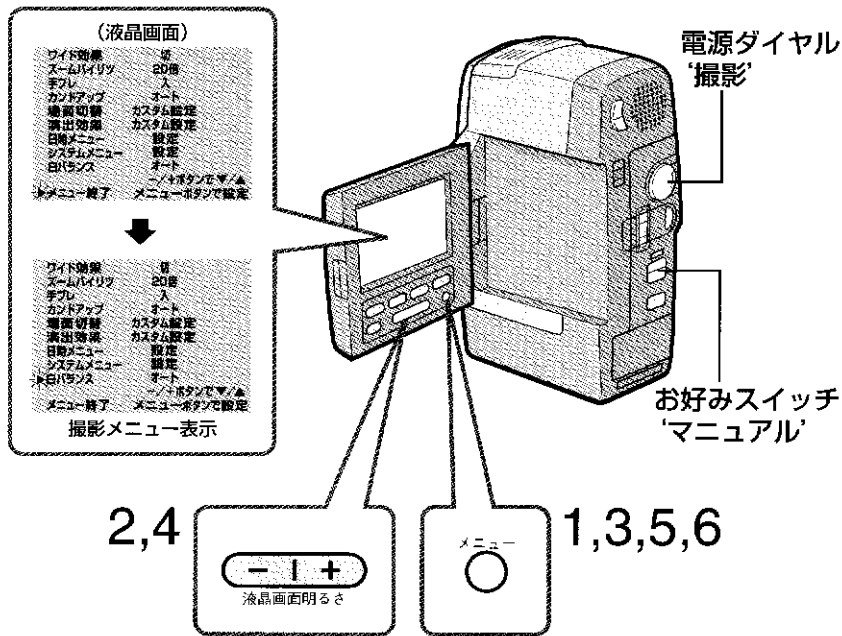
撮影時に記録される音声

32kHzの場合		48kHzの場合	
左 L1 L2	右 R1 R2	左 L	右 R

で印の付いているチャンネルに録音します。

白バランスを 合わせる

お好みのスイッチをフルオートにしているときは自動で白バランスを合わせています。いろいろな種類の光源で撮影するときや、色合いを変えて映像を撮りたいときなどに、お使いください。



準備

- ①液晶画面を開く
- ②電源ダイヤルを「撮影」にする
- ③お好みスイッチを「マニュアル」にする

1 メニューボタンを押す
●液晶画面に撮影メニュー表示が出ます。

2   ボタンを押して▶を白
バランスに合わせる
●+側を押すと上に、-側を押すと下に、
▶が移ります。

3 メニューボタンを押す
●▶が点滅から点灯に変わります。

4   ボタンを押してお好み
の項目をえらぶ

オート	自動で白バランスを合わせます。通常はこの位置で
	ビデオライトなどで照明するとき
	くもり日や日陰で撮影するとき
	晴れた日に屋外で撮影するとき
ワンタッチ	あらかじめの被写体に合わせて設定した白バランス (108ページ)で撮影するとき

5 メニューボタンを押す
●▶が「メニュー終了」に移ります。

6 もう一度メニューボタンを押す
●設定終了となります。液晶画面にえらんだマークが表示されます。

白バランスを自動に戻すには…

手順4で「オート」を選ぶ
または、お好みスイッチを「フルオート」にする

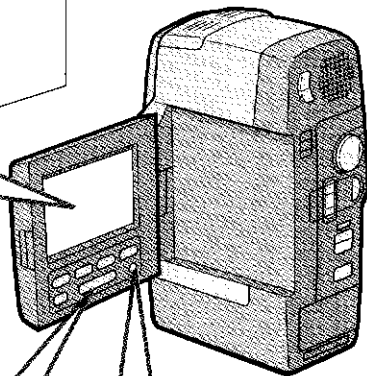
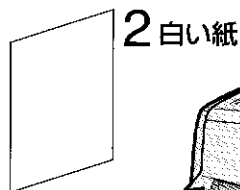
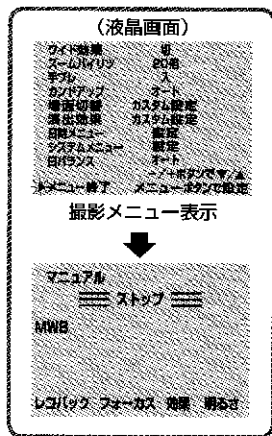


白バランスの設定が効かない

演出効果の「セピア」「白黒」を使用しているときは、
設定しても、白バランスは働きません。

応
用

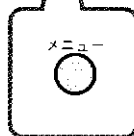
白バランスを合わせる
(つづき)



3



4



ワンタッチを設定する

ワンタッチはいろいろな光源の下の被写体を撮影するときあらかじめ設定して、お使いください。

1 107ページの手順1～4をおこなう
●107ページの手順4で‘ワンタッチ’をえらんでください。‘ワンタッチ’が点滅します。

2 被写体の前に白い紙を置き、画面いっぱい白を写す

3  ボタンの一側か＋側を押し続け、‘ワンタッチ’の点滅が早くなったら手を離す
●ワンタッチの設定が終わると、‘ワンタッチ’の点滅が止まり、▶が‘メニュー終了’に移ります。

4 メニューボタンを押す
●設定終了となります。液晶画面に‘MWB’が表示されます。



ワンタッチを使うとき

室内では、いろいろな光源の下（外光、蛍光灯、ロウソクの光など）にいる被写体を写します。光によって色温度が違うので、同じ被写体を撮っても、写す位置によって違う色合いで写ってしまいます。それを自然に写したいときにお使いください。

ワンタッチで白バランスを合わせると

電源（バッテリー、ACアダプター）、ボタン電池をはずしても、設定した白バランスを記憶しています。

色紙で白バランスを合わせる

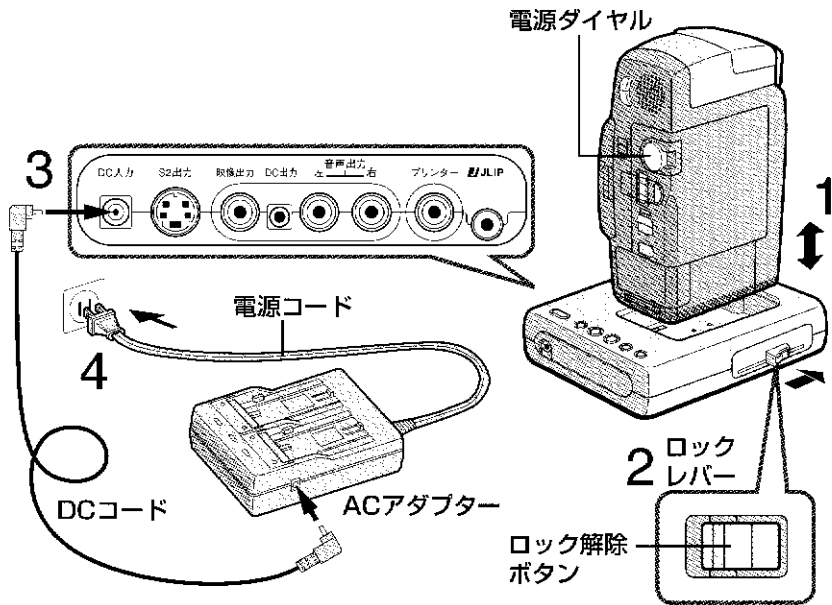
ワンタッチの手順2で白い紙のかわりに色紙を置くと、色紙の色を基準に白バランスを合わせるため、少し変わった色合いで撮影を楽しめます。

例えば、

赤い紙で合わせた場合	→ 青緑がかった色、
青い紙で合わせた場合	→ オレンジ色、
黄色い紙で合わせた場合	→ 青紫がかった色に写ります。

ステーションに 取り付ける

ステーション（別売キット）に接続すると、再生画面にいろいろな変化をつけて楽しむことができます。



1 ムービーをステーションの取り付け部に置く

- 電源ダイヤルを‘切’にしてから置いてください。

2 ムービーを押さえながらロックレバーを矢印方向にスライドさせる

- ムービーとステーションが接続され、固定されます。
- ムービーを取りはずすときは、ロック解除ボタンを押しながら、取り付けたとときと逆の方向へロックレバーをスライドさせてください。取り外すことができます。

3 ステーションとACアダプターを接続する

- ステーションはムービー内のバッテリーでは動きません。必ずステーションにACアダプターを接続してください。

4 ACアダプターの電源コードをコンセントにつなぐ

5 電源ダイヤルを‘再生’にする

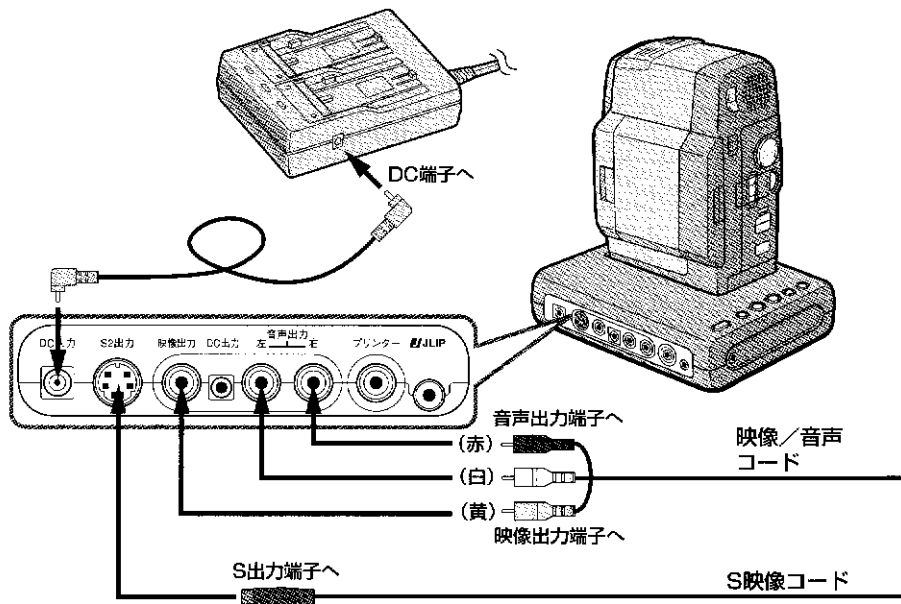


いろいろな再生

ステーションにムービーを取り付け、リモコンを使うと、通常再生のほか、約1/10倍速のスロー再生（115ページ）、再生ズーム（124ページ）／演出効果（126ページ）で再生画面を変化させて楽しむことができます。

テレビ画面で 再生する

撮影した映像をムービーの液晶画面ではなく、ご家庭のテレビで再生して楽しむことができます。
ご家庭のテレビやビデオデッキの説明書もお読みください。



1 左図のようにムービーとステーションをつなぎ、ビデオデッキあるいはテレビにつなぐ

- デッキまたはテレビの音声入力端子がひとつしかないときは市販の変換プラグをつないでください。

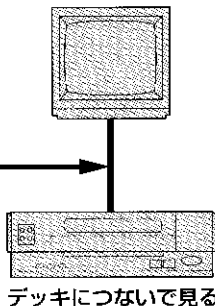
次ページへつづく

AVテレビにつないで見る

音声入力端子へ
— (赤)
— (白)
— (黄)
映像入力端子へ

S入力端子がある
ときにつなぎます。

S入力端子へ



テレビと接続したとき

- テレビが「ピー」「ウーン」というノイズ音を出すときは、マイクをテレビから離すか、テレビの音量をさげてください。
- 再生時の表示をテレビ画面から消したいとき(出したいとき)は、158ページをお読みください。

映像／音声入力端子のないテレビで見るには別売のRFユニットRF-V5が必要です。音声はモノラルになります。くわしくはRF-V5の取扱説明書をご覧ください。

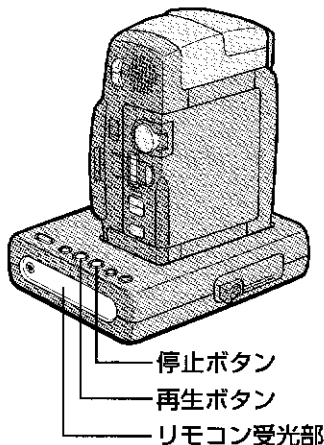
ステーションの電源は

ACアダプターをお使いください。ムービー内のバッテリーではステーションは動作しません。

ステーションを使わずにテレビで再生する
直接ムービーとテレビをつないで、再生することができます。(59ページ)

応用

ビデオデッキにつないで見る



- 1 ムービーとステーションをつなぎ
ビデオデッキにつなぐ(112ページ)
- 2 ムービーの電源ダイヤルを‘再生’
にし、ビデオデッキの電源を入れる
- 3 テレビを、ビデオを見るチャンネルにする
- 4 ビデオデッキの入力を外部入力
にする
●ご家庭のビデオデッキの取扱説明書を
ご覧ください。
- 5 再生ボタンを押す
●テレビ画面で見ることができます。

テレビにつないで見る

- 1 ムービーとステーションをつなぎ
テレビにつなぐ(112ページ)
- 2 ムービーの電源ダイヤルを‘再生’
にし、テレビの電源を入れる
- 3 テレビの入力をムービーからつ
ないだ端子に切りかえる
(例：ビデオ1、ビデオ2、ムービーなど)
- 4 再生ボタンを押す
●テレビ画面で見ることができます。

再生をやめるときは…

停止ボタンを押す



長時間使用しないときは、電源ダイヤルを‘切’
にしてください。



スロー再生をする

テープ再生中にスロー再生をしたいところで、一時
停止ボタンを押し、リモコンのスローボタン（正転
または逆転）を、ステーションのリモコン受光部に
むけて押してください。約10～20秒間スロー再
生（約1/10倍速）したあと、通常再生に戻ります。
スロー再生を途中でやめるには再生ボタンを押して
ください。

- スロー再生は、デジタル処理によっておこなってい
るため、多少モザイクのかかったような映像になる
ことがあります。
- スローボタンを押したあと、数秒間静止画のままと
なり、その後数秒間、青い画面（ブルーバック）に
なることがあります。
- スロー再生画のスタート位置が、最初に一時停止し
たところから多少ずれることがあります。

応用

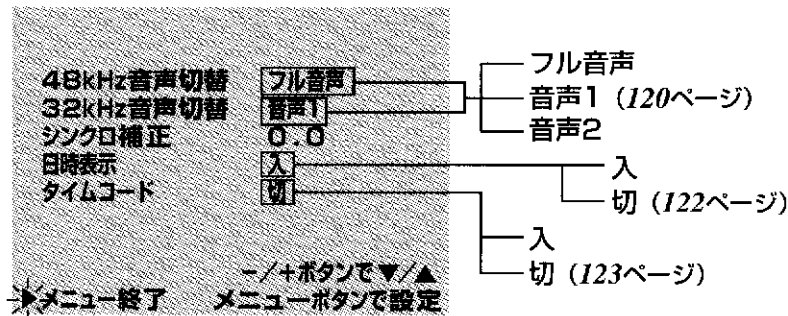
再生メニューの使いかた

再生メニューを使っていろいろな機能の設定をすることができます。

再生メニューの使い方

- 主に再生時に使う機能を設定するためのメニューです。

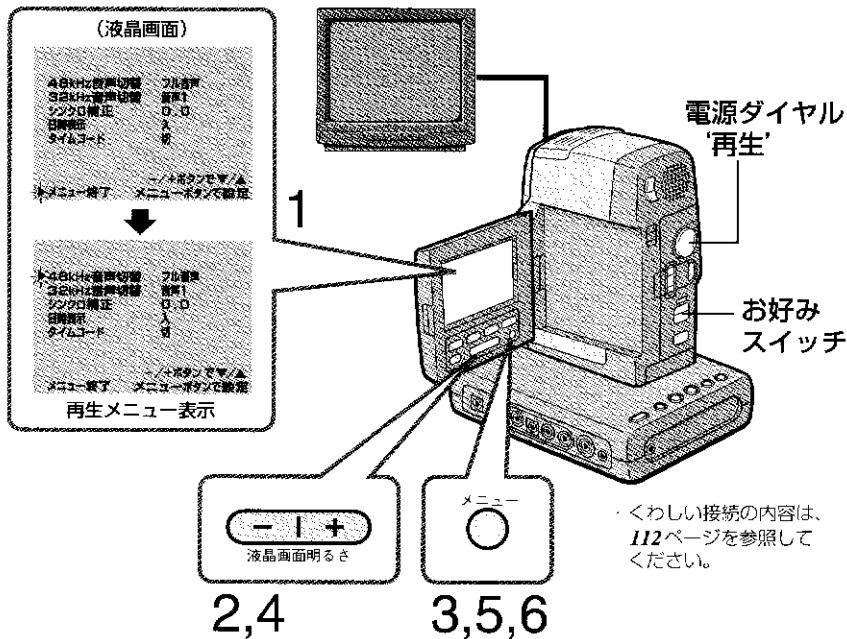
(液晶画面)



再生メニューを使って以下の機能を設定することができます。
設定したいときは下表の「参照ページ」欄のページをご覧ください。

機能名	こんなことができます	参照ページ
48kHz音声切替	48kHzの音声で撮影したテープを再生するときに、出力される音声を、フル音声、音声1、音声2の中からえらぶことができます。	120
32kHz音声切替	32kHzの音声で撮影したテープを再生するときに、出力される音声を、フル音声、音声1、音声2の中からえらぶことができます。	
シンクロ補正	精度の高い自動編集をするために、ビデオデッキの録画スタート/ストップのタイミングを調節することができます。	148
日時表示	再生画面の、日時表示の入/切ができます。	122
タイムコード	タイムコード表示の入/切ができます。	123

再生メニューの使い方 (つづき)



再生メニュー表示で設定する機能のうち、48kHz音声切替・32kHz音声切替・日時表示・タイムコードは、この手順でおこないます。

準備

- ①液晶画面を開く
- ②電源ダイヤルを「再生」にする
- ③お好みスイッチを「マニュアル」にする

1 メニューボタンを押す

- 液晶画面と、接続したテレビに再生メニュー表示が出ます。

2 ボタンを押す

- ▶を「48kHz音声切替・32kHz音声切替・日時表示・タイムコード」のうちの、お好みの項目に合わせてください。＋側を押すと上に、－側を押すと下に▶が移ります。

3 メニューボタンを押す

- ▶が点滅から点灯に変わり、変更したい項目が決定します。

4 ボタンを押す

- 選んだ項目の右側の表示が切りかわります。お好みの項目をえらんでください。

5 メニューボタンを押す

- ▶が「メニュー終了」に移ります。
- 他に变えたい項目があるときは、手順2～5を繰り返します。

6 もう一度、メニューボタンを押す

- 設定が終了し、再生メニュー表示が消えます。

応用

再生音声を切りかえる

再生時に、48kHzで撮ったテープか、32kHzで撮ったテープか、自動判別して音声を出します。(105ページ)

出荷時の設定は、48kHz音声切替では「フル音声」、32kHz音声切替では「音声1」になっています。

撮影音声	表示	出力音声
キロヘルツ 48kHz	フル音声	ステレオ音声で出力されます。
	音声1	左 (L) チャンネルの音声は左右から出力されます。
	音声2	右 (R) チャンネルの音声は左右から出力されます。
キロヘルツ 32kHz	フル音声	ステレオ音声で出力されます。
	音声1	
	音声2	

出力される音声の設定をかえたい場合は、『再生メニューの使いかた119ページ』の手順2でえらんでください。

48kHzで撮ったテープ → 「48kHz音声切替」をえらぶ

32kHzで撮ったテープ → 「32kHz音声切替」をえらぶ

アフレコ編集したときの音声については「アフレコ編集130ページ」をご覧ください。



リモコンを使う

リモコンの音声切替ボタンを使えば、再生メニューで設定しなくても、再生音声を切りかえることができます。音声切替ボタンを押すごとに



と切りかわります。リモコンは、ステーションのリモコン受光部に向けて、操作してください。

テープを再生するとき

再生中に、48kHzで撮ったテープか32kHzで撮ったテープか、自動判別します。早送り／巻戻し再生中は自動判別することはできません。

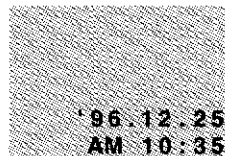
再生画面に日時を表示する

日時が合わせてあれば、撮影時に自動的に日時を記録します。映像とは別の部分に記録されているため（175ページ）、再生するときに日時を消したり出したりすることができます。出荷時の設定は「入」になっています。

入	再生画面に日時を表示することができます。
切	再生画面の日時表示を消すことができます。

日時表示の入／切をしたい場合は、『再生メニューの使いかた119ページ』の手順2で「日時表示」をえらんでください。

液晶画面

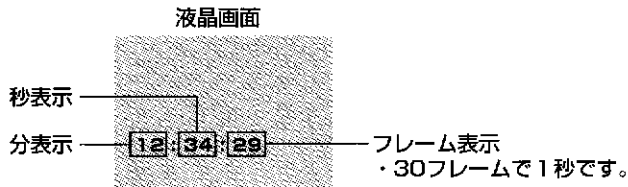


タイムコードを表示する

撮影中、テープには自動的にタイムコードが記録されます。(60ページ) 再生時に映像がテープのどの位置に記録されているのか知りたいときは、タイムコードを表示してください。編集時の目安などとしてお使いになれます。出荷時の設定は「切」になっています。

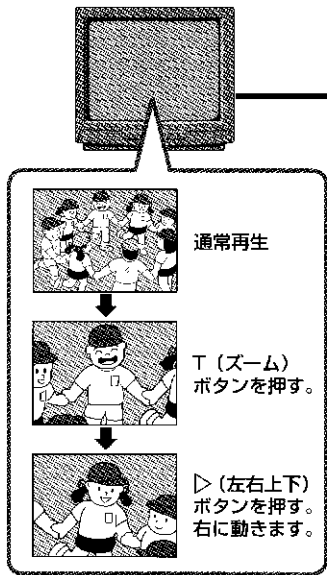
入	再生画面にテープのタイムコードを表示します。
切	再生画面のタイムコード表示が消えます。

タイムコード表示の入／切をしたい場合は、『再生メニューの使いかた119ページ』の手順2で「タイムコード」をえらんでください。

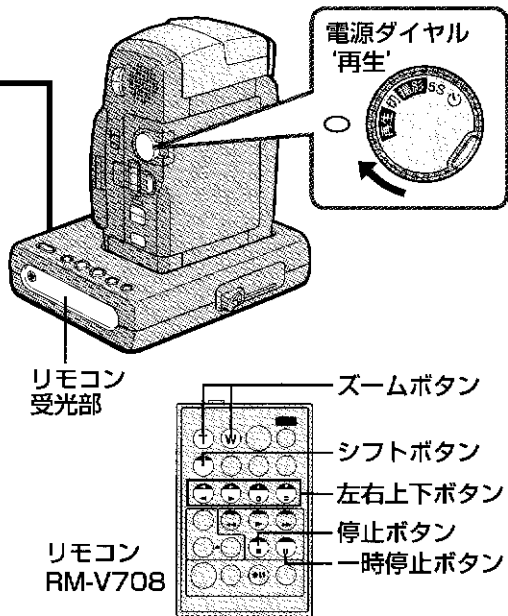


再生画面のズーム／画面の移動

再生画のお好みの場所を、記録映像の10倍まで大きくして見ることができます。



・くわしい接続の内容は、112ページを参照してください。



1 テープを再生する

- ## 2 リモコンのズームボタンを押す
- リモコンのボタンは、ステーションのリモコン受光部にむけて押してください。
 - Tボタンを押すと拡大します。拡大した映像を縮小するときは、Wボタンを押してください。
 - 記録映像の約10倍まで大きくすることができます。
 - 映像を電氣的に処理（デジタルズーム）しているため、映像は劣下します。

- ## 3 リモコンのシフトボタンを押したまま左右上下ボタンのいずれかを押す
- 拡大した映像から、見たい部分を探することができます。

再生ズームをやめるには…

通常再生の大きさに戻るまで、Wボタンを押す
または、停止ボタンを押し、再生ボタンを押す



他の機能と同時に使う

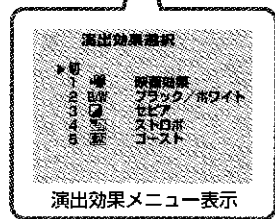
- スロー再生中（115ページ）に再生ズームを使うことができます。
- 見たい場面を一時停止して、ズームアップすることができます。

再生ズームをしているときに

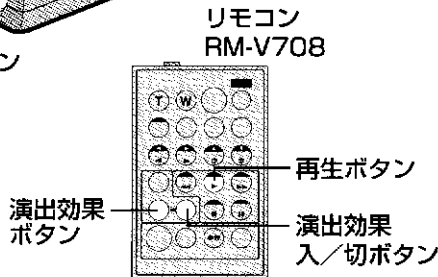
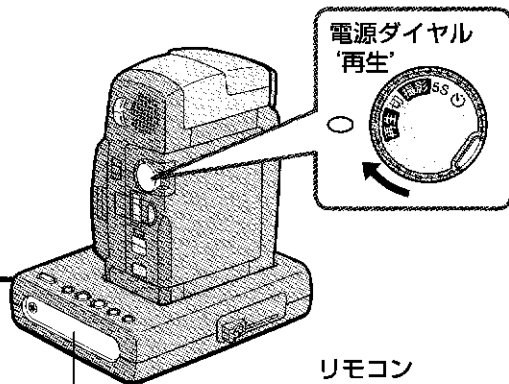
「再生画面の効果演出（126ページ）」のゴーストを選択すると、再生画面はゴーストで演出されます。再生ズームは中止し、通常に戻ります。

再生画面の 演出効果

再生映像に変化をつけたいときにお使いください。5つの効果からお好みの効果を選んでお使いになることができます。



くわしい接続の内容は、112ページを参照してください。



映画効果・ブラック／ホワイト・セピア・ストロボ・ゴーストの5つの効果を使うことができます。効果をつけた映像は、撮影時の演出効果と同じ働きをします。くわしくは90ページをお読みください。

演出効果をやめるには…

リモコンの演出効果入／切ボタンを押す

●演出効果は繰り返し、入／切することができます。

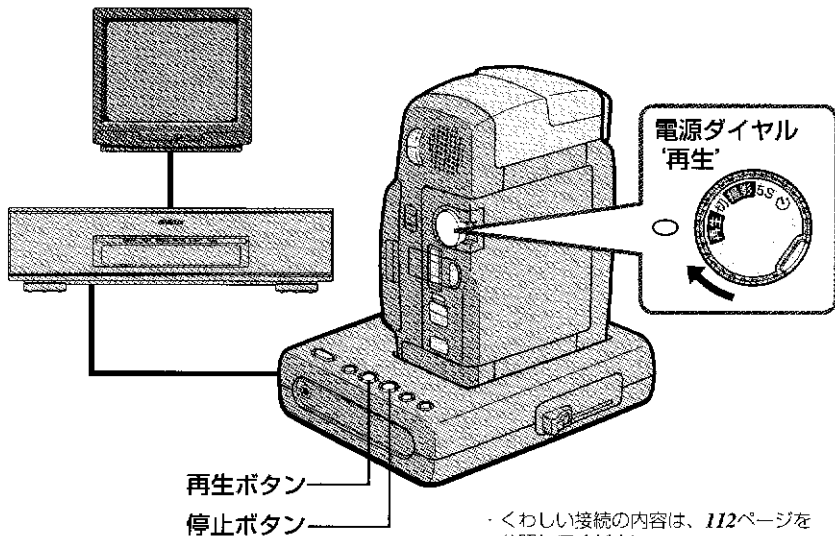
1 テープを再生する

- # 2
- リモコンの演出効果ボタンを押す
- リモコンのボタンは、ステーションのリモコン受光部にむけて押してください。
 - テレビ画面に演出効果メニューが出ます。

- # 3
- 演出効果ボタンで▶をお好みの効果に合わせる
- 押すごとに▶が移ります。
 - お好みの効果に▶を合わせると2秒後に演出効果メニューが消え、えらんだ効果の設定になります。再生映像をえらんだ効果で演出します。

ダビングする

ムービーで撮ったテープを、ビデオテープにダビングすることが出来ます。お使いになるビデオデッキの取扱説明書もお読みください。



1 ムービー、ステーション、ビデオデッキを接続し、電源を入れる

- 再生した映像と音声テレビから出るように、112～114ページと同様に設定してください。

2 テープを再生する

3 ダビングしたいところでビデオデッキの録画をスタートさせる

4 ダビング中カットしたいところはデッキを録画一時停止にする

ダビングを終えるには…

停止ボタンを押す



再生画像に変化をつけて

手順2で『再生画面のズーム／画面の移動（124ページ）』や『再生画面の演出効果（126ページ）』を使って変化をつけ、ダビングすることができます。

テレビ画面の表示を消す

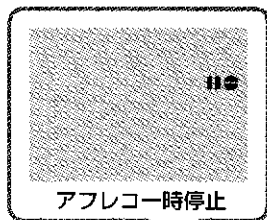
接続したテレビ画面に表示が出ているときは、ダビングを始める前に消してください。表示させたままダビングすると、表示も記録されます。消したり表示させたりしたいときは以下のようにおこなってください。

- 「再生音声表示（32kHz／音声1など）」はリモコンの画面表示ボタンを押します。
- 「日時表示／タイムコード表示」は再生メニュー（122、123ページ）で設定します。
- 表示をすべて消したいときはムービー本体の表示／液晶画面ボタンを押します。

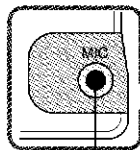
「画面表示を消す／表示する（158ページ）」に一覧表があります。

応用

アフレコ編集



アフレコ時停止



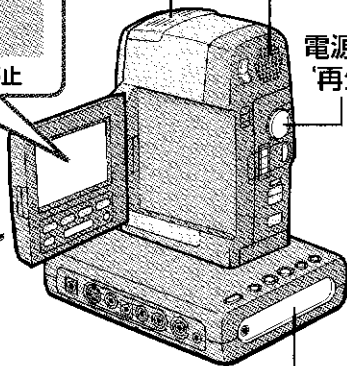
マイク入力端子

- 別売のマイクをつないで使用することができます。
その場合、内蔵のステレオマイクは使用できなくなります。

ステレオマイク

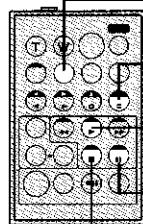
スピーカー

電源ダイヤル
'再生'



リモコン
受光部

リモコン
RM-V708



画面表示
ボタン

アフレコ
ボタン

再生
ボタン

一時停止
ボタン

停止ボタン

撮影済みテープに音声を追加することができません。48センチで撮影したテープはアフレコ編集することはできません。(105ページ)

1 テープを再生し、編集を始める位置で一時停止ボタンを押す

- 静止画になります。

2 リモコンのアフレコボタンを押したまま一時停止ボタンを押す

- 液晶画面に■●表示が出ます。

3 再生ボタンを押し、マイクに向かってナレーションなどを記録する

- 編集が始まります。
- 一時やめるには一時停止ボタンを押します。
- 32kHzで撮影したテープには、右（R）と左（L）に各2つのチャンネルがあるため、撮影時の音声とは別に、アフレコした音声は右（R）と左（L）両チャンネルに記録されます。

アフレコ編集をやめるときは…

停止ボタンを押す



アフレコ編集したテープを再生するとき
音声はリモコンの音声切替ボタンを押して聞きたいものを選んでください。

- 主音声とはアフレコ編集する前の音声のことです。
- アフレコ音声とはアフレコ編集した音声のことです。

撮影時の音声	表示	出力音声
32kHz	フル音声	主音声とアフレコ音声合成され、ステレオで出力されます。
	音声1	主音声はステレオで出力されます。
	音声2	アフレコ音声はステレオで出力されます。

アフレコ編集がきれいにできない

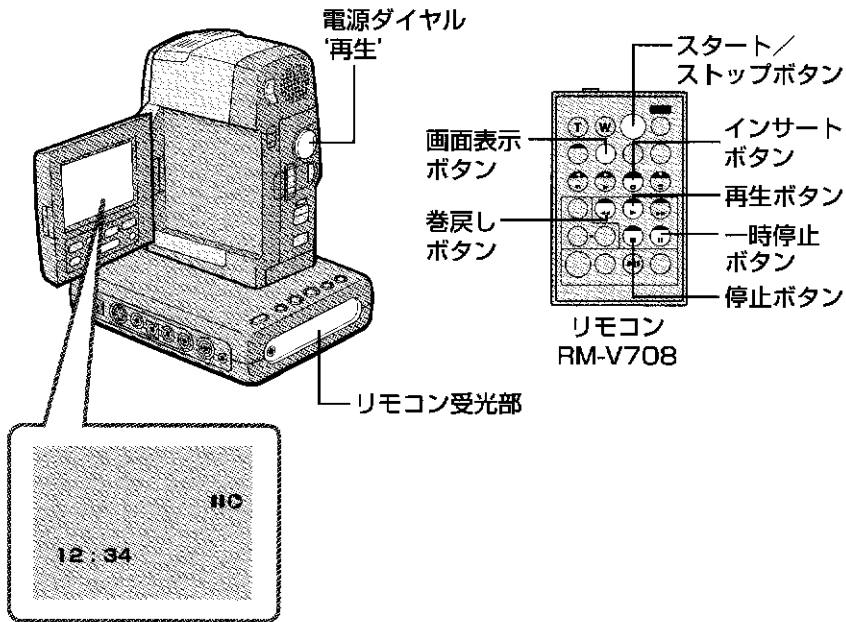
テープの無記録部や、48kHz/32kHzの切りかえ部分で、アフレコをすると、音声がみだれることがあります。ご注意ください。

アフレコ編集時の音声について

スピーカー（181ページ）から音声はでません。ヘッドホン端子（180ページ）にヘッドホン（別売）をつないで使えば、アフレコ編集時の音声を聞くことができます。

インサート 編集

撮影済みテープに、タイトルなどの映像をムービーで撮って入れることができます。



1 テープを再生し、編集を終える位置で一時停止ボタンを押す

- タイムコードを確認してください。
(123ページ)

2 編集を始める位置までテープを巻き戻し一時停止ボタンを押す

- 静止画になります。

3 リモコンのインサートボタンを押したまま一時停止ボタンを押す

- 液晶画面に⏮⏪表示と、タイムコード(分：秒)が出ます。

4 スタート/ストップボタンを押し、インサートしたい映像を撮る

- 編集が始まります。
- 一時やめるにはスタート/ストップボタンを押します。
- 手順1で確認したタイムコードの位置でインサートを終了してください。

インサート編集をやめるには…

スタート/ストップボタンを押し、停止ボタンを押す



インサートすると

テープの「映像エリア」と「サブコードエリア」を書き換えるため、映像と日時などが新しくなります。
(175ページ)

テープの無記録部分にはインサート編集をしない

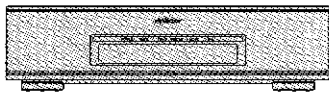
テープの無記録部でインサートをすると、映像や、音声のみだれることがあります。必ず、テープの録画済みの部分で、おこなってください。

メーカー設定 をする

自動編集をするときや、リモコン（別売キット）でビデオデッキの操作をするときは、あらかじめリモコンにビデオデッキのメーカー設定をしてください。

1 リモコンをビデオデッキに向け設定ボタンを押しつづける

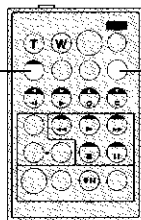
●ビデオデッキの電源は切って始めてください。



リモコン
RM-V708

シフトボタン

リモコンでビデオデッキ操作もできます。（再生／早送り／巻戻し／一時停止／停止ボタン）メーカー設定ができればこのボタンを押しながらデッキに向けて操作したいボタンを押します。



設定 ボタン

2 設定ボタンを押したまま、希望メーカーのメーカー設定ボタンを①→②の順に押す

- ビデオデッキが反応する組み合わせをさがします。
- 信号の種類は複数あります。Aのメーカー設定ボタン①、②を押しても、ビデオデッキが動かない場合は、すべてのボタンから指を離し、あらためて設定ボタンを押しながら、B→C→D→Eの順に①と②のメーカー設定ボタンを押してってください。
- ビデオデッキの電源が入ればメーカー設定完了です。

3 設定ボタンを離します

- ビデオデッキにリモコンを向け、シフトボタンを押しながら、操作したいボタン(再生/早送り/巻戻し/一時停止/停止ボタン)を押し、動作確認をしてください。
- リモコンのボタン電池が消耗したり、電池交換したときは、メーカー設定をし直してください。

メーカー設定表

メーカー名	メーカー設定ボタン		メーカー名	メーカー設定ボタン	
	①	②		①	②
ビクター	A	ビデオ準備 巻戻し	ソニー	D	シフト 巻戻し
	B	ビデオ準備 停止		A	停止 ビデオ準備
	C	ビデオ準備 シフト		B	停止 巻戻し
アカイ	A	停止 早送り	NEC	A	シフト ひかり/ビデオ
	B	停止 再生		B	シフト 修正
	C	ひかり/ビデオ ひかり/ビデオ		A	停止 停止
サンヨー	A	シフト 停止	日立	B	停止 シフト
	B	シフト 一時停止		A	ひかり/ビデオ シフト
	C	シフト 入/切※		A	巻戻し シフト
シャープ	D	ひかり/ビデオ ビデオ準備	松下	B	巻戻し ひかり/ビデオ
	A	巻戻し 一時停止		C	巻戻し 巻戻し
	B	巻戻し 入/切※		D	ビデオ準備 再生
ソニー	A	停止 一時停止	三菱	E	巻戻し 修正
	B	停止 入/切※		A	停止 ひかり/ビデオ
	C	シフト ビデオ準備		B	停止 修正

※プログラム編集枠内の入/切ボタンです。

- 一部、設定できないビデオデッキや、特定のボタンだけ操作できないビデオデッキもあります。ご了承ください。

場面を決めて編集 する(自動編集)

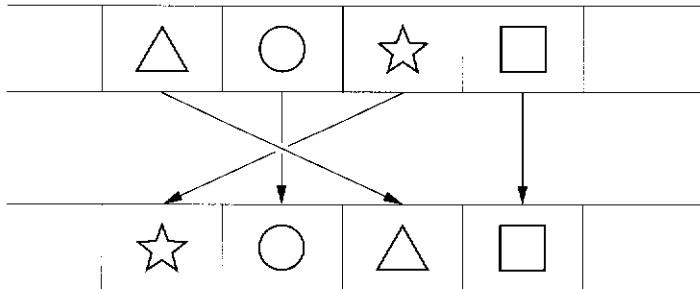
リモコンを使って、好きな場面に映像効果をつけてダビングし、オリジナルテープを作ることができます。

自動編集とは

撮影済みのテープから、お好みの場面だけを集めて編集することができます。8個までのお好みの場面の、始まりと終わりの位置をタイムコード(60ページ)で指定して、自動的に編集する機能です。

●設定のしかたは、138ページをご覧ください。

撮影済みテープ
(ムービー)



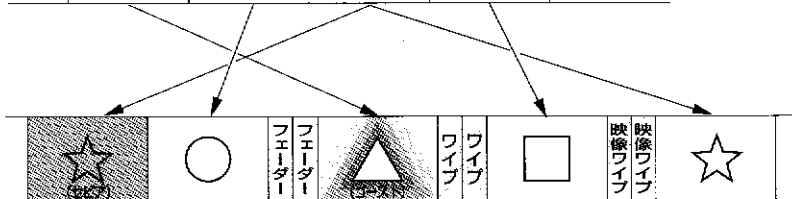
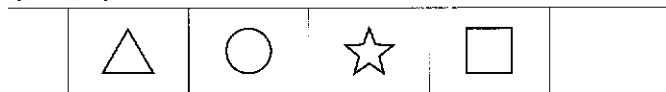
編集済みテープ
(ビデオデッキ)

効果を入れた自動編集

撮影済みの映像に、撮影時と同様に場面切替や演出効果を入れて自動編集することができます。場面と場面のつなぎ目にフェーダーやワイプ（場面切替76ページ）を入れたり、場面ごとの映像にセピアやゴースト（演出効果90ページ）を使って変化をつけたりすることができます。

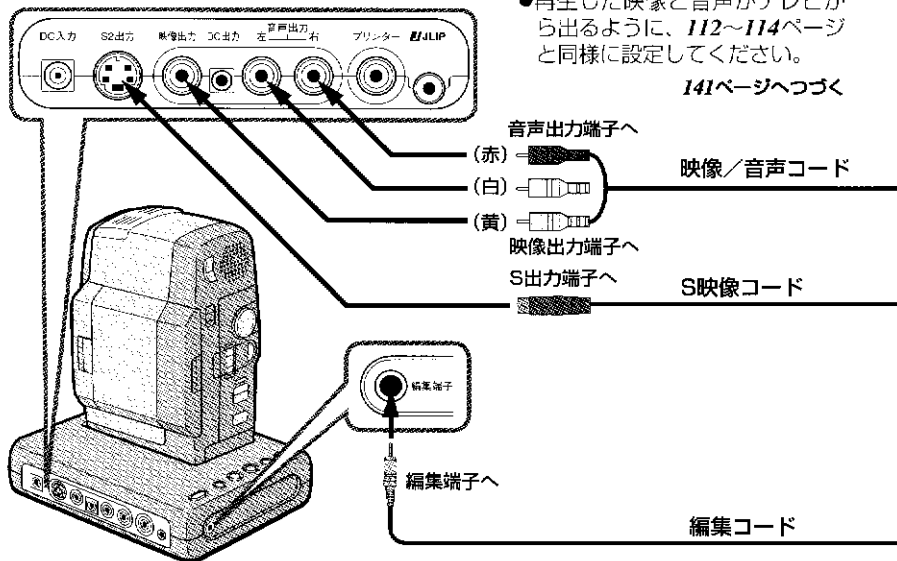
●設定のしかたは、138ページをご覧ください。

撮影済みテープ
(ムービー)



編集済みテープ
(ビデオデッキ)

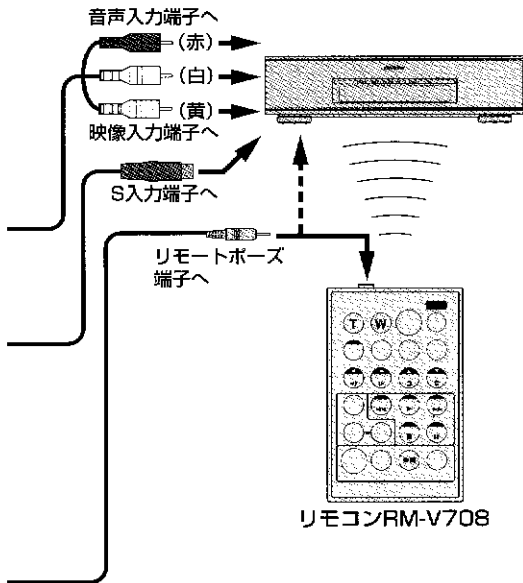
接続をする



1 ムービーとステーションとビデオデッキをつなぐ

- 再生した映像と音声がテレビから出るように、112～114ページと同様に設定してください。

141ページへつづく



接続するとき

- ビクターのリモートボーズ端子付ビデオデッキをお使いのときは、編集コードでステーションの編集端子とビデオデッキのリモートボーズ端子を接続します。
- リモートボーズ端子がない場合や、他社のビデオデッキをお使いのときは、編集コードで、ステーションの編集端子とリモコンのリモートボーズ端子を接続します。
- S映像コードは、ビデオデッキにS入力端子があるときに接続します。
- ビデオデッキの音声入力端子が一つのときは、市販の変換プラグで接続してください。

リモコンでのビデオデッキの操作は

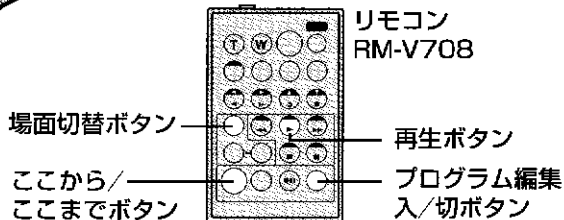
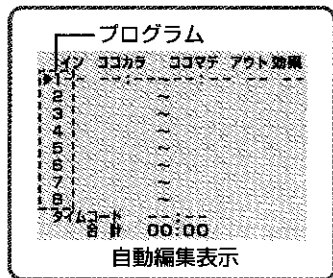
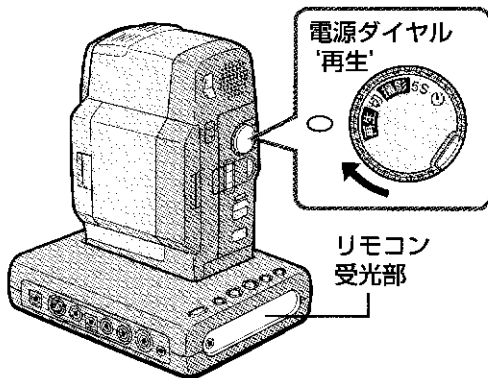
メーカー設定 (134ページ) をし、リモコンをビデオデッキに向け、シフトボタンを押しながら操作したいボタンを押します。

応用

(自動編集つづき)

場面を決めて編集する

ダビングするところをえらぶ

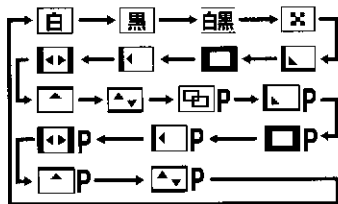


2 テープを再生し、リモコンのプログラム編集入/切ボタンを押す

- リモコンはステーションのリモコン受光部に向けて操作してください。
- テレビ画面に、自動編集表示が出ます。

3 場面のつながぎに変化をつけたいときは、リモコンの場面切替ボタンを押す

- 押すごとに場面切替のマークは以下のように切りかわります。お好みの効果をえらんでください。ただし、プログラム1番の編集開始点で、映像ワイプを使うことはできません。



- それぞれの効果については、76ページをご覧ください。

次ページへつづく

テレビ画面の表示は消してから編集する

液晶画面の表示は、テレビ画面に出ている場合ダビングテープに記録されます。記録したくない表示が出ているときは、オンスクリーン(157ページ)を‘切’にしてテレビ画面の表示を消してから編集してください。表示を一部だけ消すこともできます。(158ページ)。

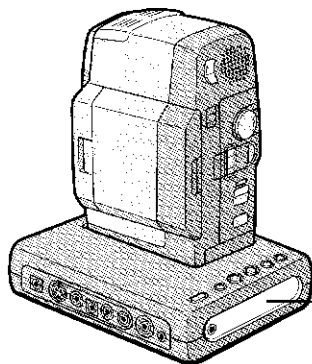
ただし自動編集表示は編集スタート時に消え、ダビングテープに記録されません。

ねらった場面が編集できない

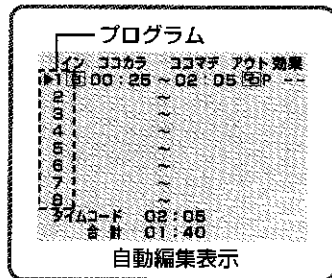
同じタイムコード(60ページ)が2つ以上存在するテープで自動編集をすると設定した編集開始点がどこのタイムコードを指定しているのかわからなくなり、誤動作することがあります。

場面を決めて編集する
(自動編集つづき)

ダビングするところをえらぶ(つづき)

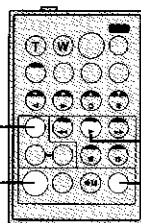


リモコン
受光部



場面切替ボタン

ここから/
ここまでボタン



リモコン
RM-V708

再生ボタン

プログラム編集
入/切ボタン

4 編集したい場面の初めで、ここから/ここまでボタンを押す

- 液晶画面や、接続したテレビに、編集開始点のタイムコードが出ます。

5 編集したい場面の終わりで、ここから/ここまでボタンを押す

- 液晶画面や、接続したテレビに、編集終了点のタイムコードがでます。

6 場面のつなぎに変化をつけたいときは、リモコンの場面切替ボタンを押す

- 押すごとに切りかわります。お好みの効果を選んでください。ただし、最後のプログラムの編集終了点で、映像ワイプを使うことはできません。
- 編集終了点の場面切替を決めると、自動的に次の編集開始点が編集終了点と同じ場面切替になります。
- 編集終了点でフェーダー／ワイプを使うと、編集終了点からフェードアウト／ワイプアウトをおこなうため、フェーダー／ワイプの時間が、合計に加算されます。

次ページへつづく



ダビングするところをえらぶとき

- 編集終了点のタイムコードは、編集開始点より大きい値でのみ設定できます。
- 編集終了点と次の編集開始点までの早送り時間がビデオデッキの一時停止保持可能な時間（当社製ビデオデッキでは約5分です）を超える場合は編集できません。
- 入/切ボタンで切にすると登録した内容が消えます。
- 編集開始点や終了点の前後に、無記録部分が有ると、ブルーバック(青い画面)を記録してしまうことがあります。
- 編集開始点、終了点のタイムコードには、1秒以下の数値(フレーム)を表示しないため、各プログラムのタイムコードの合計と合計時間が合わないことがあります。



場面を早く探すには

早送り／巻戻しボタンで探し、再生ボタンか一時停止ボタンで止めます。

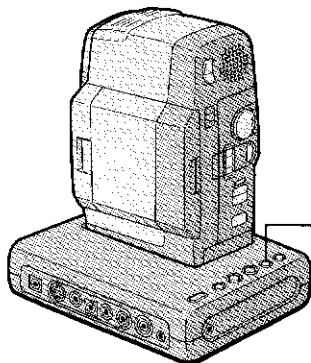
自動編集するときに

自動編集で場面切替や演出効果を使わない場合は、手順1、2のあと手順4、5を繰り返しておこなってください。
プログラムは8つまで登録できます。登録が終わったら、手順9～11をおこなってください。

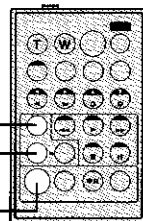
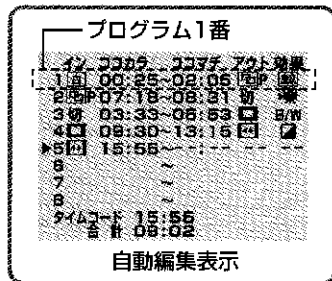
(自動編集つづき)

場面を決めて編集する

ダビングするところをえらぶ(つづき)



巻戻しボタン



リモコン
RM-V708

場面切替ボタン

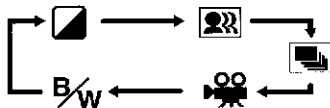
演出効果ボタン

ここから/

ここまでボタン

7 映像に変化をつけたいときは、リモコンの演出効果ボタンを押す

- 押すごとに演出効果のマークは以下のように切りかわります。使える効果は、セピア、ストロボ、ブラック／ホワイト、映画効果、ゴーストの5つです。好みの効果を選んでください。



- それぞれの効果については、90ページをご覧ください。

8 手順4～7を繰り返して登録する

- プログラムは8つまで登録することができます。

9 最初に登録したプログラム1番の場面の付近まで巻戻し、ムービーを一時停止にする

次ページへつづく



登録を修正するには

リモコンの修正ボタンを押すごとに、最後に登録したものから順に消えます。

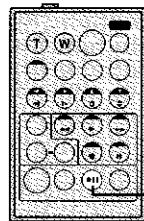
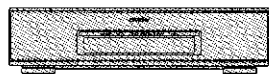
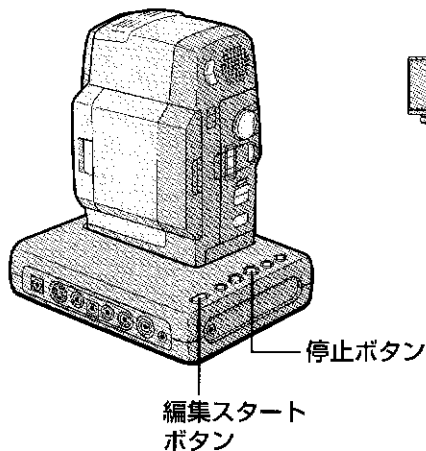
場面切替と演出効果

演出効果のセピア・ブラック／ホワイトを使うと、場面切替のオーバーラップ・白黒フェーダーは使えません。使えない演出効果や場面切替の表示は点滅し、次の編集開始点を入れると、点滅から‘切’になります。

一緒に使って編集したいときは、まずセピア・ブラック／ホワイトを使って撮影し(90ページ)、そのテープをオーバーラップ・白黒フェーダーを使って自動編集してください。

場面を決めて編集する
(自動編集つき)

編集する



リモコン
RM-V708

ビデオ準備
ボタン

10 ビデオ準備ボタンを押す

- リモコンはビデオデッキのリモコン受光部に向けてお使いください。
- ビデオデッキが録画一時停止になることを確認してください。しないときは、ビデオデッキを直接操作して録画一時停止にしてください。

11 ステーションの編集スタートボタンを押す

- プログラム順に編集が始まり、最後まで自動的にダビングします。
- 手順6で場面切替を設定すると、編集終了点と次の編集開始点を場面切替を使って切りかえます。
- 手順7で演出効果を設定すると、編集開始点と編集終了点の間の映像に演出効果で変化をつけることができます。
- ダビングが終わるとムービーは一時停止、ビデオデッキは録画一時停止になります。
- 編集終了点を決めなければテープの最後まで自動的にダビングします。

自動編集が終わったら…

ムービーとビデオデッキを停止させる



ダビングするとき

- ダビング中はリモコンをビデオデッキの受光部に向けて置いてください。さまたげる物があるとダビングできません。
- ダビング中、ムービーを操作するとデッキは録画一時停止になります。

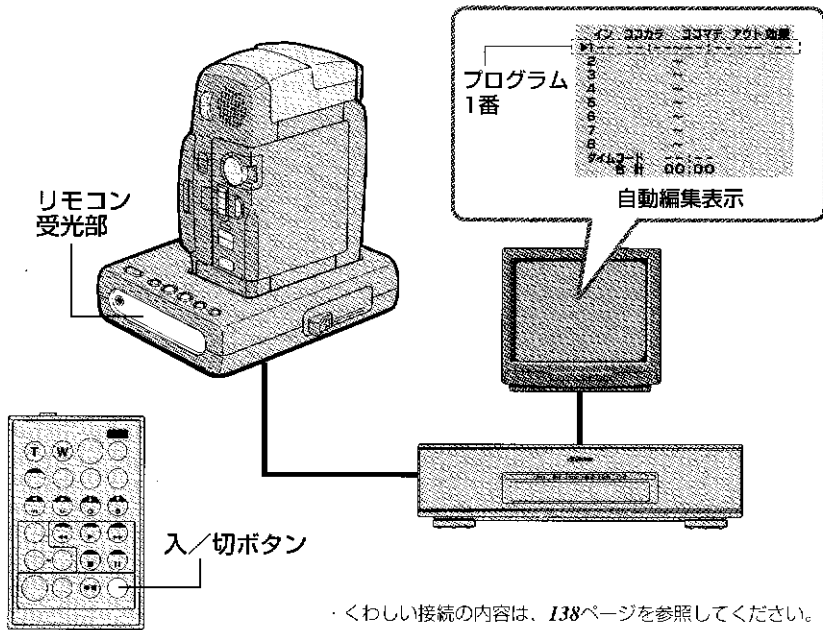


録画タイミングの誤差を補正をする

ビデオデッキには、反応の速いものと遅いものがあります。自動編集時に、編集したい場面をタイムコードで設定してムービーとビデオデッキを同時にスタートさせたつもりでも、それぞれ動き始めるタイミングが違うため、余計なシーンをダビングしたり、必要なシーンをダビングできなかったりします。そんなときは、ムービー側でビデオデッキの録画タイミングの誤差を補正してから、再び自動編集の設定をおこなってください。(148ページ)

より精度の高い 編集をする

ビデオデッキの録画スタート／ストップのタイミングを調節し、精度の高い編集ができます。



・詳しい接続の内容は、138ページを参照してください。

1 ムービーでテープを再生し、リモコンのプログラム編集入/切ボタンを押す

- ステーションの受光部に向けて操作してください。
- テレビ画面に、自動編集表示が出ます。

2 適当な場面を自動編集する (141~143ページ)

- 編集開始点/編集終了点は、ムービーとビデオデッキのズレがわかりやすいように、場面が切りかわっている部分を設定してください。
- 自動編集は、プログラム1番のみおこなってください。

3 ダビングしたテープを巻戻し、再生する

- 希望の編集開始点よりも前の映像が、ダビングされているときは、ビデオデッキの方が先に録画を始めています。
- 希望の編集開始点の映像がダビングされていないときは、ビデオデッキの方が後に録画を始めています。

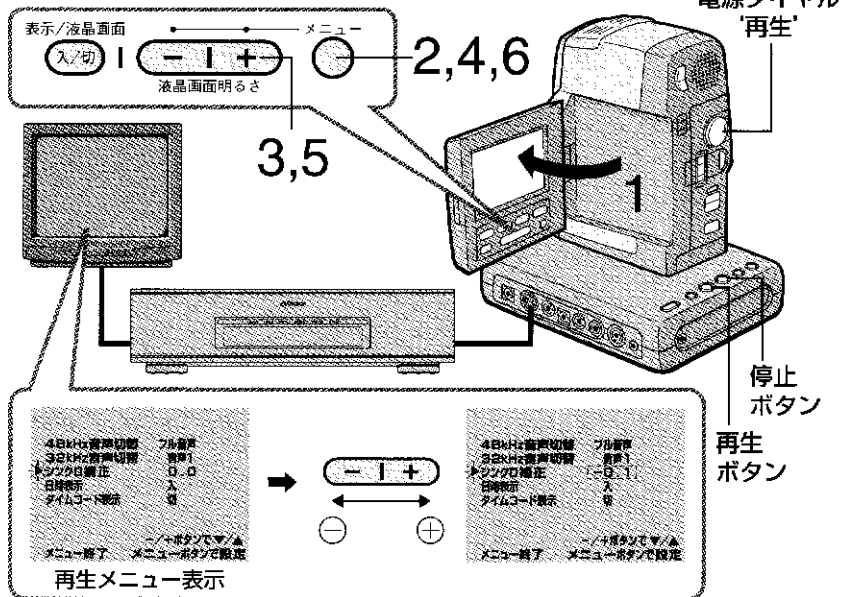


補正しても録画タイミングが合わない

ダビングするビデオデッキによっては、録画スタートのタイミングがズレ、録画タイミングの誤差を補正しきれないことがあります。

より精度の高い編集
をする(つづき)

録画タイミングの誤差を補正する



1 液晶画面を開き、電源ダイヤルを
‘再生’にする

2 メニューボタンを押す
●テレビ画面に再生メニュー表示が出
ます。

3  ボタンを押して▶を‘シ
ンクロ補正’に合わせる
●+側を押すと上に、-側を押すと下に▶
が移ります。

4 メニューボタンを押す
●▶が点滅から点灯にかかります。

5  ボタンを押して補正值
を入力する

- 1.3～+1.3秒まで0.1秒単位で設定
できます。
- +側を押すと数が大きく、-側を押すと
数が小さくなります。
- ムービーよりも、ビデオデッキの方が先
に録画を始めた場合はマイナス（-）で、
後に録画を始めた場合はプラス（+）で
入力してください。
- 編集終了点のシンクロ補正はできません。

6 メニューボタンを2回押す
●設定が終了し、より精度の高い編集がで
きるようになります。

応
用

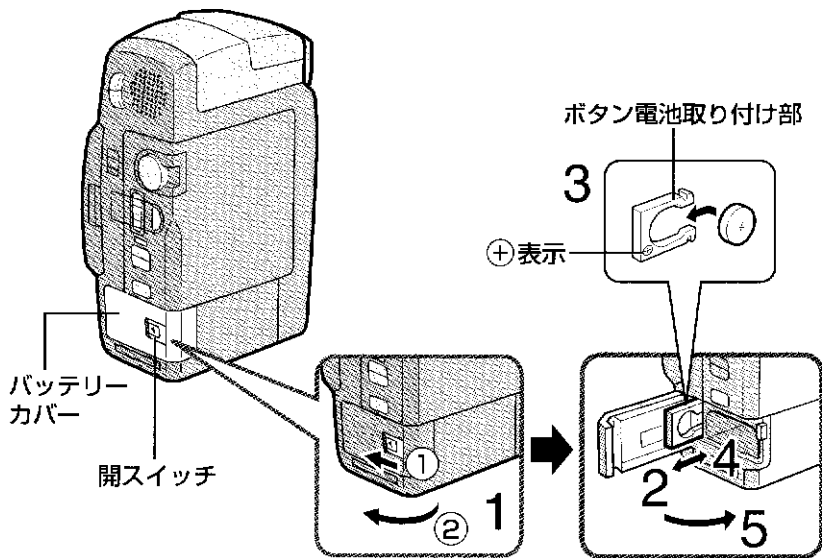


自動編集をする前に

手順5で補正值を入力します。補正值が正しいか、
数回確かめてから、最終的な自動編集をすることを、
おすすめします。

ボタン電池を 入れかえる

ボタン電池は、日付、時刻の記憶を保つために必要です。



ボタン電池は、お買い上げ時にすでに取り付けられています。

ムービーの電源を入れたとき、液晶画面にボタン電池表示  が出たら交換してください。



電池は幼児の手の届かない所においてください。
万一、飲み込んだ場合は直ちに医師と相談してください。

1 ①開スイッチをスライドさせながら
②バッテリーカバーを開く

2 バッテリーカバーのボタン電池取り付け部を矢印方向に引き出す

3 取り付け部の ⊕ 表示のある側を手前にして、古い電池を取りはずし、新しいボタン電池の ⊕ 側が手前に見えるようにはめ込む

4 取り付け部を矢印方向に差し込む

5 バッテリーカバーを閉める



電池を交換する時期は

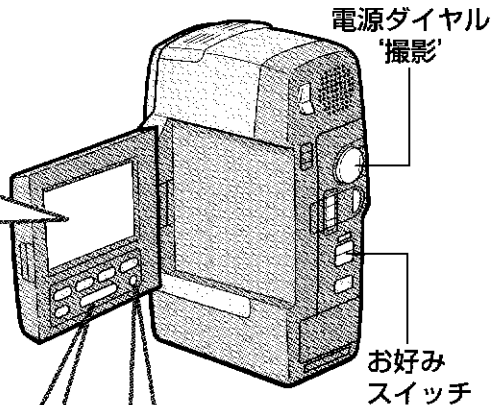
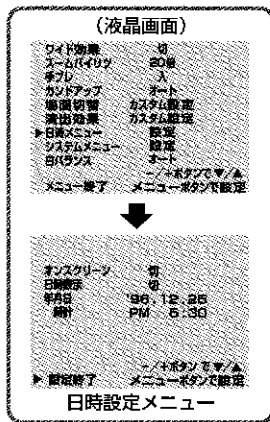
- ボタン電池の寿命は約1年です。お買い上げ時に取り付けられているのはサービス電池ですので、1年もたないことがあります。
- 電池の容量が少なくなると、電源を入れたとき液晶画面に  が表示されます。

電池を交換するときは

- ボタン電池（CR2025）を最寄りの電気店またはカメラ店などでお求めください。
- 交換後は日時を合わせ直してください。（154ページ）
- 『安全上のご注意（18, 19ページ）』のボタン電池についての注意文もよくお読みください。

日時を合わせる

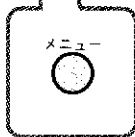
日時は、お買い上げ時にすでに合わせてあります。撮影時に自動的にテープに記録します。



2,4,5



メニュー



1,3,6

撮影時に日時を表示しておかなくても、再生する時に表示させたり消したりすることができます。必ず、日時は合わせておきましょう。

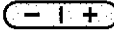
準備

- ①液晶画面を開く
- ②電源ダイヤルを「撮影」にする
- ③お好みスイッチを「マニュアル」にする

1 メニューボタンを押す
●液晶画面に撮影メニュー表示が出ます。

2  ボタンを押し▶を「日時メニュー」に合わせる
●+側を押すと上に、-側を押すと下に▶が移ります。

3 メニューボタンを押す
●液晶画面に日時設定メニューが出ます。

4  ボタンで▶を「年月日」に合わせ、メニューボタンを押す
●年が点滅します。

5  ボタンで年の数字を合わせ、メニューボタンを押し、同じように月→日→時→分の順に合わせる

- +側を押すと数が大きく、-側を押すと数が小さくなります。
- 年は西暦下2ケタの数字を合わせます。
(例) 1996→96
- AM12:00は午前0時、PM12:00は正午を表わします。
- 分を合わせたあと、メニューボタンを押すと、▶が「設定終了」に移ります。

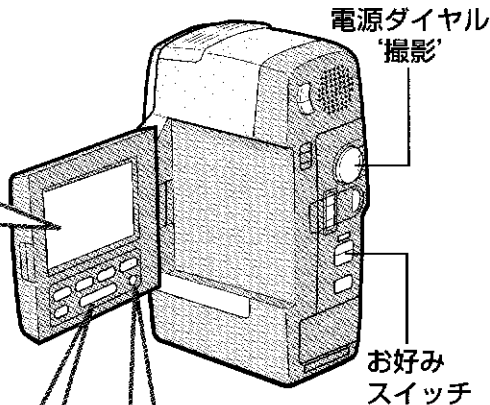
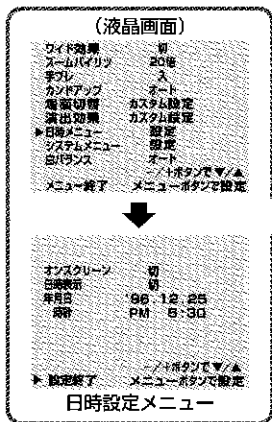
6 メニューボタンを2回押す
●設定が終了します。



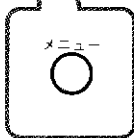
日時設定メニューを表示したままにすると時計表示は変わりませんが、ムービー内の時計は進んでいます。日時設定メニューを消せば、日時表示は現在時刻を表示します。

応用

撮影時に日時を表示 したくないときは



2,4,5



1,3,6

出荷時の設定では、日時を液晶画面に表示して撮影するようになっていきます。表示したくないときは、設定してください。

撮影時に日時を表示しておかなくても、再生する時に表示させたり消したりすることができます。

準備

- ①液晶画面を開く
- ②電源ダイヤルを「撮影」にする
- ③お好みスイッチを「マニュアル」にする

1 メニューボタンを押す
●液晶画面に撮影メニュー表示が出ます。

2  ボタンを押し▶を「日時メニュー」に合わせる
●+側を押すと上に、-側を押すと下に▶が移ります。

3 メニューボタンを押す
●液晶画面に日時設定メニューが出ます。

4  ボタンで▶を「日時表示」に合わせ、メニューボタンを押す
●▶が点滅から点灯に変わります。

5  ボタンで「切」にし、メニューボタンを押す
●▶が「設定終了」に移ります。

6 メニューボタンを2回押す
●設定が終了します。
●日時を表示したいときは、手順5で「日時表示」を「入」にしてください。

応用



液晶画面の表示をテレビに出す(オンスクリーン)
テレビとムービーをつなぎ、撮影一時停止状態で液晶画面の表示をテレビに出すことができます。手順4,5で「オンスクリーン」を「入」にし、メニューボタンを押してください。メニュー画面が消え、液晶画面の表示がテレビに出るようになります。

再生時に日時を表示したくないときは
再生メニュー画面で、日時表示を「切」にしてください。(122ページ)

液晶画面にはいろいろな表示が出ます。撮影時や再生時に映像が見つらいとき、また表示を消してダビングしたいときなど、必要に応じて液晶画面から表示を消すことができます。(184, 186ページに表示の一覧があります。)

●テープ走行表示、警告表示は消すことはできません。

撮影時の表示(184ページ)を消すには

表示	お好みスイッチの位置	
	フルオート	マニュアル
日時表示	それぞれの表示のみを消すことはできません。	撮影メニューで日時メニューを出し、日時表示を「切」にする(156ページ)
いろいろな機能のマーク		各機能の設定を「オート」や「切」にする(184, 185ページの、各機能の参照ページをご覧ください。)
機能のマーク以外のすべての表示	表示/液晶画面ボタンをポンと押す(44ページ)(もう一度押せば表示がでます。また、約2秒間以上押し続けると液晶画面が切れます。画面を出したいときはもう一度約2秒間押してください。)	

再生時の表示(186ページ)を消すには

日時表示	再生メニューで日時表示を「切」にする(116ページ)
タイムコード	再生メニューでタイムコード表示を「切」にする(118ページ)
すべての表示	表示/液晶画面ボタンをポンと押す(撮影時の表示を消すときと同様です。)

表示を出したいときは→消したとき同様、各機能の設定を「入」などにしてください。

こんなときは



困ったとき
にお読みください。

故障かな？と思ったら

このムービーはマイコンを使用しています。

雑音や妨害ノイズにより正常に動作しないことがあります。そんなときはムービーから電源(バッテリー、ACアダプターなど)およびボタン電池を一度はずしてしばらく置き、改めてご使用ください。それでも不具合があり、以下の処置をしても改善されない場合は、お買い上げ販売店またはビクターサービス窓口にご相談ください。

症 状	処 置	ページ
電源が入らない	●電源は正しく接続されていますか。 ●バッテリーは充電されていますか。 ●液晶画面を開いていますか。(撮影時)	32 30 40
撮影ができない	●テープの誤消去防止用のフタがSAVE側になっていませんか。 ■REC側にしてください。 ●電源ダイヤルが‘再生’になっていませんか。 ■電源ダイヤルを‘撮影’にあわせてからスタート/ストップボタンを押してください。 ●カセットカバーが開いていませんか。 ■閉じてください。	35 40
映像が出ない	■電源をもう一度入れ直してください。	32 40
いろいろな機能が使えない	●お好みスイッチが‘フルオート’になっていませんか。 ■‘マニュアル’にしてください。 ●電源ダイヤルが‘5S’になっていませんか。 ■‘5S’以外の位置にしてください。	38 52

症 状	処 置	ページ
自動でピントが合わない	●フォーカスが '手動' になっていませんか。 ■オートフォーカスにしてください。 ●暗い所や明暗差のないものを撮影していませんか。 ●レンズにゴミや水滴などが付いていませんか。	62
テープが入らない	●テープの向きが間違っていないですか。 ●バッテリーの容量が少なくなっていないですか。	34 35
再生、巻戻し、早送りができない	●電源ダイヤルは '再生' になっていますか。 ●カセットカバーが開いていませんか。 ■閉じてください。	56
テープは回っているが再生しない	■表示／液晶画面ボタンを2秒以上押してみてください。 '切' の状態だと映像は出ません。 ■AV端子付きテレビの場合は、テレビのチャンネルを 'ビデオ' にしてください。 (テレビのチャンネルがビデオ専用チャンネル1か2になっていますか。)	44 59 115
電源ダイヤルを '5S' にして撮影したが、5秒たたずに撮影が終わってしまう	●システムメニューの 'シーン' で、'アニメ' を選んでいませんか。 ■ '5S' か '5SD' をえらんでください。	101

症 状	処 置	ページ
撮影メニューの 'カンドアップ' で 'オート' を選んでいるのに、暗いところで明るく撮れない	●撮影時の光源によっては、画面のチラつきをおさえるため、1/30秒シャッターにならないことがあります。	75
記念写真が使えない	■演出効果のセピアやブラック/ホワイト、高感度を使っているときは、記念写真ボタンを押しても、オーバーラップしません。	90
	■撮影メニューで 'ワイド' をえらんでいるときは、記念写真は使えません。	72
記念写真ボタンを押したが白ワクが出ない	■システムメニューの 'キネンシャシン' をワクアリにしてください。	100
	■撮影メニューで 'シネマ' をえらんでいるときは、記念写真ボタンを押しても、白ワクは付きません。	72
デジタルズームが効かない	●撮影メニューでズームバイリツを10倍にしていませんか。20倍か100倍にしてください。	73
	■演出効果のゴーストを使っているときは、デジタルズームは使えません。	90
	■場面切替の映像ワイプやオーバーラップで映像を記憶しているときは、デジタルズームは使えません。	82
	■システムメニューで '5SD' をえらび、電源ダイヤル '5S' で撮影したときに、映像を記憶した状態では、デジタルズームは使えません。	53
	■デジタルズーム中に、記念写真のオーバーラップをすると、デジタルズームは解除されます。	48

症 状	処 置	ページ
演出効果や場面切替を設定しているのに、効果が出ない	●設定ダイヤルが‘フルオート’になっていませんか。 ●電源ダイヤルを‘5 S’にしていますか。 ■電源ダイヤルが‘5 S’のときは、フルオート撮影になります。演出効果や場面切替やその他のマニュアル操作は受け付けません。	38 52
映像ワイプや、オーバーラップができない	●最後の場面を記憶した状態になっていますか。 ■映像ワイプ／オーバーラップを選んでから一度撮影して最後の場面を記憶してください。 ●最後の場面を記憶した状態で、電源ダイヤルを‘切’にしませんでしたか。 ●電源が切れていませんか。(撮影一時停止を5分以上続けると、テープの保護と節電のため自動的に電源が切れます。) ●最後の場面を記憶した状態で演出効果を変更しませんでしたか。 ●撮影メニューの演出効果を変更しませんでしたか。 ■以上のことをおこなうと最後の場面の記憶は解除され、映像ワイプ／オーバーラップはできません。	82 85
場面切替のオーバーラップが使えない	■演出効果のセピアやブラック／ホワイト、高感度を使っているときは、オーバーラップは使えません。 ■撮影メニューで‘ワイド’をえらんでいるときは、オーバーラップは使えません。	90 72

症 状	処 置	ページ
場面切替の映像ワイプが 使えない	■演出効果の高感度を使っているときは、映像ワイプは使えません。 ■撮影メニューで‘ワイド’や‘シネマ’をえらんでいるときは、映像ワイプは使えません。	91 72
場面切替の白黒フェーダー が使えない	■演出効果のセピアやブラック／ホワイトを使っているときは、白黒フェーダーは使えません。	90
演出効果のゴーストを使 えない	■撮影メニューで‘ワイド’をえらんでいるときは、ゴーストは使えません。 ■映像ワイプやオーバーラップで映像を記憶しているときは、ゴーストはつかえません。 ■撮影中に記念写真ボタンを押したときのオーバーラップ中は、ゴーストは使えません。 ■白黒フェーダー、白フェーダー、黒フェーダーのフェードイン／フェードアウト中は、ゴーストは使えません。	72 82 49 78
演出効果の映画効果やス トロボをえらんでも、 コマ落とし効果が出ない	■映像ワイプやオーバーラップで映像を記憶しているときは、コマ落とし効果は出ません。 ■撮影中に記念写真ボタンを押したときのオーバーラップ中は、コマ落とし効果は出ません。	82 49
ホワイトバランスが設定 できない	■演出効果のセピアやブラック／ホワイトを使っているときは、ホワイトバランスは設定しても働きません。	90

症 状	処 置	ページ
被写体に強い光が入ると縦に明るい線が出る	●大きなコントラストの違いによる現象で、故障ではありません。	—
映像や音声が乱れる	■テープの同じ位置で、アフレコ編集やインサート編集を繰り返しおこなっていませんか。映像や音声がかかります。	130 132
撮影中、日時が出ない	■‘日時表示’の設定が‘切’になっているときや対面撮影時は日時は出ません。 ■ボタン電池が入っているか、また容量が残っているか確認し、日時を合わせ直してください。	156 153
液晶画面の映像が暗い、または白くなる	■液晶画面の明るさや角度を調節してみてください。 ■寒いところでは液晶画面の特性で暗く見えます。実際の色と多少異なりますが故障ではありません。 ■液晶画面に使用している蛍光管の寿命が近づくと暗くなります。こんなときは、お買い上げ販売店またはお近くのビクターサービス窓口にご相談ください。	44 45
液晶画面の裏側が熱くなる	■液晶画面部分には、画面を明るくするための蛍光管が入っています。そのため、長時間ご使用になると温かくなります。液晶画面を切るか、電源を切ってしばらくすれば冷えます。	44
液晶画面に表示むらが出る	■液晶画面の表面やまわり（液晶画面下のボタンなど）を押すと、画面上に映像むらが発生します。液晶画面の特性上のもので、手を離せば元に戻ります。	—

症 状	処 置	ページ
暗い場所で撮影するとコマ落とし効果が出る	●暗い場所で撮影をすると、自動的に感度が上がりシャッターの速度が遅くなるため、コマ落とし効果が出ます。自然な動きで撮影したいときは、撮影メニューで「カンドアップ」をえらび「AGC」が「切」にしてください。	75
画面がゆれる	●スピーカーの音量が大きいと、画面が揺れることがあります。音量を小さくしてください。	—
レンズや液晶画面が指紋などで汚れてしまった	●付属のクリーニングクロスや清潔なやわらかい布で、あまり力を加えずに汚れをふき取ってください。また、かたい布などでこすらないでください。キズがついたり割れたりすることがあります。	23
液晶画面の表示が点滅する	■機能によっては場面切替、演出効果、手振れ補正を同時に使用できないものがあります。使用できない機能は点滅して知らせます。	76 90 74
液晶画面に小さな光る点や黒い点が出る	■液晶画面は非常に精度の高い技術でつくられており、99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%以下の画素欠けや、常時点灯するものがありますので、あらかじめご了承ください。	—
液晶画面の表示が乱れる	●テープの無記録部分の再生、高速再生、および静止画再生中は、液晶画面の表示が乱れることがあります。故障ではありません。	57

症 状	処 置	ページ
液晶画面に見れないマークが出た	●液晶画面の表示一覧をご覧ください。	184 186
液晶画面にE01など、Eのついた数字が表示された	●拡大故障を防ぐため操作ができなくなります。テープを取り出しバッテリーをはずして数分待ち、表示が消えてからお使いください。表示が消えない場合は、お買い上げ販売店、または最寄りのサービス窓口にご相談ください。	—
液晶画面に表示が出ない	●液晶画面の表示を消していませんか。 ■表示／液晶画面ボタンを押してください。表示が出ます。	44
液晶画面が出ない	●液晶画面を切っていませんか。 ■表示／液晶画面ボタンを2秒以上押してください。画面が出ます。	44
ACアダプターの充電ランプがつかない	■10℃～30℃の環境で充電することをおすすめします。バッテリーや周囲の温度が低すぎたり高すぎたりすると、バッテリー保護のため充電が中止され、充電ランプはつきません。	30

海外で使う

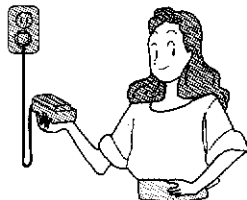
このムービーは外国でもお使いになれます

ACアダプター（別売キット）は海外でも使用可能な、入力AC100～240V、50/60Hz仕様です。バッテリーの充電や、コンセントから直接電源を利用してムービーを動かすことができます。

ただし、コンセントの形状は国によって異なるため訪問国のコンセントに合った変換プラグ（空港売店で販売）が必要です。

くわしくはビクターサービス窓口にご相談ください。

コンセントの形状					
使用する変換プラグ	ACパワーアダプターのプラグを直接、差し込みます。 主に北米、南米など		主にヨーロッパ		



現地のテレビを見るには

NTSC方式の映像、音声入力端子付きテレビが必要です。

再生できるテープは

日本と同じNTSC方式で撮影したものです。



海外で万一故障した場合は

お持ち帰りになった後、お買い上げ販売店にご相談ください。
(外国でのアフターサービスについてはご容赦ください。)

日本と同じNTSC方式の国です。

- | | | |
|-------------|---------|---------|
| ●アメリカ合衆国 | ●バミューダ | ●パナマ |
| ●エクアドル | ●プエルトリコ | ●バハマ |
| ●エルサルバドル | ●ベネズエラ | ●バルバドス |
| ●カナダ | ●ペルー | ●ミャンマー |
| ●キューバ | ●米領サモア | ●ベトナム |
| ●グアム | ●ボリビア | ●フィリピン |
| ●韓国 | ●グアテマラ | ●ホンジュラス |
| ●チリ | ●コスタリカ | ●ミクロネシア |
| ●ドミニカ | ●コロンビア | ●メキシコ |
| ●トリニダード・トバゴ | ●スリナム | ●台湾 |
| ●ニカラグア | ●ハイチ | |



保証書 別途添付しています。

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき内容をよくお読みの後大切に保管してください。保証期間は、お買い上げ日から1年間です。

補修用性能部品の最低保有期間

当社は、ムービーの補修用性能部品を製造打ち切り後最低8年間保有しています。この期間は通商産業省の指導によるものです。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるときは（持込修理）

160～167ページに従って調べていただき、なお異常のあるときは、接続機器の電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

万一本機およびデジタルビデオカセット等の不具合により、正常に録画・録音や再生できなかった場合の内容の補償については、ご容赦ください。

保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定に従って販売店にて修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により修理させていただきます。

ご連絡していただきたい内容

品名	デジタルビデオムービー
型名	GR-DVM1
お買い上げ日	年 月 日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご住所	
お名前	
電話番号	

愛情点検

●長年ご使用のムービーの点検をぜひ！

熱、湿気、ホコリなどの影響や、使用の度合により部品が劣化し、故障したり、時には安全性を損なって事故につながることもあります。



このような
症状は
ありませんか

- 再生しても映像や音声が出ない。
- 異常な臭いや音がある。
- 水や異物が入った。
- その他の異常や故障がある。



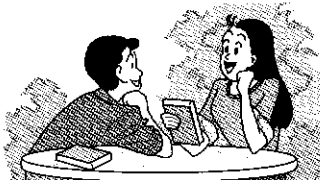
ご使用
を
中 止

故障や事故防止のため、
電源を切り、必ず販売店
に点検をご相談ください。

いんたなときは



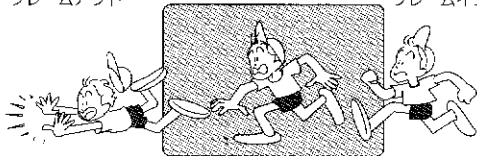
撮影のポイント



テーマを決めて撮る

「いつ」「どこで」「だれが」「なにを」を意識して撮ることが大切です。テーマを決めて撮れば、より楽しい映像ができ上がります。

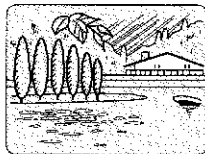
フレームアウト



フレームイン

ムービーは動かさない

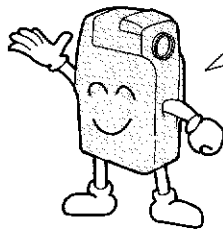
安定した画面を撮るために、画面の中の人々が動いてもあわてずそのまま。これも立派なテクニックの一つです。



見るときのことを考えて撮る

一つのシーンでも、その画面にたくさんのものが映っている場合、見る人がすみすみまで見られるくらいの時間を考えて撮り、それに対して一目で見てわかるアップは少し短めに撮ります。

その他



いろいろ調べ
たいときに
お読みください。

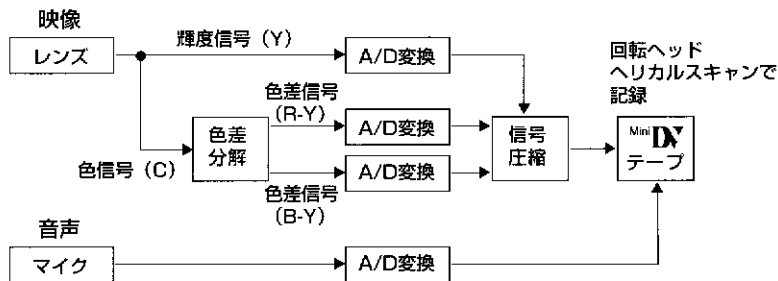
本機では、映像・音声をデジタル信号にしてテープに記録※しています。

・映像には、輝度信号（Y）と色差信号（R-Y）と（B-Y）に分けてデジタル記録する『デジタルコンポーネント記録方式』を採用しています。

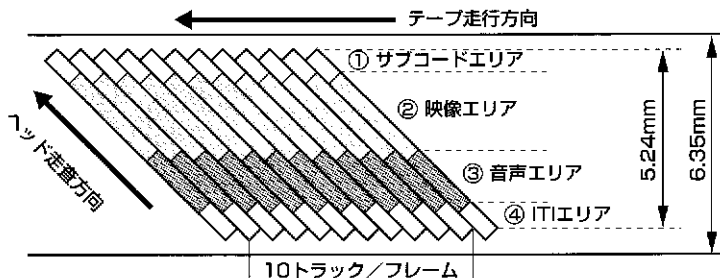
A/D（アナログ信号からデジタル信号への）変換では、輝度信号（Y）を13.5MHz、色差信号（R-Y）と（B-Y）を3.375MHzでそれぞれサンプリング（標本化）し、8ビットに量子化します。

・音声については、48kHzでサンプリングし16ビット直線に量子化するものと、32kHzでサンプリングし12ビット非直線に量子化するものとの、2通りあります。

※テープにはデジタル信号が記録されますが、本機にはデジタル出力端子がありませんのでアナログ信号で出力されます。



GR-DVM1では、1つのトラック上に各種の情報が分割され書き込まれます。
テープ上のトラックフォーマットを示します。



① サブコードエリア

タイムコードデータや、日時等を記録しておく部分です。映像とは別の部分に、日時を記録しています。記録時に日時を表示しておかなくても再生時にお好みの場所を出したり消したりすることができます。

② 映像エリア

デジタル化した映像信号を記録します。

③ 音声エリア

デジタル化された音声信号を記録します。

④ ITI (Insert & Tracking Information) エリア

インサートやアフレコのトラッキングの信号が記録されます。

用語解説

アイリス	人間の瞳と同じはたらきをします。人間の目は、光が強いところだとまぶしくて瞳が縮まり、光がたくさん入らないようにします。また反対に、暗いところだと瞳が広がり、光をたくさん入れようとします。それらを、ムービーで電氣的におこなう機能です。
色温度	被写体を照らす光には、赤っぽい光や青っぽい光など、さまざまな質の光があります。この光の色合いを示すモノサシを色温度と言います。
ACアダプター	バッテリーを充電するときに使います。また、直接ムービーにつないで電源を供給することもできます。
オートフォーカス	初めてムービーを使う人が苦手とするピント合わせを、自動でおこなう機能です。
オンスクリーン	液晶画面の表示を、接続したテレビ画面に映すことができます。
コマ落とし	映画初期のころの映像は1秒間当たりのコマ(画)の数が少ないので、現代の映画のようななめらかな動きをしていません。撮影している映像を、映画初期のような動きにする機能です。
撮影一時停止	スタート/ストップボタンを押せば撮影がスタートする状態のことです。
CCD	人間の目と同じはたらきをします。見た光景を電気に変えて映像にしています。
つゆつき	ムービー内部に温度変化などで水滴が付くことです。液晶画面に  が表示されると、ムービーは停止します。
デジタルズーム	レンズの性能で拡大した映像(ズームで10倍に拡大した映像)を、デジタル処理でさらに拡大する機能です。2倍に拡大したものが20倍ズーム、10倍にしたものが100倍ズームです。

手振れ補正	ムービーを手で持って撮影するときに、動かしていないつもりでも、自然と手がふるえてムービーが動いてしまいがちです。その、比較的小さな画面の揺れを自動的に補正する機能です。
フェーダー (フェード)	映像の場面切替に使われるテクニックのひとつです。 映画やテレビのように、場面が徐々に薄れて消えていくことをフェードアウト、徐々に浮かび上がってくることをフェードインといいます。
NTSC	テレビ方式のひとつで、日本・アメリカ・カナダ・メキシコ・台湾などがこの方式を採用しています。このほかに、PAL(ヨーロッパなど)、SECAM(フランス)の方式があります。
白バランス	照明がろうソクのときと蛍光灯のときでは、人間の目で見ても同じ色でもムービーで撮ると違った色になります。白バランスとは、それを自然な色合いに映るようにする機能です。
ワイプ	映像の場面切替に使われるテクニックのひとつです。 映像を拭きとる(拭く=ワイプ)ように、場面が消えていくことをワイプアウト、場面を拭きとるようにして次の映像が現われてくることをワイプインといいます。
カメラリハーサル	テープを入れずに電源ダイヤルを「撮影」にすると、ムービーで撮っている映像を液晶画面で見ることができます。(カメラリハーサル状態)この状態で映像/音声コードをつなげば、外部映像機器に出力することができます。

主な仕様

仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますので、ご了承ください。

デジタルビデオムービー

一般

電源	DC6.3 V (ACアダプター使用時) DC7.2 V (バッテリー使用時)
消費電力	8.7 W (撮影時/バッテリー使用時)
規格	DV方式 (SD仕様)
信号方式	NTSC日米標準信号
映像信号記録方式	デジタルコンポーネント記録
情報圧縮後の記録速度	映像25 Mbps
デジタル圧縮技術	DCT可変長符号
使用テープ	^{Mini} DV テープ
テープ速度	18.8 mm / 秒
録画時間	最大 60分 (DVM-60使用時)
連続撮影時間	約 60分 (バッテリーBN-V812フル充電時)
早送り・巻戻し時間	約100秒 (DVM-60使用時)
撮像素子	1/3インチCCD固体撮像素子 57万画素 (撮像エリア約33万画素)
ズーム倍率	光学ズーム倍率 10倍、総ズーム倍率 100倍 (デジタルズーム使用)
レンズ	F1.6 (f = 4.5 ~ 45 mm)
レンズ径 (フィルター径)	27 mm (ネジピッチ 0.5 mm)
液晶画面	2.5インチ 18万画素 ポリシリコンTFT LCDパネル
最低照度	14 lx (ルクス)、7 lx (シャッター1/30秒時)
白バランス	自動/手動

アイリス	自動/固定
内蔵マイク	コンデンサータイプ/ステレオ
許容動作温度	0～40℃
許容相対湿度	35～80%
許容保存温度	－20～50℃
外形寸法	幅約59×高さ約156×奥行き約94 mm (液晶画面収納時)
質量	本体質量 約620 g 撮影時質量 約730 g (バッテリーBN-V812、テープM-DV30ME、 ハンドストラップ含む)

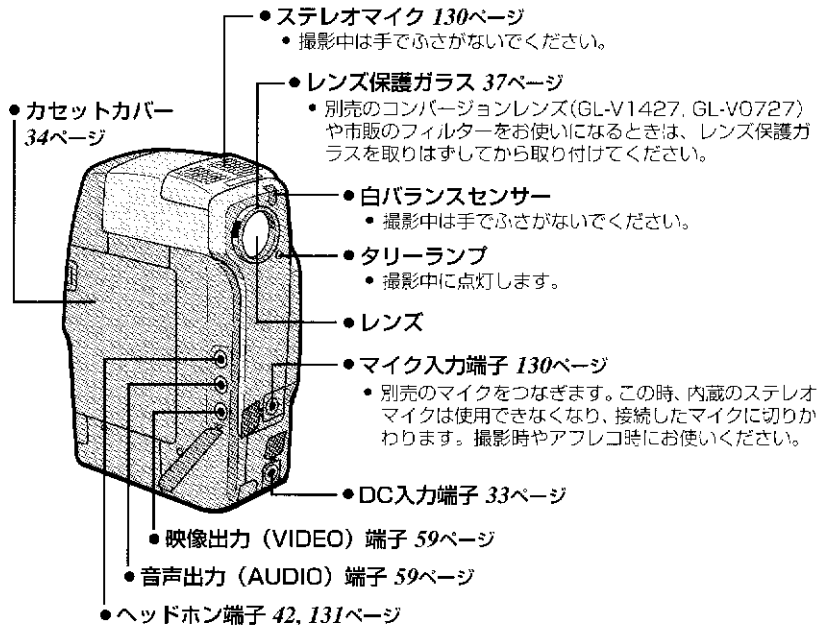
オーディオ

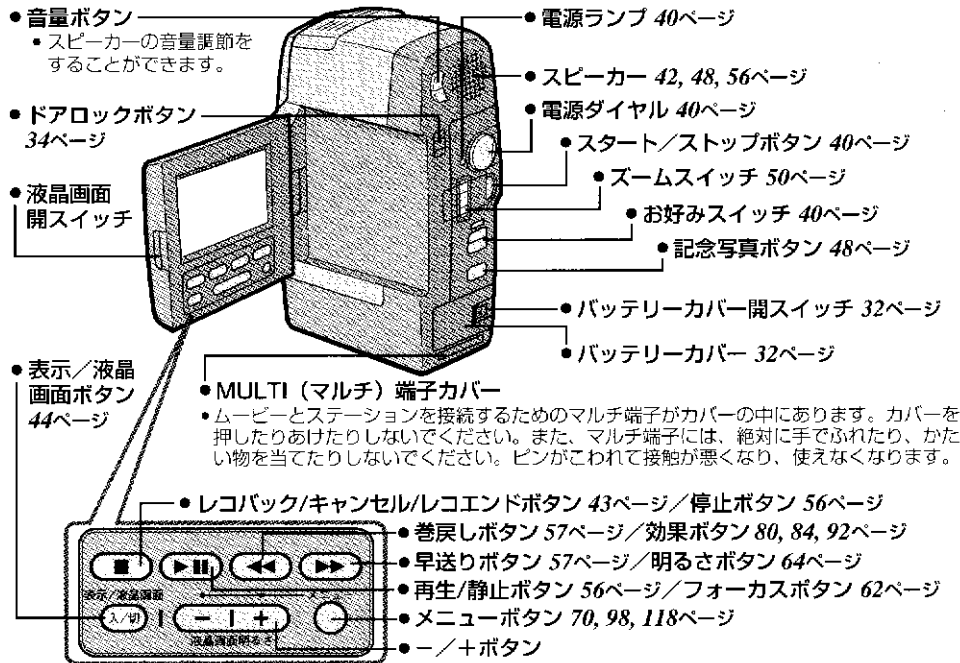
サンプリング周波数	48 kHz、32 kHz
チャンネル数	2チャンネル (48 kHz) 4チャンネル (32 kHz)
量子化ビット数	16 bit 直線 (48 kHz) 12 bit 非直線 (32 kHz)
スピーカー	モノラルタイプ

端子部

マイク入力端子	φ3.5 mm ミニプラグ -62 dBs ステレオ
音声出力 (AUDIO) 端子	φ3.5 mm ミニプラグ (-8 dBs 1 kΩ) アナログ出力
映像出力 (VIDEO) 端子	φ3.5 mm ミニプラグ (1 Vp-p 75 kΩ) アナログ出力
ヘッドホン端子	φ3.5 mm ミニプラグ ステレオ
DC入力端子	6.3 V
マルチ端子	34ピン

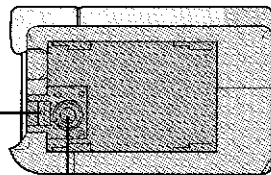
各部のなまえ





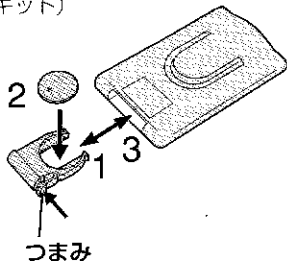
(ムービー底面)

ハンドストラップ
取り付け部
36ページ



三脚取り付けネジ穴

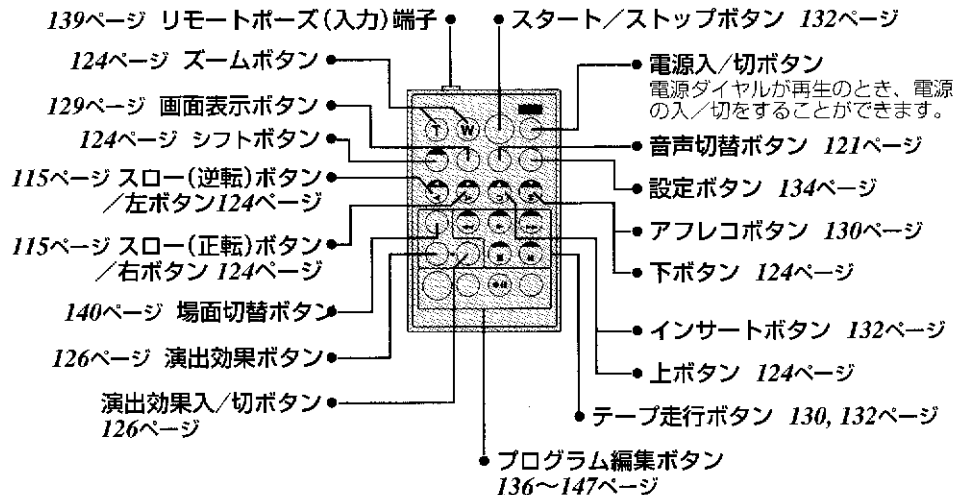
リモコンのボタン電池の取り付け方
(別売キット)



- 1 つまみを矢印方向に押しながら、電池
取り付け部を矢印方向に引き出す
- 2 ボタン電池の ⊕ 側を上にし取り付け
部にのせる
- 3 取り付け部を矢印方向にカチッと音が
するまで差し込む

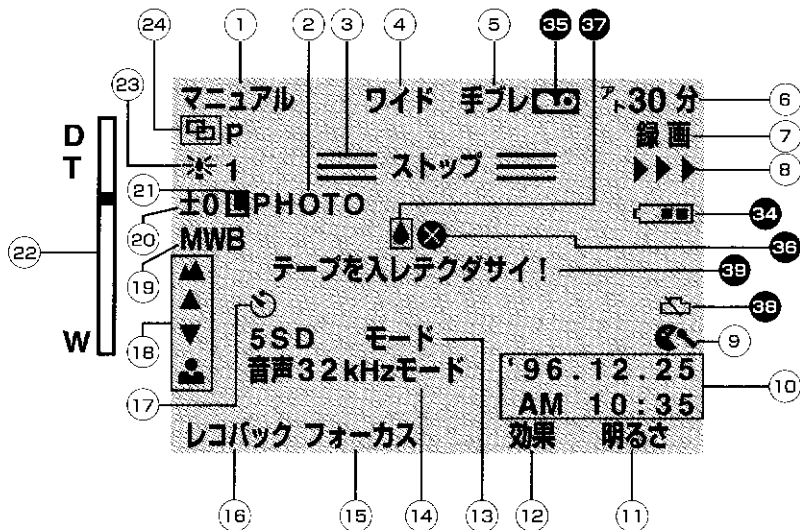
リモコンRM-V708 (別売キット)

●ステーションの受光部に向けて使用してください。



液晶画面の表示(撮影中)

・ 34～39は警告表示です。
187ページをご覧ください。



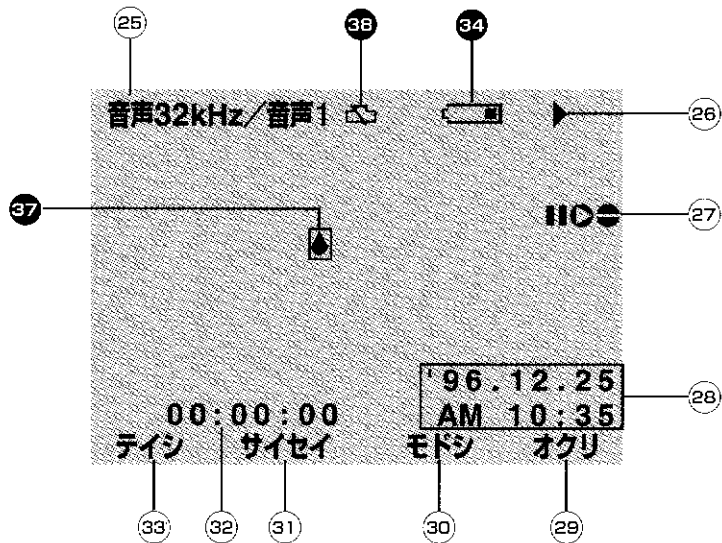
撮影表示

番号	表示名と説明	番号	表示名と説明
①	お好みスイッチ/設定表示 お好みスイッチの位置により「フルオート」「マニュアル」の表示がでます。また、各機能の設定中は、機能名(「フォーカス」「明るさ」)が表示されます。	⑩	日時表示
②	記念写真表示	⑪	明るさ表示
③	撮影一時停止表示	⑫	効果表示
④	ワイド/シネマ表示	⑬	シーン撮影表示
⑤	手振れ補正表示	⑭	音声選択表示
⑥	テープ残量表示 - 液晶画面の表示を消しているとき(44ページ)は、テープ残量が2分になると、表示します。 - 対画撮影時(45ページ)は、テープ残量表示は出ません。かわりにテープ残量が2分になると  (点滅) (点滅) (点滅) のように表示が出て、テープの残量を知らせます。	⑮	フォーカス表示
⑦	撮影中表示	⑯	レコバック/キャンセル/レコエンド表示 レコバック時は「レコバック」、レコバックをおこなったあとは「キャンセル」、レコエンド時は「レコエンド」の表示がでます。
⑧	テープ走行表示	⑰	セルフタイマー表示
⑨	ボイスポジション表示	⑱	ピント表示
		⑲	白バランス表示
		⑳	明るさ調節表示
		㉑	アイリス固定表示
		㉒	ズーム表示
		㉓	演出効果
		㉔	場面切替表示

次ページへつづく

その他

液晶画面の表示(再生中)



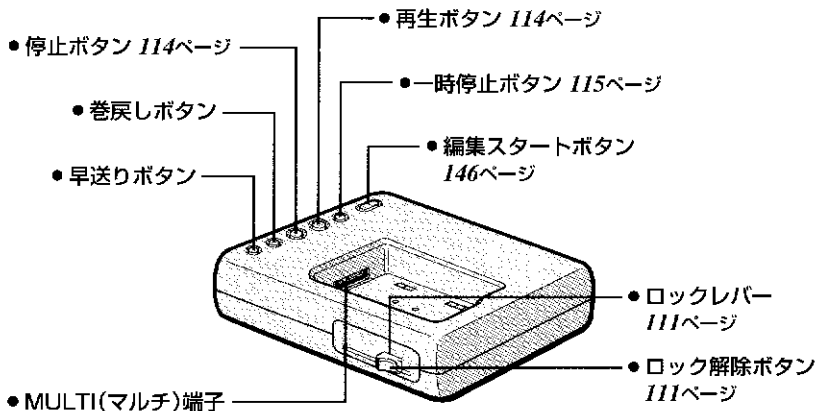
再生表示

番号	表示名と説明	番号	表示名と説明
②⑤	再生音声表示 120ページ	③①	巻戻し表示 57ページ
②⑥	テープ走行表示 テープが入っていないと  が点滅します。 また、テープが終わると  が点灯します。	③①	再生/静止表示 57ページ 再生中は「セイジ」の表示がでます。
②⑦	インサート/アフレコ表示 130, 132ページ	③②	タイムコード表示 123ページ
②⑧	日時表示 42, 156ページ	③③	停止表示 57ページ
②⑨	早送り表示 57ページ		

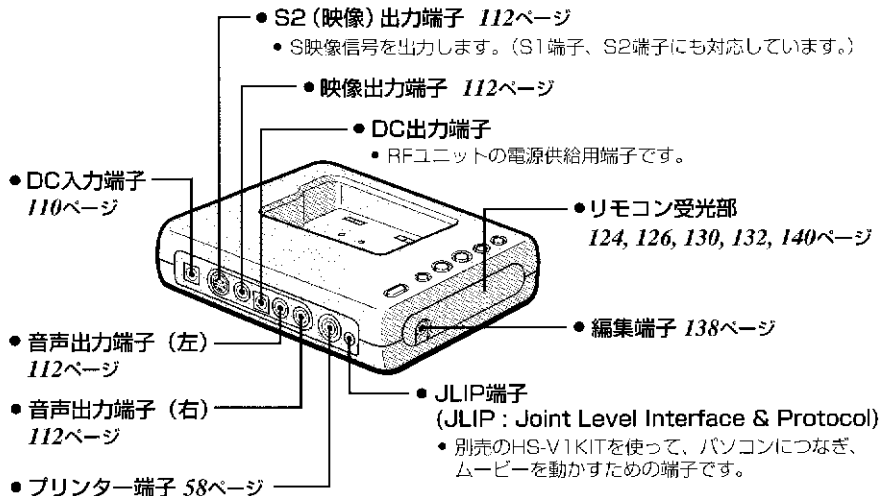
警告表示 (撮影時/再生時 共通の表示です。撮影時の表示は184ページをご覧ください。)

番号	表示名と説明	番号	表示名と説明
③④	バッテリーアラーム表示 (点滅) バッテリーの充電容量が少なくなると     のように表示が変わり、 終わりに近づくと  が点滅します。 バッテリーが終わると、自動的に電源が切れます。 充電したバッテリーにかえてください。	③⑤	ボタン電池 (時計用) 表示 153ページ 電池が入っていないか、容量がなくなっています。
③⑤	テープ表示 (点滅) テープが入っていないか、テープのツメがSAVE側 になっていて撮影ができません。	③⑥	テープ表示 テープが入っていないと、電源を入れたとき約10秒 表示します。
③⑥	ヘッド目づまり表示 (点滅) 22ページ 録画開始時、ヘッドにゴミ付きが発生すると表示します。	—	テープオワリ表示 (点滅) 42ページ 撮影中や再生中、テープが終わると表示します。
③⑦	つゆつき表示 (点滅) 20ページ つゆつきが発生しています。	—	E01~07表示 (点滅) 拡大故障を防ぐため、操作ができなくなります。テープを取り 出し、バッテリーをはずして数分待ち、表示が消えてからお使 いください。 表示が消えない場合は、お買い上げ販売店かビクターサービス 窓口にご相談ください。

ドッキングステーション(別売キット)



- ムービーとステーションは、この端子で接続されます。
絶対に手でふれたり、かたい物を当てたりしないでください。
ピンがこわれて接触が悪くなり、使えなくなります。



- 別売のビデオプリンターの映像出力（記憶画面）とつなぎます。ムービーからの映像をプリントアウトするとき、テレビに接続しなくても液晶画面にビデオプリンターからの映像が映ります。
- 日付を入れてプリントアウトしたいときは、ビデオプリンターの映像出力端子とテレビをつなぎ、テレビの画面を使ってビデオプリンターを操作してください。ステーションのプリンター端子に映像コードが接続されていると、日付やタイムコードは液晶画面に表示されません。

ア

アイリス 66
明るさ合わせ 64
アニメ撮影 102
アフレコ編集 130
アラーム音 104
インサート編集 132
映像ワイプ 77, 82 ~ 85
エラー表示(警告表示) 184, 186, 187
演出効果 90 ~ 95
オートフォーカス 62, 176
オンスクリーン 157, 176
音声 105, 120, 131

カ

海外で使う 168
記念写真(静止画) 48, 100
記念写真サーチ 58
キャンセル 43
コマ落とし 90, 91, 164, 166
誤消去防止 35
5S(5秒撮り) 52, 101
5SD 53, 101

サ

撮影一時停止 40, 49, 176
サンプリング周波数(音声の設定) 105
自動編集 134 ~ 147
充電 30
シャッタースピード 75, 91
シーン 101
ズーム 50, 73, 124
ステーション 110
ストロボ撮影(コマ落とし) 90, 91
スロー再生 115
接続 112, 138
セルフタイマー撮影 54
白バランス 106 ~ 109, 177

タ

タイムコード 47, 60, 123, 175
ダビング 128
つゆつき 20
デジタルズーム 51, 73, 176
テープオワリ 42
テープについて 25, 35
テープを入れる 34
手振れ補正 74, 177
テレビで見る 59, 112 ~ 115
電源(コンセントで) 33
(バッテリー) 32

ナ 日時合わせ 154
日時表示 122, 156

ハ バッテリー 24, 28, 32
バッテリーアラーム 187
バッテリー残量 187
場面切替 76~ 89
ピント合わせ 62
フェードイン/アウト 76~ 89, 177
フルオート 38
ブルーバック 43, 58
ヘッド汚れ 22
編集 128~ 151
ボイスポジション 104
ボタン電池 152, 187
ホワイトバランス 106~ 109, 177

マ マクロ撮影 51
メーカー設定 134

ラ リモコン 124, 126, 130~ 149, 183
レコエンド 43
レコエンドサーチ 43
レコバック 43
録画方式 4, 174

ワ ワイド 72
ワイプイン/アウト 76~ 89, 177

アルファベット順

ACアダプター 27, 30, 110, 168
AGC 75
CCD 176, 178
IDナンバー 96 ~ 99
JLIP 189
MWB 106~ 109
NTSC 177, 178
RFユニット(別売) 113
S1, S2端子 73

故障かな？と思ったら

修理に出す前に160～167ページをご確認ください。

修理についてのご相談は

「お買い上げ販売店」へご相談ください。

ご転居等で保証書記載のお買い上げ販売店に修理をご依頼になれない場合は、別紙「サービス窓口案内」にご相談ください。

お買物についてのご相談は

お取扱い方法、お手入れ方法その他ご不明な点は「お客様ご相談センター」にご相談ください。

お客様ご相談センター

東 京	大 阪
☎ (03)5684-9311 〒113 東京都文京区本郷3丁目14-7 ビクター本郷ビル	☎ (06)765-4161 〒543 大阪市天王寺区小橋町10-16 大阪ビクタービル

 Victor

JVC

日本ビクター株式会社

ビデオ事業部

〒221 横浜市神奈川区守屋町3丁目12番地

電話 (045) 450-2550